

シーリング^{II}25

25周年記念号

VOL.21.NO.25

APRIL '88

×特集×

- 1988年シーリング材の
需要動向
- シーリング工業会
25年の歩み



日本シーリング工業会

「地球って複雑だから困る」

地球の上に建っているすべての建築物は、厳しい自然現象にさらされています。そして、ますます複雑化・高層化する現代建築は、工法そのものも日を追って進歩しています。そこで、カーテンウォール工法、あるいはガラス・サスペンション工法、ストラクチャル・グレージング工法などの建築工法に欠くことのできないのがシリコン・シーリング材・コーティング材です。

トーレ・シリコン建築・土木用シーリング材・コーティング材は、建築物のファッション化に役立つことはもちろん、その優れた接着力と耐久性がパネルの伸縮目地やガラスまわりのグレージングに注目をあつめ、耐天候・耐気温・耐地震で、明日の建築物に対応いたします。



信頼と実績でお客様のニーズに応えるトーレ・シリコンの建築・土木用シーリング材・コーティング材

1成分形 一般用 無酸タイプ (㊟)

SH780

1成分形 一般用 酢酸タイプ (㊟)

SH781

1成分形 防カビ・無酸タイプ (㊟)

SE5010

1成分形 建築・土木用 無酸タイプ

SH790

2成分形 建築・土木用 無酸タイプ (㊟)

SE792

1成分形 高透明・酢酸タイプ

SE777

1成分形 難燃性・無酸タイプ

SE5003

2成分形 難燃タイプ

SH794

1成分形 無酸・マスチックタイプ

SE9090

1成分形 プラスチック用 (㊟)

SE555

2成分形 高モジュラス

SE9500

1成分形 中モジュラス

SE786

1成分形 高モジュラス SG工法用

DC795

2成分形 中モジュラス SG工法用

SE796

1成分形 水性タイプコーティング材

SE1980

1成分形 溶剤タイプコーティング材

SE5060

1成分形 溶剤タイプコーティング材

SE5070

2成分形 難燃フォーム

SE1900

1成分形 溶剤タイプトップコート材

SR2405

建築仕上塗材

パーマウォール

シリコン技術で明日のニーズに応える

トーレ・シリコン株式会社

本店・営業本部／東京都中央区日本橋室町2-3-16(三井ビル6号館) 〒103 TEL03(246)1641

◀シリコンのことならなんでもお気軽にご相談ください▶

大阪営業部 TEL06 (376) 1251 代表
名古屋営業部 TEL052 (563) 3951 代表
九州営業部 TEL092 (712) 6158 代表
広島営業部 TEL082 (249) 7811 代表

北陸営業部 TEL0762 (23) 1585 代表
東関東営業部 TEL0436 (22) 5743 代表
仙台営業部 TEL022 (227) 9528 代表
北海道営業部 TEL011 (231) 5281 代表

主成分カネカMSポリマー®が
 耐久性、耐候性、石材への非汚染性、
 塗装性などの優れた特性を
 バランスよく発揮する
 変成シリコンシーリング材。
 建築界の高度で多様なニーズに対応する
 新時代のシーリング材として、
 幅広い用途で注目を集めています。

▼大正海上火災本社ビル



▲青森県観光物産館

幅広い用途で大躍進。

超高層ビルからプレハブ住宅まで、

時代が求めた高性能。

変成シリコンシーリング材
 カネカMSポリマー®

鐘淵化学工業株式会社 特殊樹脂 三部

- 本 社 〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号 朝日新聞ビル
 (06)226-5331(ダイヤルイン)
- 東京支社 〒107 東京都港区元赤坂1丁目3番12号 赤坂センタービル
 電話：東京 (03)479-9675(ダイヤルイン)

コーキングガン カートリッジガン

専門メーカー

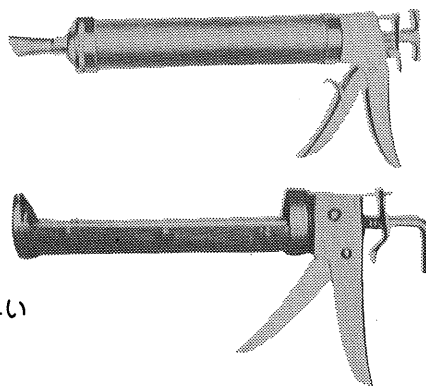
創業30余年

〈特長〉 ■能率的設計ワンタッチキャップで詰替えが数倍早い

■軽量で丈夫、しかも携帯が楽

■作業が軽く疲れない

■その他特殊注文も承ります



〔東京・板橋〕



株式会社 菅野製作所

本社工場

代表取締役 菅野 庄一

東京都北区志茂3丁目3番26号

TEL. 03 (903) 3 1 4 0 番

FAX. 03 (903) 5 0 3 0 番

TEL. 03 (961) 1 2 4 6 番 (夜間)

歴史と実績—それが信頼をつくります

シーリング業界のリーダー

シーリング材の草分けであるエービーシー商会は、JIS商品の製造販売など常に品質重視の姿勢を貫いてまいりました。

ポリサルファイド系シーリング材

チオコーク®

(JIS認定品)

ウレタン系シーリング材

ABC®ウレタン80
(JIS認定品)

ABC®コーキングウレタン カートリッジ
(一成分型)

変成シリコン系シーリング材

ABC®変成シリコンM
(二成分型)

ABC®シリコンカートリッジ
(一成分型)

ABC®変成シリコンカートリッジ
(一成分型)

ABC商会では、使用目的に応じて各種シーリング材を用意しております。用途に合わせてお選びください。

ABC shukai

東京都千代田区永田町2-12-14

TEL 03 (507) 7 1 1 1 (案内)



BOND CIVIL ENGINEERING SYSTEM

ポリサルファイド系二成分形 建築用シーリング材

ボンドシール#10

その他のシーリング材



A5758
PS-2-9030-A-N
578052

ボンドアクリルコーク …一成分アクリル系
(JIS商品)
ボンドウレタンコーク …一成分ウレタン系
ボンドUシール …二成分ウレタン系
(JIS商品)

ボンド変成シリコンコーク …一成分変成シリコン系
ボンドMSシール …二成分変成シリコン系
(JIS商品)
ボンドシリコンコーク …一成分シリコン系

Kコニシ株式会社

ボンド建設部

本社ボンド部／大阪市東区平野町2-10(沢の鶴ビル) 〒541 TEL 06 (228) 2963
東京支店／東京都中央区日本橋室町4-1-21(近三ビル) 〒103/TEL 03 (245) 6941
名古屋支店／名古屋市西区菊井2-6-5 〒451 TEL 052 (563) 6551
福岡支店／福岡市南区清水3-24-19 〒815 TEL 092 (551) 1761

営業所

札幌／TEL 011 (612) 0211
仙台／TEL 022 (235) 3178
新潟／TEL 025 (229) 1133
金沢／TEL 0762 (23) 1565
北関東／TEL 0285 (25) 2501

静岡／TEL 0542 (55) 5131
高松／TEL 0878 (35) 2020
岡山／TEL 0862 (25) 1961
広島／TEL 082 (294) 8811
鹿児島／TEL 0992 (50) 1171

確かな信用をお届けする

なにわ会

建築用シーリング材・防水材・関連製品のご用命は
信頼に應える当会メンバーにお申しつけ下さい

大阪御国商事(株)
(株)ジャビコ大阪支社
フヨー(株)大阪支店
(株)前田精市商店
モリシタ化学産業(株)
鐘工業(株)
岸田資材工業(株)
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)
(株)旭栄
(株)宮崎商店
日東工材(株)

〒567 大阪府茨木市横江2-1-12
〒530 大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル本館
〒532 大阪市淀川区宮原5-6-10
〒541 大阪市東区道修町1-17
〒543 大阪市天王寺区勝山1-6-7
〒534 大阪市都島区高倉町1-11-12
〒652 神戸市兵庫区中道通5-1-13
〒550 西区京町堀1-17-16 スミタ町堀ビル
〒530 大阪市北区天神橋1-1-1
〒541 大阪市東区平野町4-53-2
〒553 大阪市福島区吉野1-14-2

TEL 0726(34)8214
TEL 06(345)6871
TEL 06(395)0201
TEL 06(203)4641
TEL 06(771)3929
TEL 06(921)4231
TEL 078(575)2953
TEL 06(446)6701
TEL 06(354)0356
TEL 06(231)5891
TEL 06(445)7621

シーリング材専用攪拌機



ハードミキサーが コンパクトになった。

- UB型(正転)とUR型(自動反転)の2機種。
用途に合わせた選択を。
- UR型の攪拌羽根は、交換不要の
L型と従来の山型が選択できます。



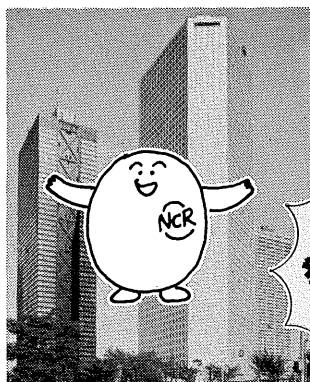
●高粘度ミキサーのバイオニア

日本ソセー工業株式会社

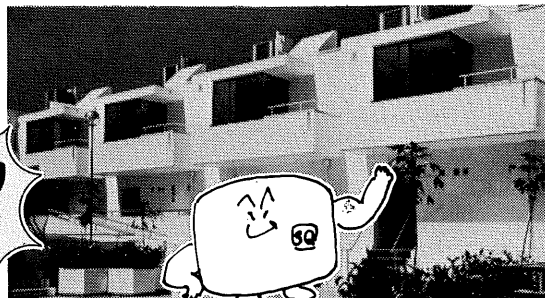
本社工場/名古屋市南区南野1-99 千457
TEL(052)612-7321(代) FAX(052)611-2011
東京営業所/東京都品川区西五反田8-5-1 千141
TEL (03)494-7141(代) FAX (03)490-5966
大阪営業所/大阪市淀川区西中島6-7-11 千532
TEL (06)303-7141(代) FAX (06)306-4544



まっ—るい元気と四角い踏ん張り

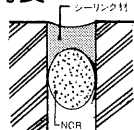


**日立化成の
発泡ポリエチレン
バックアップ材**



ハイエチレンロッドの特長

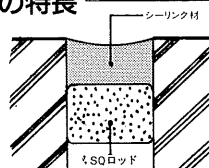
丸棒でおなじみの
シーリングバックアップ材
6φ~50φまで種類も豊富。



ハイエチレンSQロッドの特長

SQロッドの愛称で親しまれ
低層プレハブ住宅やサッシュ
廻りに幅広く愛用されています。

記号	幅(mm)	長さ(m)
NCS 13×10	13	10
NCS 18×15	18	15



★施工時のシーリング材の深さを均一化。
この部分も適正な深さです。シー
リング材の寸法管理を正確にします。

代理店

野口興産株式会社

〒176 東京都練馬区豊玉北2-10
TEL 03(994)5601

シーリング材のことなら…

セカイチョーシーラー

● 建築・土木用

セカイチョーシーラーMS
(変成シリコン系 ㊦ JIS A 5758)
セカイチョーシーラーM-1
(変成シリコン系 1成分形)
セカイチョーシーラーTH
(ポリサルファイド系 ㊦ JIS A 5758)
セカイチョーシーラーPU-213
(ポリウレタン系 ㊦ JIS A 5758)
セカイチョーシーラーU-I
(ポリウレタン系、1成分形)
セカイチョーシーラーEA
(アクリル系)
セカイチョーシーラーRB
(ブチルゴム系)
ケミコーク
(油性コーキング ㊦ JIS A 5751)
セカイチョーシーラーSI
(シリコン系)
セカイチョーシーラーV
(ブチルゴム系ひも状)
セカイチョーシーラーVN
(自己消火性、ひも状)
セカイチョーシーラーVC
(シールド工法セグメント用、ひも状)
エバートーン
(クッション性複合シーリング材)



(施工例 大阪府 北緑ヶ丘公団住宅)

● 工業用

難燃性シーリング材………弱電機器用、空調機器用
熱伝導性シーリング材………弱電機器用、空調機器用
断熱性シーリング材………弱電機器用、空調機器用
その他………車輛用、コンテナ用、太陽温水器用 等

〔その他建築用・工業用関連製品〕

● 防水関連

マグネトーン(非加硫ブチルゴム系防水・防湿シート：住宅浴室内壁やベランダ、冷凍冷蔵倉庫に)
ツーバイテープ(非加硫ブチルゴム系複合テープ：住宅サッシ廻り、パネル目地屋根防水に)

● 注入関連

S.Kグラウトプラグ工法——A～Eプラグにより低圧低速自動注入からピンニング注入工法まで、あらゆる注入工事に対応。

注入材——注入条件に対応して品揃えしたエポキシ樹脂及び注入性にすぐれたセメントスラリー。



世界長株式会社

化成品事業部

〒663 兵庫県西宮市津門大箇町8-39

TEL 0798 (26) 5724

名古屋：052 (722) 3301

東京：03 (462) 5161

前橋：0272 (23) 5675

仙台：022 (295) 7051

広島：082 (295) 0371

福岡：092 (474) 5582

マサル工業

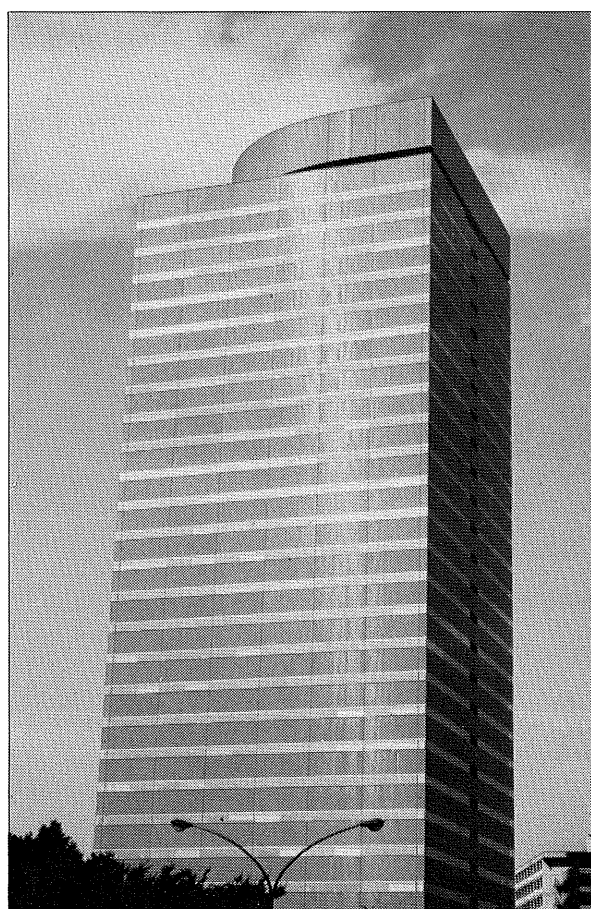
シーリング防水
PCプレハブ住宅防水
屋上防水
外壁化粧防水
各種樹脂注入工事
商業ビル・集合住宅
外装改修工事と総合診断

技術というひかりが 建築物を守る

新築工事、改修・補修工事の防水施工に三十年の実績を持つ、
技術のマサル工業が責任を持ってお手伝い致します。

●新築工事——お客様のニーズに合ったシーリング防水
の納まり・目地設計・材料選定を致しま
す。優れた品質管理下で、良心的な施工
を致します。

●補修・改修工事——実績のある技術陣の調査によって、適切
な診断を致します。適切な施工方法で、
外装全体のシーリング防水・外装化粧防
水・面防水施工をし、建物を老朽化から
守ります。



加入団体

日本シーリング工事業団体連合会
東日本シーリング工事業協同組合
全日本プレハブ建築防水協会
東日本ロンブルーフ防水事業協同組合
フジクラブラスウォール会
コンクリートカーテンウォール工業会
C C R 工 法 研 究 会

ゴムアスファルト防水工事業協同組合
日本アスファルト防水工事業協同組合
外壁補修工事業協同組合
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合
全日本ウレタン工事業協同組合
常温アスファルト防水工事業協同組合

豊富な実績で新しい防水技術に挑戦する

マサル工業株式会社

〒135 東京都江東区佐賀1-9-14 ☎ 03(643)5911(代)

建築用2成分形ウレタンシーリング材

ミリオネートシリーズ

カーテンウォール工法が主流になって以来、シーリング材も高度な性能が要求されてきています。シーリング材は種類による性能のちがいが大きく、建物のシール部位により適用するシーリング材は適切な種類を選ぶ必要があります。そこで我社は2成分形シーリング材のさきがけであるミリオネートNSの他にこの度、変成シリコン系(NS300)、ポリサルファイド系(NS200)の2成分形シーリング材の開発を致しました。今後とも、技術の進歩にともない益々高性能、高品質化をはかる所存です。

〈主な種類〉

- **NS-300** 〈変成シリコン系〉
- **NS-200** 〈ポリサルファイド系〉
- **NS-III** (ポリウレタン系)

〈主な特長〉

- JIS認定品
- 着色方法合理的なカラートナー式
- 耐久・耐候性良好
- 被塗装性良好
- 石材を汚染しない
- 経済性に優れる

—〈用 途〉—

- ◆ 金属、PCカーテンウォール
- ◆ 各種笠木目地(NS-200、NS-III)
- ◆ サッシ、窓ガラス廻り
- ◆ コンクリート、モルタル各種目地(NS-III)
- ◆ 各種パネル目地

▼プライマー種類

項目	プライマー	MS-300用 プライマー	MS-200用 プライマー	MS-60	CB-20D
状 態		1液 無色透明液	1液 褐色透明液	1液 微褐色透明液	1液 微褐色透明液
乾燥時間(20℃)		10分	30分	3時間	30分
シーリング材の 充てん時間(20℃)		乾燥後から2時間	乾燥後から3時間	塗布後30分から 6時間	乾燥後から4時間
開封後の処理		当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)	当日内に使い切る (不使用時密栓)
貯 蔵 限 度 (冷暗所貯蔵)		6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
包装・容量		500g 缶入 1ケース=12缶	500g 缶入 (1ケース=12缶)	500g 缶入	800g 缶入
主 用 途		ガラス	塗装面	汎 用	コンクリート、木部
適用シーリング材		ミリオネート NS-300	ミリオネート NS-200	ミリオネート NS-III	ミリオネート NS-III

保土谷建材工業株式会社

本社 〒105 東京都港区浜松町1-18-14 TEL.03(437)9471(代)
スバックスビル2F FAX.03(433)5720

●大阪営業所 ☎ 06(203)4651

●福岡出張所 ☎ 092(751)3506

●新南陽出張所 ☎ 0834(63)8363

●札幌出張所 ☎ 011(231)7618

●名古屋営業所 ☎ 052(231)7225

TOSHIBA

カートリッジタイプコーキング剤の専用機

手動の感覚を電動で。



- あとダレ防止機構付き。
- コーキング剤の装着、取り外しに便利なセットフリーのシリンド。
- スイッチは操作性の良いビッグ・トリガー式。

□電 源：AC100V 50-60Hz
 □定 格 電 流：0.5A
 □ス ト ローク：220mm
 □カートリッジホルダ容量：330ml
 □重 量：1.9kg

東芝コーキングガン

KG-400A

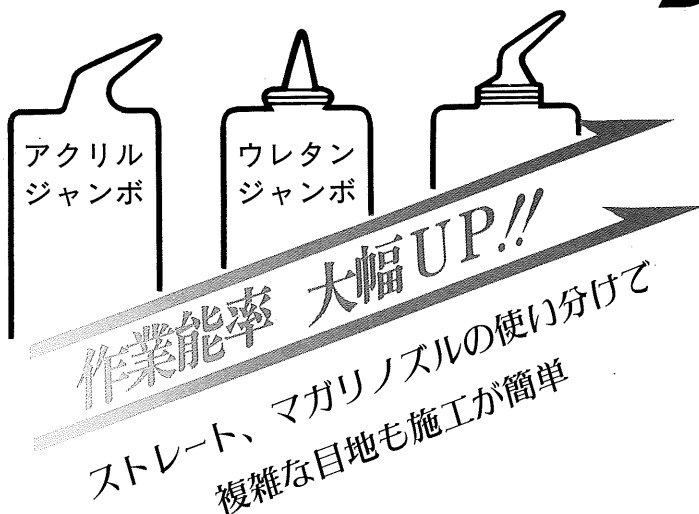
¥13,800

株式会社 **芝浦製作所**

本社 東京都港区赤坂1-1-12(溜池明産ビル) TEL (03)586-2113

ルイシーラー

建築用シーリング材



アクリルジャンボ ウレタンジャンボ

イメージ新

330mlカートリッジ
 替ノズル式
 マガリノズル
 油性
 アクリル
 ウレタン
 プチル
 シリコーン

株式会社 **東郊産業**

春日井市森山田町7番地
 TEL 0568-33-5118(代)

今こそ信用の重さが問われます！ だから………ボースの建設資材！！

●ウレタン塗膜防水材

ウレボンN&R

ウレボンNはノントールの露出用シルバー仕上です。
ウレボンRは美しい色調のカラー仕上露出工法です。

●加硫型合成ゴムシート

ボンシートK

E.P.TとI.I.Rを主原料とした高性能ゴムシートで
耐候性、耐オゾン性、耐摩耗性に富む強力弾性体です。

●ウレタン厚塗用弾性床材

パールフロアー

歩く人が疲れない踏み心地と、生活空間にマッチした
美しいデザイン性を持ち機能性も抜群です。

●エポキシ2液型ライニング材

エポール

エポキシ樹脂の特性をフルに活用した防塵用美粧床
塗料です。種類も多く多方面に利用されています。

●水溶性防塵床塗料

ボスパワーコート

従来の溶剤タイプには保管上、施工上の注意が多く
これらの難点を一気に解決した水溶性床塗料です。

●セメント強化用混和剤

ベースタック

セメントと混合することによりすぐれた特性を発揮
する多目的複合強化ポリマーです。特殊下地調整に。

●1液型ワンタッチ塗膜防水材

ユニボン

●セメント白華防止剤

ボースパックス

●モルタル・コンクリート用防水剤

ボース防水剤

●ポリウレタン系シーラント

ウレボンシール

●住まいを守る撥水剤

ウォーターカット



株式会社 **東京ボース工業社**

詳細は単品カタログを御申込下さい

本社／東京 〒116 東京都荒川区西日暮里2-45-2 ☎03-801-1151
大阪 〒530 大阪市北区神山町8-20 第二若葉ビル ☎06-313-0148
仙台 〒983 仙台市東照宮二丁目6-3 ☎0222-34-0023
春日部 〒344 埼玉県春日部市梅田2-4-28 ☎0487-63-0037

工事のお申付けは

(株)ボース工事センター 〒116 東京都荒川区西日暮里2-31-10 ☎03-891-6693

台風・突風...

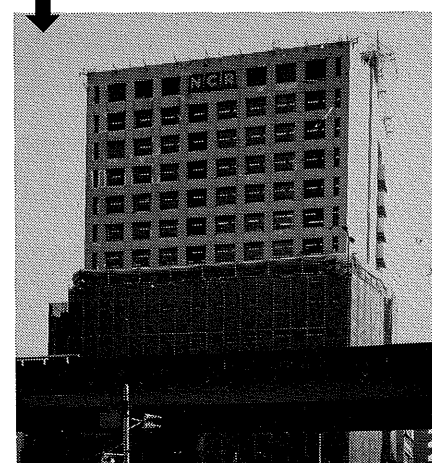
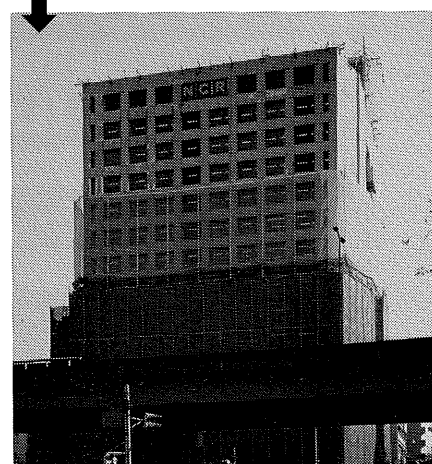
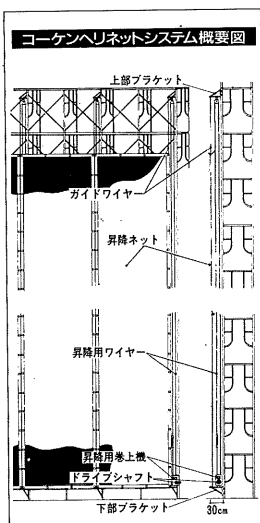
どこふく風

養生ネット
自動昇降装置

コーケンヘリネットシステム

〈特許出願中〉

- 足場の種類を問いません
- スイッチひとつで一斉に自動昇降します
- スピーディ、しかも静か
- 夜間の突風も安心
- 施工中でもいつでもネットを下げて仕上がり具合を確認できます。



ヘリネットシステムとは.....



工研ゴンドラ株式会社

永年にわたる仮設ゴンドラと3Sネット養生システムの技術と実績を生かして新しく開発した組立足場用の養生ネット自動昇降システムです。

本 社 東京都世田谷区南鳥山6-18-14 練馬支店 03(577)1625

東京支店 電 話 03(326)8751

北関東支店 0485(21)0200

F A X 03(326)8644

注目の的！

JIS 耐久性区分 9030 に合格

高性能一成分形ポリウレタンシーラント



JIS A 5758
PU-1-9030-A-N
許可番号 386031

AUTONSEALER 101A



- 特長
 - 一液ですので、計量、混練、脱泡などの手間がいりません。
 - モジュラスと伸びとのバランスが良く、振動伸縮に対する追従性が優れています。
 - 多くの被着体に対し非常に優れた接着性をもっています。
 - 硬化後、各種塗料による塗装が可能です。
 - 耐候性、耐熱耐寒性、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたり高性能を維持します。
- 荷姿
 - カートリッジ (320ml) 25本入りカートン箱、ミニペール缶 (4ℓ) 2個入りカートン箱、ペール缶 (12ℓ)
- 色
 - グレー、ホワイト、アイボリー、アンバー

製造元

オート化学工業株式会社

東京都港区西新橋 2-23-1 ☎ (03) 437-3482(代表)
大阪市淀川区宮原 1-8-12 ☎ (06) 396-1421

発売元

株式会社 岩田商会

仙 台	022-266-1007	名 古 屋	052-231-8591
東 京	03-438-0511	大 阪	06-356-1121
長 野	0262-24-0309	広 島	0822-49-7642
浜 松	0534-64-6331	福 岡	092-472-0235

豊かな実績 (ポリサルファイド系) 確かな信頼 “チオコール” シーラント

ホテル日航



- 接着性が良い
- 耐久性が良い
- 作業性が抜群
- 汚れない・汚さない

二液
ポリサルファイド
チオコール シーラント

二液チオコールシーラントは、
弊社製品“チオコールLP”を主原料
として、国内外の主要シーラントメーカー
各社で製造販売されており、他の追随をゆるさない
豊富な実績で、絶大なご信頼をいただいております。

二液
ポリサルファイド
チオコール シーラント

- 汚れない・汚さない ● カビが生えない
- 仕上がり美しい
- 作業性が良い



接着性、耐久性、防カビ性、作
業性、貯蔵安定性など優れた性
能をバランスよく備え、使い勝
手の良いシーラントです。

1パック：333ml入りカートリッジ×20本
標準色：ホワイト・グレー・ブラック
アイボリー・ブラウン

“トプコールS”は、従来の“ト
プコール”の硬化性を大幅に改
良した新製品シーラントで、い
ままでより約2倍の硬化速度を
実現しました。

東レチオコール株式会社

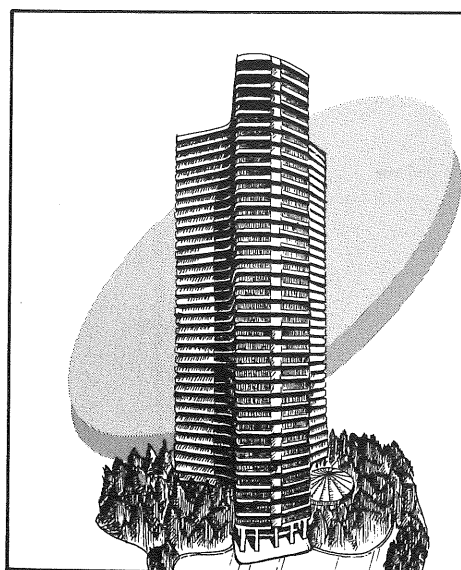
● 本社 東京都中央区日本橋本石町3-3-16(日本橋室町ビル) ☎03(241)1845(代)

総代理店 株式会社野村事務所

● 本社営業2部 東京都港区西新橋1-1-15(物産ビル別館) ☎03(502)1468(代)
● 大阪出張所 大阪市南区南船場4-12-8(関西心斎橋ビル) ☎06(243)0341(代)

■会長挨拶, 名誉顧問・顧問・日シ工連会長特別寄稿……………(16)	
◎25周年を迎え新たな展開を期待……………太田 稔	◎建築防水にまつわる想い出……………西 忠雄
◎コーキングからシーリングへ、そして□□□イング……………小池迪夫	◎研究をはじめた頃……………加藤正守
◎施工員の高齢化について……………山本 勇	
■日本シーリング工業会25年のあゆみ……………(22)	
■63年を展望する——関連業界動向を中心として……………広報委員会……………(35)	
■トピックス	
・昭和62年度シーリング管理士・技術管理士試験開催……………(50)	
・「シーリング管理士試験を受験して」……………片岡京子……………(53)	
◆委員会報告◆……………(61)	
◇一層の発展へ原点へ戻り考え直す時……………総務委員会(61)	◆昭和63年度日本シーリング工業会機構表(案)……………(82)
◇技術委員会はかくありたい!!……………技術委員会(62)	◇日本シーリング工業会会員名簿……………(84)
◇好況時に健全化へ……………調査委員会(63)	◇日本シーリング工事業団体連合会の歩み……………山本 勇(89)
◇管理士制度の一層の発展に努力……………検定委員会(64)	◇日本シーリング工事業団体連合会会員名簿……………(90)
◆各地からのたより……………(54)	◇関連会社, 団体一覧……………(97)
◆建築用シーリング材参考標準設計価格……………(67)	◇「シーリング技術管理士」に関する規約……………(99)
◆建築用シーリング材市販製品一覧表……………(69)	◇「シーリング管理士」に関する規約……………(100)
	◇シーリング技術管理士・管理士名簿……………(102)
	◇編集後記……………(108)

表紙写真: 内幸町と官庁街



建築の革新に応える。

三星シーリング材

ポリサルファイド系シーリング材

三星シールPS (㊦)

ポリウレタン系シーリング材

三星シールAU (㊦)

水性アクリル系シーリング材

三星シールAC (㊦)

一液性建築用変成シリコーン

三星シール変成シリコーンZ

ブチルゴム系シーリング材

三星シールブチル

一液性ウレタン系シーリング材

三星シールU1



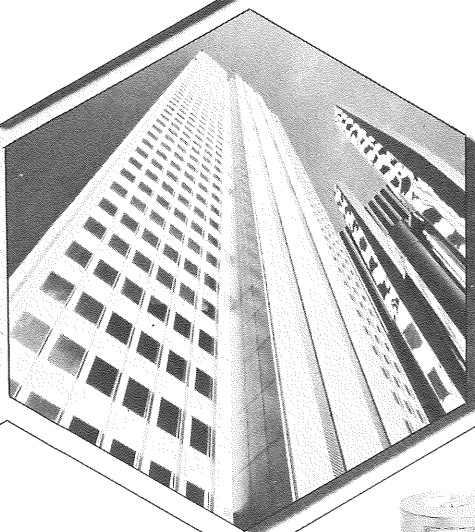
三星産業株式会社

本 社: 千101 東京都千代田区神田小川町3-26 TEL03<292>19610U FAX(293)4570
工 場: 千120 東京都足立区宮城1-20-15 TEL03<912>12610U FAX(913)7840
営業所: 札幌TEL011<551>3781U FAX(551)5304 盛岡TEL019<45>0431F FAX(45)0424
仙台TEL022<262>3501U FAX(262)3138 北加賀TEL046<52>2181F FAX(52)2384
横浜TEL045<261>5411F FAX(261)9117 名古屋TEL052<931>3390U FAX(932)3977
富山TEL076<68>1071F FAX(68)2734 大 阪TEL06<443>9721U FAX(443)9720
広島TEL082<32>3957F FAX(32)3937 福 岡TEL092<781>3361U FAX(741)1737
長崎TEL095<25>3266F FAX(27)6825

横浜ゴムは、シーリング材のパイオニアとして、昭和38年にわが国で初めてポリサルファイド系シーリング材の生産を開始。以来、建築工法の変革や被着部材の多様化に応じ、使用条件に最適なさまざまなタイプの製品を開発してきました。現在では、ハマタイトは、わが国を代表する超高層ビルから中・低層、一般建築物に至るまで数多くの建築物に採用され、横浜ゴムの「もうひとつの顔」として、ハイテクノロジーの顔となっています。

ニーズをかたちに ハマタイト®

建築用シーリング材シリーズ



ラインナップ

- 2成分形シリコーン……………シリコーン70
- 2成分形変成シリコーン……………スーパーII
- 2成分形ポリサルファイド……………SC-500
- 2成分形ポリウレタン……………UH-30
- 1成分形シリコーン……………SS-310
- 1成分形ポリウレタン……………シールエース
- 1成分形変成シリコーン……………スーパーワン

お問い合わせ先

横浜ゴム株式会社

本社・工業品事業本部 東京都港区新橋5-36-11 TEL.03-432-7111

ハマタイト事業部 神奈川県平塚市中原上宿900 TEL.0463-31-3002

工業品東京支店 TEL.03-432-7111

工業品大阪支店 TEL.06-345-1425

工業品名古屋支店 TEL.052-231-4321

工業品広島販売課 TEL.082-227-8100

ヨコハマゴム工業品北海道販売部 TEL.011-241-5111

ヨコハマゴム工業品東北販売部 TEL.022-284-0437

ヨコハマゴム工業品九州販売部 TEL.092-711-8541



YOKOHAMA

日本シーリング工業会

25周年記念
特別寄稿

25周年を迎えて



25周年を迎え新たな 展開を期待する

日本シーリング工業会
会長 太田 稔

当工業会も昭和38年創立以来、25周年を迎えるに到りました。一昨年来の内需拡大の影響を受けて、この記念すべき年を活況の中に迎えられたこと洵に御同慶の至りですが、これは工業会を支える役員、会員の方々の努力に負うところは勿論ですが、官公庁、建築業界の諸先生始め、ユーザー、工事店、販売店の永きに亘る御支援の賜と厚く御礼申し上げる次第でございます。

超高層建築の幕開けともいうべき東京オリンピックの頃には、シーリング材は特殊な材料と考えられていたものが、近年の底辺需要の拡がりをもってすれば、一般建築材料の仲間入りをすることができたものと思いますし、建築防水にとって重要且つ不可欠の役割を担うまでになりました。

この間の需要の推移を見ますと、第一次オイルショック後の落込みを除けば、昭和55年までの2桁成長、その後の建築業界の低迷にも拘らず、堅調な伸びを示し、工業会発足当時、約1万トン（推定）であった需要量は62年は6万トンを超えるまで成長を遂げることができました。又、会員数も発足当時11

社であったものが、現在は63社と増加しております。

量的拡大ばかりでなく、この四半世紀、特にここ数年間、材料・工法など技術面における工業会の諸活動並びにその成果は、学界・業界・官界始め、多方面で評価戴いているものと確信しております。まずは、建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発」に参画しまして、シーリング防水の劣化診断・補修交換・耐久設計の各指針をまとめ、現在はその普及活動に入ると共に、更にそれを一歩進めて補修・改修工法の確立に向け協力活動を進めております。

総プロの成果は、建設省の共通工事仕様書及び施工管理指針、建築学会 JASS の改定更に JIS-A5758 の改正など、多くの面で成果を生むと共に、その集約をシーリング材ハンドブックの刊行によって広く普及活動を行って参りました。

工業会の技術活動は単独なものに止らず、他団体との共同研究も活発化してきてまして、壁仕上塗材については NSK、NBK とシーリング材・塗材の組合せによる暴露試験により、外観・物性に及ぼす影響

25周年を迎えて



を把握し、又、開口部防火シーリング研究委員会では、シーリング材の燃焼性能、試験方法の確立など着実に成果を挙げ、実用面でも貢献しているものと思います。

シーリング防水に於ける材工一体の趣旨のもと、施工管理の重要性という点から、昭和47年にシーリング管理士制度が発足しましたが、十数年の間に、管理士、技術管理士をそれぞれ326名、430名世に送り出し、正しい施工と管理を業界に定着させた役割は少なからぬものと考えられます。又、先述の総プロ、JASSにおいても、技能面での役割が評価され有資格者の有無が防水工事の耐久性に大きい影響をもつとされるに至りました。

このように当工業会も、先輩諸兄、関係各位の御力添えにより、四半世紀の間に立派な成果を収め、成年期を迎えているわけですが、小池先生がアドバイスされたように、「最近の企業寿命30年説もあることから、この事業を基本的に見直しした方がよいのではないか」とのお言葉をベースに、工業会として

も新しい方向を見出してゆく努力を続けてゆかねばならぬものと存じます。それには幾つかの方向があると思いますが、私の考えている中、3項目を挙げてみますと、

- (1) 壁材料、工法の変化、数多い新製品に対応するシール技術の確立と補修・改修用シーリング技術の確立と仕様の明確化
- (2) シーリング事業をより建設業の中で確立してゆくためのシーリング管理士制度のレベルアップと普及活動
- (3) 複雑化し、納入体制の変更を要求されるシーリング材流通の情報システムの確立～材販工の一体化

などが考えられますが、これら諸事項の実現には、次期役員層に期待するところ大なるものがあります。

シーリング関連業界の皆様にも尚一層の御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げる次第でございます。

建築防水にまつわる思い出

名誉顧問

西 忠雄

元来、建築学科を卒えてセメントコンクリートの研究をライフワークと決めた私が、コンクリートと取り組む過程で「建築の防水」と遭遇するのは、大学卒業後11年目に北海道大学の教壇に立ち、その後東大、そして東洋大学へと37年間の大学人生活を了るまで消長はあれ続いた事柄の一つといえる。然も私にとってこのことは「時」と「人」特に「人」との係わりが大変大きなファクターになっている。以下にそのような思い出を少し綴ってみたい。

未だ若輩の身で日本の大学では最初の「建築材料学講座」を創始できる使命を戴いたのは昭和23年、自分にとってはこの「建築」における「材料」の意義の領域確立を如何にするかが大きな課題であるとともに心底最も望んだ夢でもあったので、その模索には渾身の努力を傾けたことはいうまでもない。

ここでその内容を詳さに述べる余地も無いがその1つに設計—材料—施工にまたがる問題の1つとして「建築防水」をとり上げ昭和30年前半頃には「寒冷地におけるRC陸屋根防水に関する研究」を取り上げ発表していった。

建築材料の研究といえば「材料の性状研究」が支配的で、製造あるいは生産研究や施工過程の研究は極めて少ない時代でコンクリートについてだけは、やっと製造、性状、施工にも及ぶものといえたような時代で建築の中の材料の地位は誠に疎々たるものであったといえる。シーリング材に私が係わったのは確か30年代初期、「油性コーキング材」だけの一時に初めて携わった覚えがある。不定型の軟らかい材料が、コンクリートや金属と隙間を充填する使命を果たすという所に興味をもってながしの性状研究もやってみたことを覚えている。降だって、37年秋東大に招かれ配置換えとなった。翌38年シーリング工業会の前身であるコーキング協会が発足、その発



会式に狩野、浜田両大先生が顧問となられた末席に私も立たされ晴がましい思いをした。その後両先生特に狩野先生がこの協会への目ざましい肩入れというか実に御熱心な傾倒をされたお姿に親しく接しさせて戴き感服したものであった。東大着任間もなく、小池迪夫さんの学位請求論文を浜田教授から引き継ぎ私が主査となってアスファルト防水に関する斬新で且つユニークな防水層の挙動の解明と改善方法の提案を含む論文を価値高いものとして学位を授与した。これは恐らく建築防水に関する学位論文として我国初のものであろう。また39年には千葉大学の加藤正守さんが1ヶ年私の所へ国内研修の形でこれまた前人未踏だったシーリング材による目地防水

の基礎的研究と建物のムーブメントに関する研究を積み重ね、その後に学位請求論文を提出され、学位を授与したのである。この小池、加藤両博士が相前後して生まれ、永年の我国建築界の防水技術は初めて科学的裏付けのもとに確乎たる基盤を持つことになったのである。私自身も北大在任中、寒冷地の防水の調査研究につき講座ぐるみの仕事の一つに数えていた（29年頃～35年頃）。卒業生の中、数人は建築の防水を一生の仕事にするようになった者も出て来た。その一人には全国プレハブ建築防水協会をおこし、初代から何期かの会長として腕をふるった西一君がいる。

建築の工業化生産に対する鬱勃たる機運は滔々として漲り、プレハブアプリケーションとも携え、シーリング材の要望、性能、施工法等の卓越的発展がなされることになるわけである。建築防水に関する講習会をうてば必ず当るとされ、芝居の「忠臣蔵」になぞらえて私も自からも加わり推進した。嘗ては学問的な定説の殆んどなかったこの「建築防水」はこれからは「防水工学」という見地から築き上げなければならないと唱えもした。後に工業会々長もやられた現相談役の渡辺さんが今日なお「防水工学研究会」を持ち続けていると先日私にもられ、嬉しく思った。ささやかな思い出を綴って工業会25年の期に改めてシーリング材の一層の発展、充実を心から祝したい。

コーキングからシーリングへ そして□□□イング

顧問

小池 迪夫

この□□□の中に適当な言葉を入れよ、という問題ではない。□□□の中に入る適当な言葉が定着したとき、シーリングは新しい展望をみせるときなのだ。

コーキング材の登場

1950年代の始め、わが国に油性コーキング材が輸入された。それが昭和29年に東京・渋谷に竣工した東横会館（現東急デパート）に大々的に用いられたことから、急に注目を浴びることになった。コーキング時代の幕開けである。

われわれ日本人のささやかな知識と記憶との照合では、それはガラスパテに似たものであった。当初、コーキングパテと呼ばれたことから、その受入方の一端を知ることができる。

テイパ化工の山本会長の話によると、輸入されたのはコーキング材という言葉であり、本質的には日本に以前からあった材料だ、ということである。同氏はそれを御自分の体験から説明してくれたが、もっともなことだと思う。

なおアメリカでは、その頃からコーキング材と呼ばれたかどうかは定かでないが、油性コーキング材様のものが、日本でいうと明治維新頃にはあったということである。

建築の工場生産化において、油性コーキング材がどんなに期待されたかは、最初の JIS が「建築用コーキング材」として“油性”を除いて制定されたことから知れる。そして、“半永久的”という誇大な宣伝文句で営業された。

シーリング材の時代へ

しかし、コーキング材の JIS が制定された昭和36

年には、大阪・日本板硝子本社ビルのガラスカーテンウォールに、ポリサルファイドシーリング材が本格的に用いられた。筆者は、これをもってシーリング材の時代に入ったと位置付けている。

“シーリング”とは、従来単なる隙間充填の意味で用いられた“コーキング”を避け、優れた性能による新しい機能……すなわち動きのあるジョイントにおける機能を訴える言葉である。まさに剛構造対応から柔構造対応への発展であった。

その後のことについて、ここでページを割く必要はなからう。

□□□イングとは

さてである。

世の中段々に欲が深くなってきた。せち辛くなったともいえる。格好よく表現すると単一機能から複合機能へ、ということになる。この次に来るものは一体何か、それは既にこの世にあるに違いない。とすると……。

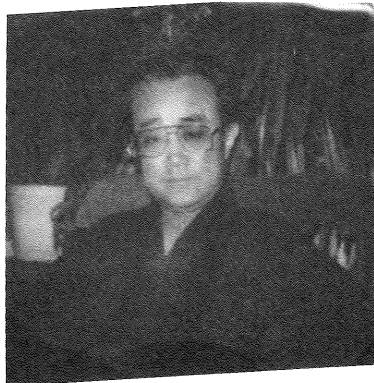
コーキング材が登場した当初、しばしば、それが接着剤でないことを強調しなければならなかった。どうも単なる隙間充填材という材料は理解されにくかったようだ。

シーリング材になっても同様である。シーリング材に接着能力がない訳ではないが、それを当てにされると失敗しかねないからだ。しかし、このところシーリング材は接着の機能を期待され始めた。

早い話が、構造用途のグレイジングの流行がそれである。自動車でも同様な使われ方をしているというが、複合機能が嫌われる訳はない。

アメリカのクック先生の著書にも sealant as adhesive という項目がある。子供服の肘や膝のパッチをシリコーンで貼るということが書いてある。また別の本で、ヨットのデッキの板の間に sealing adhesive が使われることも知った。

これからはジョイニングの時代なのかも知れない。



研究をはじめた頃

顧問

加藤 正 守

昭和34年だったのだろうか。某サッシメーカーの設計部長から大阪の9階建の事務所ビルで、アルミサッシに複層ガラスを取付けたが、竣工後翌春になって使用したガラスパテが垂れを起し、クレームがついたので、その原因を調べて欲しいという依頼があった。

当時は、アルミサッシや複層ガラスの使用実績は少なく、またこれらの技術資料さえも極めて少なかったのではないだろうか。複層ガラスや熱線吸収ガラスの施工に当っては、米国の資料よりその動きを吸収するために非硬化性ガラスパテの使用が推奨され、ガラスメーカーより支給されていたものである。正直言って依頼者、被依頼者もガラスパテの垂れ現象については何んら知識を持っていなかったことは確かである。

早速、現場調査を行い、パテ垂れの実態を把握するとともにサッシ、ガラス及びパテメーカーを訪問し、パテ垂れについての見解を求めた。サッシメーカーは、パテ垂れはパテそのものが問題であり、サッシの材質、仕上げ、構造には何ら関係はないとし、ガラスメーカーは、複層ガラスは、単一ガラスに比較して若干その温度が上昇するかも知れないが、支給した非硬化性ガラスパテを使用しなかったのだからガラス施工者または使用したガラスパテが問題であり、複層ガラスはパテ垂れとは何ら関係はないとしている。一方ガラスパテメーカーは、支給された非硬化性ガラスパテは作業性が著しく不良で、その使用は實際上困難であり、施工者は止むを得ず硬化性ガラスパテを使用したのではないだろうか。また硬化性ガラスパテは多くの実績があり、今までにこのようなパテ垂れを起したことはなく、パテそのもの

には問題はないとの見解を強調していた。このような見解は水掛け論であり、誰もが納得するような原因は明らかにすることはできなかった。

現場監理はどうなっていたのだろうか。支給された非硬化性ガラスパテは何処へ消えたのだろうか、これらはパテ垂れとは直接的には関係ないが、実験によってパテ垂れ現象が再現できればその原因を明らかにすることはできるのではないかと安易に考えていたことも事実である。

実態調査により、パテ垂れはサッシの上框に多く、未だ固まらないガラスパテは温度が高いほど軟かく、温度の影響をうけたのではないか。ガラスパテは硬化性ガラスパテが使用され、その施工に当って作業性をよくするために燈油が添加されており、その添加量や混練の程度が影響するので

はないか等と考え、これらのパテ垂れの要因をいくつか組合せて実験を行ったものである。

実験の結果は見事に失敗してしまった。パテ垂れ現象を再現することができなかったのである。実験は必ずしも実際の条件に合致していたわけではないが、長時間高温(50℃)に暴露することによって、添加された燈油は揮発し、練り油は酸化が進み、ガラスパテは軟化する

というよりはやや硬化がみられた。さらに燈油や練り油のサッシまたはガラス界面への移行もみられず、パテ垂れ現象は再現できなかったのである。

実験の失敗の原因はいろいろ考えられるが、パテ垂れはその要因の複合作用によるものであり、特に自然的条件の影響が大きいのではないだろうか等教えられるところが大きかった。パテ垂れの原因を明らかにするためには本格的研究の必要性が痛感させられたものである。

この当時はガラスパテの規格、工事仕様書はなく、アルミサッシの使用が普遍化し、ようやく油性コーキング材が一般化しつつあった時代であったが、この実験が安易に成功していたらシーリング材への研究の道に入っていたかどうかは分らない。失敗したことによってこの道に入ったのかも知れない。



施工員の高齢化について

日本シーリング工事業団体連合会

会長 山本 勇

過日、業界の大ベテランである加藤由之助氏と色々話し合っている話題の中で、お互い高年齢のせいか、首題に対する対策などにつき興味ある内容があったので寄稿してみることにしました。ここ10年来よく言われている作業技能者の高齢化している推移を完全ではないが一応データーにとってみました。

図-1の如く昭和53年における施工員年齢は、昭和45年の製造業男子従業員の年齢と比較してみると10年程高齢化しているのが歴然としています。また10年後の昭和63年でみても、やはり10年程高齢化していることがわかります。あと10年も過ぎると、このピークに人々は50歳を超えてしまうと考えられます。と言うことは、10年～15年後にはベテラン施工員は、現在の1/2以下の数になって了うと予想されます。これは、我が業界にとり誠に憂慮すべき大問題であって、早急にこの対策を行なう必要があります。では、解決策の良案はと言うことで頭をひねった結果、以下3つの案が纏まりました。列記しますと

- (1) 施工を機械化することで施工員数を節約する工夫をする。
- (2) 若年労働者を養成する。しっかりした組織を作る。
- (3) 海外より労働者を輸入出来る方策を推進してゆく。

(1)の方法として、図-2のような無人の作業機械の製作を考えてみました。近年現場外壁にはPCカーテンウォールが増加しており、タテ目地、ヨコ目地共比較的単純なので、施工可能な機械の製作は

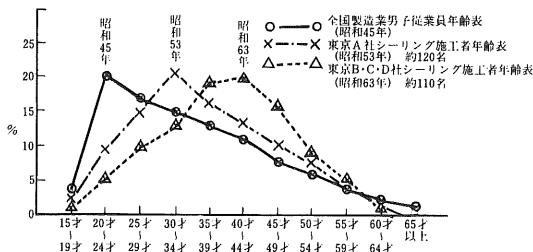


図-1

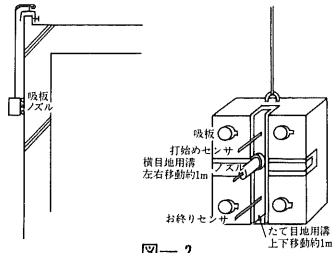


図-2

充分出来ます。ゴンドラ作業や最近はやりの傾斜壁にも使用出来るので、高層ビルにも最適でしょう。実現すれば採算ベースにのるものと思います。

(2)の方法としては、シール材メーカーの社会的知名度を前面に出して高卒者を広く募集し、全寮制の

施工員教育の職専学校を設立、6ヶ月間程集中教育をすれば相当の施工技術は修得出来るでしょう。施工業者団体も何らかの応援をすべきです。また、卒業生を施工業者に派遣することによりメーカーの材料売上げ上伸に寄与するメリットも考えられ良策と考えられます。生徒からは変な負担を与えない為と、自身の生活観を考えさせる意味で有償教育とした方が良い

かも知れません。何れにせよ、良案とは言え現在の施工業者の力だけでは成し得ませんのでメーカーが主体となって貰わねばならないと思います。

(3)の方法については、近時、外務省の考え方にも変化があり、特殊技術者など海外からの労働者の受入れも出来るようになってきました。内需拡大による建設産業の動きが活発な現在、就労者不足の補充方法として海外労働者受入れ気運がマスコミでもまた業界内でも高まり、政治的にも一歩進め、この可能法案の早急実施を声高く訴えています。海外技術者研修主旨で募集し、国の機関の援助を得て上記職専学校にて教育するのも良策と考えます。卒業後3年位はその労働力を使わして貰うことも出来る一方、将来、低開発国の技術発展にも大きく寄与することになります。日本としては世界への貢献にもなることと思います。メーカーにとっても、日本のシーリング材の海外への輸出を増加させる可能性がありそうです。

以上業界大先輩の話を主軸に纏めてみました。御参考になれば甚だ幸甚です。

日本シーリング工業会25年の歩み

わが国建築用シーリング材のルーツは昭和25年、油性コーキング材の輸入開始である。それ以前は硬化性ガラスパテが、明治中期に輸入、明治末期から国産化されていた。昭和30年には油性コーキング材が国産化され、その後 JIS が制定された。昭和33、36年にはポリサルファイド系およびシリコン系シーリング材が輸入され弾性シーリング材時代の幕明けとなった。こうした背景で日本シーリング工業会（当時は日本コーキング協会）が設立され、シーリング業界の発展を担う活動を開始したのである。以下、日本シーリング工業会25年の歩みと建築関係の変遷を表としてまとめた。

工業会設立前の動き

年 次	シ ー リ ン グ 関 連 ニ ュ ー ス
昭和25～26年	油性コーキング材の輸入開始
29年	東京工業大学狩野研究室においてシーリング材の研究開始
30年	油性コーキング材の国産化開始
33年	コーキング材標準化研究会発足（主査・東京工業大学狩野教授）
〃	建築用ポリサルファイド系シーリング材が輸入され、我国で初めて使用
35年11月	建築用コーキング材 JIS 専門委員会発足（委員長・狩野教授）
36年 7 月	建築用油性コーキング材 JIS 制定
〃	建築用シリコンシーリング材の輸入開始
38年	建築用2成分形ポリサルファイド系シーリング材、1成分形シリコン系シーリング材の国産化開始

工業会歴代会長

代	期 間	会 長 名
1	昭和38年2月～9月	昭和化工(株)（現昭石化工(株)） 国生 裕作
2	38年10月～39年2月	日本添加剤工業(株) 野口清之助
3	39年3月～9月	明星工業(株)（現サンライズメイセイ(株)） 富本 弘
4	39年10月～40年4月	日本ゴーレックス(株)（現カネボウ化成(株)） 木村清兵衛
5	40年5月	三星産業(株) 岩崎 一
6	40年6月～42年3月	小野田ユニロン(株)（現(株)小野田） 渡辺 三郎
7	42年4月～43年3月	日瀝化学工業(株) 山本 哲朗
8	43年4月～44年3月	日本添加剤工業(株) 野口清之助
9	44年4月～52年4月	小野田建材(株)（現(株)小野田） 渡辺 三郎
10	52年5月～53年9月	昭和石油アスファルト(株)（現昭石化工(株)） 青木 済
11	53年10月～59年3月	横浜ゴム(株) 梅沢 芳朗
12	59年4月～	サンスター技研(株) 太田 稔

年 表

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1963 昭和38年	●日本コーキング協会の創立（2月28日11社によりスタート）	●プレハブ建築協会発足（1月） ●建設省、住宅7ヶ年計画発表（10月） ●ALC 国内生産開始	●ソ連世界初の女性宇宙飛行士を乗せた宇宙ロケット打上に成功（6月） ●ケネディ米大統領テキサス州ダラスで暗殺（11月） ●三井三池炭鉱爆発事件発生（11月）
1964 昭和39年	●東京都千代田区神田鎌倉町8水島会館内に事務局設置、専従職員を置く（6月） ●建築用油性コーキング材 JIS 改正委員会設置される（8月）	●日本カーテンウォール工業会設立（2月） ●建材試験センター財団法人となる（4月） ●超高層ホテル、ニューオータニ竣工（8月）	●38年7月改正の建築基準法施行（1月） ●名神高速道路全線開通〈総延長190km〉（9月） ●米宇宙ロケット月着陸に成功（10月） ●東京オリンピック開幕（10月） ●東海道新幹線営業開始（10月）
1965 昭和40年	●日本シーリング協会と名称を変更し、弾性シーリング材メーカー、施工業者の加入に伴い3部会制を採用：第1部会・油性、第2部会・弾性シーリング材、第3部会・施工業者（6月） ●建築用合成ゴム系シーリング材 JIS 原案作成委員会設置され、これに伴いポリサルファイド、シリコン JIS 協会案の作成に着手（8月）	●建設省、多摩丘陵ほか7団地5,500ヘクタールの開発に着手（1月） ●建設省住宅局、41年よりプレハブ構法推進を決定（11月） ●不況により建設業の倒産激増（前年比1.9倍）	●東京オリンピック後の不況到来・山陽特殊鋼株倒産（戦後最大）（3月） ●ベトナム戦争激化 ●第1次佐藤改造内閣発足〈建設大臣 瀬戸山三男〉（6月） ●長野県松代地方に群発地震（8月） ●朝永振一郎氏、ノーベル賞受賞（10月） ●中国・文化大革命始まる（11月）
1966 昭和41年	●建築用油性コーキング材 JIS 改正公布（1月） ●東京都千代田区外神田2-2-17共同ビル（現在地）に事務局移転（6月） ●東京都住宅局特記仕様書中で油性コーキング材につき協会名特記指定となる（6月） ●合成ゴム系シーリング材 JIS 原案作成委員会において1成分形シリコン JIS 第1回目の審議にはいる（10月） ●油性コーキング材 JIS 審査要領の打合せ開催（10月）	●建研構内において中層量産アパートの振動実験実施（プレキャスト部材 PC 棒鋼5F）（8月） ●新清水トンネル貫通（全長13,490m）（8月） ●HPC 工法始まる ●日本建築センター資料館竣工（10月） ●東京火災海上ビル的美観問題おきる（10月）	●全日空機東京湾墜落、カナダ航空機羽田着陸に失敗、英航空機富士山に衝突、計321名の死者を出す（2～3月） ●日本の人口、1億を越す（3月） ●ザ・ビートルズ、日本武道館で公演（6月） ●政府、成田空港を決定（7月） ●中国、紅衛兵旋風起る

日本シーリング工業会25年の歩み

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1967 昭和42年	●機関誌「シーリング」第1号発行（1月） ●2成分形ポリサルファイド JIS 協会案作成委員会開催（2～4月） ●建築用シーリング材 JIS 協会合同委員会開催（3月） ●油性コーキング JIS 第1回認可が7社になされる（6月） ●建築学会建築工事標準仕様書 JASS8 防水工事4節「シーリング工事」の原案完成（7月）	●日本建築積算事務所協会発足（6月） ●筑波山麓研究学園都市建設の基本計画発表（8月） ●日本建設業団体連合会発足（11月） ●第一生命大井本館、千代田生命ビル竣工（11月） ●PS工法始まる ●「シーリングジャーナル」創刊号発刊	●第2次佐藤内閣発足〈建設大臣 西村英一〉（2月） ●美濃部氏都知事当選（4月） ●モントリオール万国博開幕（4月） ●第3次中東戦争始まる（6月） ●吉田元首相国葬（10月） ●米ソ首脳会談（11月）
1968 昭和43年	●協会創立5周年記念式典開催（2月）	●42年度着工統計史上最高（4月） ●霞が関ビル竣工 ●皇居新宮殿落成（11月）	●ソ連軍チェコに侵入（8月） ●川端康成氏ノーベル文学賞受賞（12月） ●3億円事件発生（12月）
1969 昭和44年	●建築用ポリサルファイド、シリコンシーリング材 JIS 制定公布（1月） ●第3部会（施工業者）協会を退会し、4月「新日本シーリング工事業協会」を設立（3月） ●日本シーリング工事業会と名称を変更（4月）	●建設基準法改正公布（1月） ●東京一小牧間東名高速道路開通（5月） ●日本ウレタン防水協会設立（10月）	●反代々木系学生の東大安田講堂占拠に機動隊が出動、学生を排除（1月） ●中ソ両軍衝突（3月） ●反代々木系学生放火・投石騒動続く（4月） ●人工衛星月面着陸、人類初めて月表面に立つ（7月）
1970 昭和45年	●シリコンメーカー構成により第3部会を新設し、施工業者の復帰により施工部会を新設準会員に（4月） ●名古屋支部発足（11月）	●東京都江東地区防災都市再開発構想発表（7月） ●日本住宅物流センター発足（建材メーカー）（7月） ●「防水ジャーナル」創刊号発刊	●第3次佐藤内閣発足〈建設大臣 根本竜太郎〉（1月） ●日本万国博開幕、77カ国参加（3月） ●赤軍派、日航機〈よど号〉をハイジャック（3月） ●歩行者天国始まる（8月） ●三島由紀夫と楯の会会員、自衛隊東部方面総監部クーデター企画失敗、割腹自殺（11月）
1971 昭和46年	●弾性シーリング材標準施工書を発表（4月） ●「シーリング管理士」制度を決定、施工部会助成など審議会を設置（7月） ●シーリング管理士規約を制定（10月）	●改正建築基準法施行（1月） ●京王プラザホテル竣工（6月） ●日本建築センターに委託した壁式プレキャストコンクリート造5階建共同住宅設計規準完成（建設省）（6月）	●沖縄返還交渉成立（6月） ●首都一帯で光化学スモッグ発生2万人余が被害（6月） ●第4次佐藤内閣発足〈建設大臣 西村英一〉（7月） ●天皇、皇后ご訪欧（10月） ●ドルの急落により円切上げとなる（1ドル308円に）（12月）
1972 昭和47年	●第1回シーリング管理士講習会を東京において開催、合格者47名（1～3月） ●通産省の要請によりPCB使用の実態調査を実施、即時使用中止を要請（3月）	●JASS8（建築学会、建築工事標準仕様書・8章防水工事）改定、4節シーリング工事新制定（2月）	●元日本兵横井庄一、グアム島ジャングルで28年ぶりに発見（1月）

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1972 昭和47年	●従来の部会制を改め分科会制を採用。〈ポリサルファイド分科会〉〈シリコン分科会〉〈ウレタン分科会〉〈アクリル分科会〉〈水性 SBR 分科会〉〈ブチル分科会〉〈油性分科会〉（6月） ●名古屋支部施工部会誕生（6月） ●大阪支部施工部会誕生（8月） ●東京施工部会技術講習会開催（10月） ●福岡支部発足（10月） ●大阪支部発足（11月）	●職業訓練法施工規則の改正により「防水施工科」追加指定となる（3月） ●「日本列島改造論」構想発表（6月） ●工技院未来都市交通システム試作本実験（10月） ●建築計画の事前公開制実施都内に建てる高さ10m以上のビルすべてに適用（東京都）（11月） ●政府国土総合開発推進本部設置（12月）	●札幌冬季オリンピック開幕（2月） ●新幹線大阪ー岡山間開通（3月） ●沖縄27年ぶりに返還（5月） ●日本赤軍イスラエル・テルアビブ空港襲撃事件発生（5月） ●田中内閣発足（建設大臣 木村武雄）（7月） ●ミュンヘンオリンピック開幕（8月） ●日中国交回復（9月）
1973 昭和48年	●防水 8 団体の職訓制度実施推進機関の職業訓練委員会に参加（1月） ●新橋第一ホテルにおいて10周年記念式典開催（2月） ●米シンシナティ大学フック教授訪日歓迎レセプション開催（6月） ●東京工業大学小池助教授を招き用途別 JIS 説明会を開催（6月） ●広島支部発足（7月） ●用途別性能原案作成委員会に意見書を提出（12月）	●池袋副都心再開発事業施工者決定（1月） ●建築投資抑制措置を実施（8月） ●建築資材の異常高騰続く ●工業化住宅性能認定規程発表（建設省）（10月） ●関門橋開通（11月）	●ベトナム和平協定調印（1月） ●アラブ産油国原油大幅上げ発表（8月） ●金大中事件発生（8月） ●政府物価抑制のため金融引締政策強化（8月） ●第4次中東戦争勃発（10月） ●政府石油対策要綱を決定、大口需要家への供給削減実施（10月） ●石油ショックのため主婦らトイレトペーパー、洗剤、砂糖の買いだめに殺到（11月）
1974 昭和49年	●北海道支部発足（3月） ●用途別性能 JIS 経過説明合同分科会開催（7月） ●各支部所属の施工部会は暫定措置として職訓制度推進のため日本シーリング工事業連合会を結成（7月） ●他の 6 団体とともに全防連設立に参加（7月） ●相談役、顧問との懇談会開催（10月） ●47、48年通産省窯業建材課のシーリング材販売実績発表（12月）	●狂乱物価続く業界にも影響大（電力・石油の使用節減強化）（1月） ●建設業法改正、登録制より許可制となる（4月） ●新宿の超高層住友ビル竣工（4月） ●防水 7 団体により全国防水工事業団体連合会（全防連）が設立され、業界の大同団結なる（7月） ●優良住宅部品認定制度を発足（建設省）（7月） ●コンクリート・カーテンウォール工業会発足（7月） ●新宿の超高層三井ビル竣工高さ日本一（9月）	●フィリピン・ルバング島で小野田寛郎元少尉救出（3月） ●ニクソン米大統領辞任（8月） ●丸ノ内三菱重工ビル、三井物産本社ビル、大成建設ビルの爆破続発（7～11月） ●経企庁、49年の経済成長は戦後初めてゼロ成長の推定発表（9月） ●長島茂雄現役引退（10月） ●三木内閣発足（建設大臣 坂谷忠男）（12月）
1975 昭和50年	●工業会所属の施工部会は日本シーリング工事業連合会を解消し工業会を退会。日本シーリング工事業協会を結成（7月）	●建築抑制措置廃止（6月） ●住宅宅地審議会答申、10年後 4 人家族、3 LDK を標	●英工リザベス女王夫妻来日（5月） ●沖縄海洋博開幕（6月）

日本シーリング工業会25年の歩み

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1975 昭和50年	●用途別性能 JIS 説明会開催（7月） ●建築用シーリング材用途別性能JIS A 5757制定公布（10月） ●大阪・広島支部、用途別 JIS 説明会を開催（11月）	●準とする（8月） ●建設省、長期10ヶ年計画と第3期住宅建設5ヶ年計画を決定、10ヶ年1,750万戸、5ヶ年860万戸の発表（8月） ●宅地開発公団発足（9月）	●日本赤軍、クアラルンプールの米・スウェーデン両大使館を占拠、赤軍7人の釈放を政府に要求、政府受諾（8月） ●広島カープ、セ・リーグ初優勝（10月） ●天皇・皇后ご訪米（10月） ●公労協、スト権ストに突入8日間にわたり国鉄全線ストップ（11月）
1976 昭和51年	●「建築用シーリング材とその正しい使い方」発刊（3月） ●全国防水工事業団体連合会賛助会員となる（6月） ●建設省共通仕様書中に新追加のためシーリング材説明会を開催（7月） ●技術懇談会開催（8月） ●入会に関する内規作成（9月） ●シーリング管理士規約を全面的に改訂（10月）	●第3期住宅5ヶ年計画政府決定（3月） ●東日本シーリング工事業協同組合が発足（6月） ●建築基準法改正案成立（11月） ●ハウス55計画開発グループ決定（12月）	●NHK 社員夫妻の間に5つ子誕生（1月） ●毛沢東主席死亡（6月） ●ロッキード事件により田中前首相逮捕（7月） ●モントリオールオリンピック開幕（7月） ●ジミー・カーター氏米大統領に当選（11月） ●福田内閣発足（建設大臣長谷川四郎）（12月）
1977 昭和52年	●新「シーリング管理士」制度推進のためシーリング管理士検定委員会を設置（1月） ●「シーリングハンドブック」発刊（4月） ●外部有識者との懇談会開催（6月） ●ポリサルファイド、シリコン、ウレタンの3合同分科会、同幹事会を開催、サッシ協会カーテンウォール工業会の提案に基づく保証問題を討議（7月） ●日シ協との材工懇談会を開催（7月） ●シーリングニュース創刊号を発行（8月） ●建築用シーリング材標準色を決定（9月） ●6基材（油性を除く）新 JIS 工業会案を原案作成委員会（工技院）に提出（9月）	●「防水施工」技能検定、第1回試験（アスファルト防水のみ）で、業界初の「防水施工技能士」が誕生する（2～3月） ●実験住宅「ソーラーハウス」（工技院）（5月） ●住宅省エネルギー研究会発足（6月） ●ハウス55入選案決定、竹中グループなど3グループ9企業（12月）	●政府、領海12カイリを決定（1月） ●ソ連200カイリ漁業専管水域を決定（2月） ●成田空港闘争で反対派の鉄塔強制撤去（5月） ●北海道・有珠山大噴火（8月） ●王選手ホームラン世界新記録達成（9月） ●日本・西独赤軍のハイジャック事件発生（10月）
1978 昭和53年	●新 JIS 案の耐久性評価区分(9030…7005)と各基材の対応区分を検討（1月） ●第1回1級シーリング管理士講習会を開催（3月） ●当面する諸問題につき、顧問、相談役との懇談会を開催（7月） ●1級シーリング管理士講習会外部講師との懇談会を開催（7月） ●建設省営繕部においてシーリング説明会を開催（9月） ●変成シリコン分科会設立、会員4社販売を開始（10月） ●臨時総会を開催、梅沢会長代行を会長に承	●合板・プレハブの大手メーカー、永大産業倒産（2月） ●大手業者に対し中小下請建設業者の倒産防止対策を指導（建設省）（4月） ●「住宅性能保証基準」〈案〉まとめる（4月） ●等圧理論によるオープンジョイント工法を新宿センタービルで採用（大成建設） ●建築学会春季大会で「建築防水をとりまく諸問題」がテーマとなる（5月）	●伊豆大島近海地震（M7.0）（1月） ●成田空港開港（5月） ●植村直巳、単独で北極点到達（5月） ●宮城県沖地震（M7.5）（6月） ●日中平和友好条約調印（8月） ●巨人が江川と契約（11月） ●大平内閣発足（建設大臣渡海元三郎）（12月）

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1978 昭和53年	認、オープンジョイント工法（講師：大成建設 鶴田裕氏）の講演会開催（10月）	● 関西シーリング工事業協同組合が発足（6月） ● 建設省設立30周年記念祝賀会開催（7月） ● わが国建築用シーリング材研究の第一人者、波多野一郎死亡（11月） ● 東大寺大仏殿新装なる（12月）	
1979 昭和54年	● シーリングハンドブック改訂版発行（2月） ● 新JIS A 5758受審についての準備始まる（工技院との打合せ会開催）（4月） ● 生産販売実績、動向の調査、把握、市況調査と対策の立案、実施を目的として調査委員会設立（4月） ● 建設省営繕部監督課において、弾性シーリング材を中心とした説明会を実施（6月） ● 新JIS A 5758「建築用シーリング材」制定公布（7月） ● 新JIS 説明会を開催（講師：東京工業大学 小池通夫先生ほか）（7月） ● 建設省営繕部より依頼の「建築工事共通仕様書」（原案）を答申（8月） ● 工業会会員を対象とした「シーリング技術管理士」制定（9月） ● 東京支部発足（9月） ● ALC 協会技術委員会の招へいにより、シーリング材の説明に講師派遣（10月） ● 合同分科会（東京支部合同）で、講演会を実施（講師：清水建設 松本洋一）（11月） ● シーリングハンドブックに新JIS 内容を盛り込み改訂版発行（12月）	● 技能検定「防水施工」において、初のシーリング作業実技試験実施（'78.12月～'79.2月）。続いて全国一斉にペーパーテスト実施（2月） ● 日本建築学会がJASS 8（防水工事）改定原案発表（3月） ● シーリング業界初の「防水施工技能士」誕生（3月） ● 日本建築防災協会発足（4月） ● 日本シーリング工事業協会が日本シーリング工事業団体連合会に改組（6月） ● 住宅・建築省エネルギー機構発足（7月） ● 欠陥建築防止のための工事監理業務モデル作成（建設省）（9月） ● 日本DIY &ホビーショー開幕（9月）	● 米中国交正常化（1月） ● 東京サミット開催（6月） ● 千葉県「神野寺」のトラ脱走騒動（8月） ● KDD 密輸事件（10月） ● イランで米大使館員人質事件（11月） ● 第2次大平内閣発足（建設大臣 渡辺栄一）
1980 昭和55年	● 郵政省建築部シーリング工事共通仕様書の補助説明会（1月） ● 第3回1級シーリング管理士および第1回シーリング技術管理士養成講習会、同試験の実施（2月・6月） ● 建設省建築工事共通仕様書改訂案答申（1次案）（2月） ● 新顧問として小池通夫（東工大）加藤正守（千葉大）両先生を迎える（6月） ● 郵政省での説明会実施（7月） ● JIS 表示許可工場受審のための講習会（講師：東京通産局 岡田邦夫氏など）（9月） ● 建築ガスケツト協会の協会規格作成委員に技術委員を派遣（9月）	● 「防水施工」技能検定で「コンクリートプレハブ建築防水工事作業」試験実施（2、3月） ● 建設業近代化モデル計画で防水工事が対象業種となる（建設省）（4月） ● 関シ協「シーリング防水工事標準仕様書」を発刊（4月） ● 日本DIY &ホビーショー開幕（9月） ● 日本建築学会材料施工委員会第2分科会新委員決定：仕入氏、小池氏、渡辺氏な	● 冬季オリンピック開幕：米レークプラシッド（2月） ● 太平首相死亡（6月） ● 鈴木内閣発足（建設大臣 斉藤滋与史）（7月） ● モスクワオリンピック開幕（7月） ● 静岡駅前ビル地下街でガス爆発、死者14人、重軽傷者200余人（8月） ● イラン・イラク戦争勃発（9月） ● 巨人、長島を解任（10月） ● 新米大統領にロナルド・レーガン氏（11月）

日本シーリング工業会25年の歩み

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1980 昭和55年	●(財)日本カーテンウォール工業会のシーリング分科会に技術委員を派遣(10月) ●建築工事施工監理指針改訂原案作成、建設省に提出(12月) ●建設省の推薦により、(財)日本建築防災協会の「建築物とその周辺の防災対策調査委員会」に技術委員を派遣(12月)	●ど(9月) ●東シ協「シーリング防水工事の施工指針」を発刊(12月)	
1981 昭和56年	●講演会を開催(講師・東工大 小池進夫先生)(1月) ●(財)中央職業能力開発協会の要請により、技能士の委員会に技術委員を派遣(1月) ●JIS A 5758への対応調査表を建設省に提出(4月) ●建築ガスケット協会からの依頼による「緩衝材とシーリング材の取合部の試験」に協力開始(4月) ●建築学会 JASS 8 の第 5 小委員会が編成され、工業会から 3 名の委員参加(5月) ●ALC の技術委員会に技術委員派遣(6月) ●北海道建築設計監理協会主催の「寒冷地におけるシーリング材料と施工研修会」に講師派遣、その他で協力(7月) ●1983年3月の接着剤・シーラント国際会議へ参加の方針決定(9月) ●東京都財務局に対する説明会(10月) ●「積算の仕方」発行(10月) ●シーリング管理士試験問題集発行(10月)	●建設省「建築工事共通仕様書」56年版発行(2月) ●JASS 8 改定版発行(4節塗膜防水が新制定)(2月) ●建築補修用注入工ポキシ樹脂 JIS 制定(3月) ●カネカ MS ポリマーが高分子学会賞受賞(5月) ●改正建築基準法施行令〈新耐震設計法〉施行(6月) ●4 会連合協定「工事請負契約約款」改正原案決定(実施9月1日)(7月) ●住宅・都市整備公団発足(10月) ●静岡県建設業界の談合問題発覚(11月)	●ポートピア'81開幕(神戸)(3月) ●米国人宇宙連船「スペースシャトル・コロンビア」打上げに成功(4月) ●台湾・遠東航空機墜落、向田邦子ら死者110人(8月) ●北海道・北炭夕張新鉱でガス流出・死者行方不明93人(10月) ●第 2 次鈴木改造内閣発足〈建設大臣 始関伊平〉(11月)
1982 昭和57年	●講演「カタログ、技術資料に見るシーリングジョイント設計資料」開催(講師：千葉大 加藤正守先生)(1月) ●関東板ガラス協同組合の要請により「シーリングの現状と問題点」講習会実施(2月) ●国際化標準機構 (ISO) 案に対する意見を工技院に提出(千葉大 坂田先生経由)(3月) ●「シーリングハンドブック'82」改訂版発行(4月) ●技術委員会指導の動暴露試験機完成、発表(5月) ●経営者懇談会開催(6月) ●建設省総合技術開発研究プロジェクト(総プロ)へ参加、協力開始(6月) ●石川県建築士会主催「シーリング関係講習会」に講師派遣(7月) ●シーリング管理士、技術管理士規約改訂(7月) ●総プロの一環として、全国一斉暴露試験始まる(12月)	●建設省「建築工事施工監理指針」56年版発行(2月) ●プレハブ建築協会、自主管理基準を改訂。低層プレハブ住宅で防水工事が10年保証体制となる(4月) ●建築学会材料施工委員会第2分科会新委員決定(6月) ●全国防水工事業団体連合会で作成中の「防水保証基本契約約款」が完成、発表される(6月) ●建設省総プロ「建築物の耐久性向上技術の開発」で作業本格化、防水、シーリング分野で注目される ●建築防災協会で「外壁タイル張りの耐震診断とその対策」まとまる(8月)	●ホテル・ニュージャパンで火災、死者32人、重軽傷者29人(2月) ●日航機 DC8型、羽田沖で墜落、死者32人、重軽傷者29人(2月) ●英国、アルゼンチン本格的軍事衝突(5月) ●イスラエル軍、レバノン侵攻(6月) ●長崎県を中心に集中豪雨、死者134人、行方不明195人(7月) ●ソ連・ブレジネフ書記長死亡(11月) ●中曽根内閣発足〈建設大臣 内海英男〉(11月)

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1983 昭和58年	●講演「ジョイントシール防水のTQC」開催。講師は寺内伸氏(鹿島建設技術研究所) (1月) ●建設省営繕計画課積算係に対し、参考標準設計価格の説明実施 (2月) ●シーリング材容器の実態調査、各種製品の比重測定 (3月) ●ASC 国際会議への参加 (3月) ●関シ協とシーリング技術講演会共催 (4月) ●総プロ熟劣化試験開始 (60°C、80°C) (5月) ●創立20周年記念パーティー挙行、於・東郷記念館 (5月) ●工技院材料規格課へJIS A 5751「建築用油性コーキング材」審査事項の見直し回答 (11月) ●中国シ協との共催で技術研修会、於・広島 (11月) ●JIS 工場公示検査制度検討会 (12月) ●総プロ、自然曝露1年経過試料配布(12月)	●仏ローヌプーラン社シリコン日本市場に参入(1月) ●ALC 構造設計基準改定 (4月) ●住宅性能保証制度全国で本格化、住都公では防水10年、外壁7年 ●建設省技術評価制度「外断熱」で4工法認定 (7月) ●建築施工管理技士制度公布 (7月) ●建設産業専門団体協議会発足 (9月) ●民間でも住宅防水保証長期化へ ●外周壁懇談会 (主宰・内田祥哉東大教授) 発足(11月) ●高住協、分住協で改修マニュアル作成ニーズ高まる	●サラ金規制法成立 (4月) ●NHK テレビ「おしん」放送開始 (4月) ●東京ディズニーランド開園 (4月) ●フィリピン、アキノ氏暗殺事件 (8月) ●大韓航空機墜落事件 (9月) ●三宅島大噴火 (10月) ●レーガン米大統領来日 (11月) ●ロッキード事件・田中元首相有罪判決 ●パソコン、ワープロが急速に普及
1984 昭和59年	●講演「シーリング工事と品質保証」開催。講師は松本洋一氏(清水建設技術研究所) (1月) ●工技院よりJIS A 5758「建築用シーリング材」改正作業の委嘱を受ける (3月) ●シーリング工事のQ & Aを作成し、会報(シーリングニュース21)に掲載 (4月) ●第21回総会を開催、太田氏が新会長に (5月) ●JIS A 5758改正原案作成本委員会開催 (6月) ●建設省へ共仕改定案を答申、適材適所表を提出し「シーリングニュース22」に掲載 (7月) ●シーリング材標準設計価格を決定 (9月) ●シーリング材と仕上塗材の取合についてNSKと共同研究へ (10月) ●広島支部主催でユーザー対象に「Q & A」講演会 (10月) ●JIS 改正原案審議終了 (12月) ●総プロ、実作業ほぼ終了 (12月)	●BCS 防水研究委員会が防水層選定手法など発表講演 (2月) ●日本住宅リフォームセンター発足 (4月) ●建築施工管理技士に一級が追加 (4月) ●建設省技術評価制度でタイル剥離検知器など認定 (5月) ●通産省、新集合住宅開発プロジェクト発足 (6月) ●中小企業等協同組合法改正 (8月) ●愛知県シーリング工事業協同組合設立 (8月) ●建設省共仕でシーリング工事が九章へ格上移項 (9月) ●通産省、建築仕上材耐久性試験標準化へ着手 (9月) ●仕上塗材 JIS 改正公布(11月)	●江崎グリコ社長誘拐事件 (3月) ●植村直巳氏マッキンリーで消息断つ (3月) ●ロンドンサミット (6月) ●長野西部地震、王滝村土砂崩れ (9月) ●ソ連サリュート7号3飛行士が宇宙滞在新記録(10月) ●文化人シリーズで新札発行 (11月) ●アフリカの飢餓、24カ国に拡大 ●コンクリート中性化(劣化)が社会問題化
1985 昭和60年	●講演「シーリング防水の耐久性向上技術に関する最近の動向」開催。講師は鶴田裕氏(大成建設技術研究所) (1月) ●関シ協共催で、大阪支部がユーザー対象にシーリング勉強会 (1月) ●JIS 改正原案答申 (2月) ●NSK との共同研究開始 (参加23社、55品種) (5月) ●外防協(日本外壁防水材工業会)ともNSKと同一内容の共同研究開始 (8月)	●建設省建築工事共通仕様書60年版発刊 (2月) ●総プロ成果を反映した改修設計指針まとめる (4月) ●建築用発泡体ガスケツトJIS 化着手 (4月) ●高住協、マンション保全診断センター設立 (4月) ●九州シーリング工事業協同組合設立 (6月)	●米ソ包括軍縮交渉始まる (1月) ●新風俗営業法施行 (2月) ●つくば科学万博始まる (3月) ●NTT、日本たばこ産業発足 (4月) ●男女雇用均等法成立 (5月) ●豊田商事・永野会長惨殺 (6月)

日本シーリング工業会25年の歩み

年 次	日 本 シ ー リ ン グ 工 業 会	建 築 関 連 ニ ュ ー ス	社 会 ニ ュ ー ス
1985 昭和60年	●シーリングハンドブック改訂作業開始（9月） ●名誉顧問、建築材料学の泰斗・狩野春一先生逝去（10月） ●新規ポリマー〈パーマポールポリマー〉の分類名称を「変成ポリサルファイド」と決定（10月） ●開口部防火研究委員会発足（11月） ●「シーリング材の適材適所」をテーマに名古屋支部主催で技術研修会（11月） ●中国シ協共催で広島支部も研修会（11月）	●通産省、集合住宅用新材料開発組合設立（6月） ●財マシオン管理センター設立（8月） ●大阪でディーラー会「なにわ会」発足（9月） ●JASS8改定原案発表（11月） ●タイル用接着剤 JIS 原案作成着手（10月） ●建研秋期講習会で総プロ成果概要発表（10月）	●大相撲初のニューヨーク場所（6月） ●日航ジャンボ機墜落、520人死亡（8月） ●ロス疑惑の三浦和義逮捕（9月） ●メキシコ大地震（9月） ●阪神21年ぶりに優勝、トラフィーバー（10月）
1986 昭和61年	●講演「シーリング防水における最近の技術動向」開催。講師は松本洋一氏（清水建設技術研究所）（1月） ●シーリング誌23号を発行、JIS A 5758改正概要と適材適所表誕生の背景を掲載（1月） ●開口部シーリング防火研究プロジェクト発足（1月） ●初の女性シーリング技術管理士誕生（2月） ●接着剤工業会20周年記念行事の国際セミナーに協賛（6月） ●JIS A 5758—1986が公布（8月） ●総プロ関連で各地の暴露3年経過試料を採取、物性試験を行う（8月） ●シーリング材ハンドブック発刊（9月） ●顧問・加藤正守氏主宰で SGS 構法技術調査団米国に派遣（10月） ●改正 JIS (A 5758—1986) 説明会開催、顧問・小池迎夫氏が講演（10月） ●NSK との共同研究成果発表（10月） ●初の支部長会議開催（12月）	●建設省、施工監理指針60年度版発刊（1月） ●第1回アクリルゴム系塗膜防水検定実施（2月） ●JASS8 普及講習会全国で開催（3月） ●第1回樹脂接着剤技能検定実施（3月） ●官民連帯共同研究で外装材維持補修工法を開発へ（4月） ●建築学会材料施工第二分科会改組（4月） ●建設省、建築改修設計指針発刊（4月） ●住・都公、保全工事共通仕様書61年版発刊（5月） ●四国シ協、四国シ協組相次ぎ設立（5、6月） ●塩化物総量規制実施へ（10月） ●集合住宅防水も長期保証へ（財住宅登録機構）（11月）	●スペースシャトル爆発（1月） ●マルコス政権崩壊（2月） ●チェルノブイリ原発大事故（4月） ●東京サミット（5月） ●チャールズ皇太子とダイアナ妃来日（5月） ●カメルーン・ニオス湖で有毒ガス発生（8月） ●初の女性党首・社会党土井たか子委員長誕生（9月） ●西武・清原新人本塁打記録塗替（10月） ●小佐野賢治死去（10月） ●三原山大噴火、島民避難（11月） ●厚生省、エイズ対策専門家会議設置（12月） ●円高続き1ドル150円台に
1987 昭和62年	●講演「請負制度—その歴史的背景」開催。講師は顧問・小池迎夫氏（東京工業大学教授）。なお、本年より新年会を都内で開催（1月） ●相談役・伊藤憲太郎氏逝去（1月） ●急増するサイディングボード需要について現況と課題をシーリング誌4号に掲載（1月） ●JIS 審査事項の改訂に関する意見を具申（3月） ●通産省より「輸出関連法規の遵守の徹底」について通達（7月） ●建設省および住宅金融公庫の要請で仕様書改訂に関し意見具申（7月） ●管理士規約を改訂、受験資格および手続きを簡素化した（10月） ●開口部防火シーリング研究実質作業終了。シーリングニュース30、31に概要報告（10月） ●シリコン系シーリング材（カートリッジタイプ）の値上に対し公正取引委員の立入調査（11月）	●建材産業研究会発足（2月） ●コンクリートびわれ対策指針改正（コンクリート工学協会）（2月） ●大阪で初の DIY ショー開催（3月） ●総プロ普及用技術指針刊行（5月） ●東シ協、SGS 構法研修会開催（5月） ●外壁塗膜防水材 JIS 化作業着手（7月） ●公共事業円滑執行で建設省が労働者確保を通達（8月） ●四国シーリング工業協同組合設立（9月） ●技能工、資材不足全国的に（全建連調査）（9月） ●官民共同「外装改修技術開発推進委」発足（11月）	●NTT 株上場（2月） ●三井物産マニラ支店若王子支店長解任（3月） ●国鉄分割、民営化（4月） ●東京で地価高騰 ●売上税廃案（5月） ●石原裕次郎さん死去（7月） ●ベン・ジョンソン9秒83の新記録（8月） ●ノーベル医学生理学賞、利根川博士受賞（10月） ●広島・衣笠選手、巨人・江川選手引退（11月） ●大韓航空機行方不明、「真由美」韓国へ移送（11月） ●韓国大統領に盧泰愚氏（12月） ●フィリピン沖でフェリーとタンカー衝突大惨事（12月）

性質・用途	アミノキシ型			酢酸 1成分形	アルコール 1成分形	オキシム 1成分形
	1成分形	2成分形	3成分形			
低モジュラス (メタル・PCカーテン ウォール・土木用)	トスシール 10 (※)÷1	トスシール 361 (※)÷2				
一般用 (ガラス・一般建材用)				トスシール 371	トスシール 380	トスシール 381 (※)÷3
中・高モジュラス (ストラクチャル グレイジング用)		トスシール 62		トスシール 1200		
防カビ性 (バスタブ用)		トスシール 63		トスシール 73		トスシール 83
超透明 (ショーケース用)				トスシール 78		
難燃性 (防火区画内用)		トスシール 64				
難燃充填シール用 (シリコンフォーム)		トスシール 300				
流動性 (土木用)		トスシール 67				
マスチック型 (油性補修用)			トスシール 90			
※1 JIS A 5758「SR-1-10030-A-N」 ※2 JIS A 5758「SR-2-10030-A-N」 ※3 JIS A 5758「SR-1-9030G-A-N」						
認定品 許可番号 第381142号						

信頼のブランド

トスシール

各種用途に適した 製品のラインナップ

超高層ビルに数々の実績があるトスシール。この実績が保証する品質の確かさ、十分なる技術サービス体制、豊富な製品ラインが、どのような用途にもきっとご満足 of ゆく製品となって、皆様のお手許にお届けすることができます。

●建築用シーリング材に関することなら、まず、東芝シリコンにご相談ください。



東芝シリコン

東芝シリコン 株式会社

本社/〒106 東京都港区六本木6-2-31

☎(03) 479-3501代 ●支店/大阪・名古屋

営業所/札幌・仙台・金沢・北関東・広島・福岡

建築用弾性
シーリング材

セメダイン

ポリシール1^{ワン}

世界が認めた
パーマポール日本
で新登場!!

セメダイン「ポリシール1」は、変成ポリサルファイド系ポリマー（パーマポール®）を主成分とし日本触媒化学工業㈱と共同開発した1成分形建築用シーリング材です。空気中の酸素で硬化する特長を有し、バランスのとれた性能を保持することから、新しい1成分形シーリング材として今後の市場要求に対応する製品です。

特長

- 酸素硬化のため、寒冷地（-5℃）での硬化がOKです。
- 専用プライマー（MP2000）を使用することにより、油性コーキング材の打ち替え用途に最適です（1液タイプであるため、リフォームでは混合機を必要とせず、手軽な作業ができます）。●シール施工後の仕上塗材に対しては、ウレタン系と同程度の良好な密着性と非汚染性を有します。

用途

- PC、SRC、RC、モルタル、ALCなどコンクリート目地シール。●各種サイディング材の内外装目地シール。●GRCなどのセメント2次製品類の目地シール。●石目地、タイル目地シール。●建築各種の金属建具まわり、配管まわりシール。●折板目地、カラ鉄板シール。●コンクリート系外壁リフォームの目地打替え、クラック補修。

塗料がのる変成
ポリサルファイド

油性コーキング材の打替え
補修に最適!



接着剤とシーリング材の総合メーカー
セメダイン株式会社

〒141 東京都品川区東五反田4-5-9

建築土木
事業部

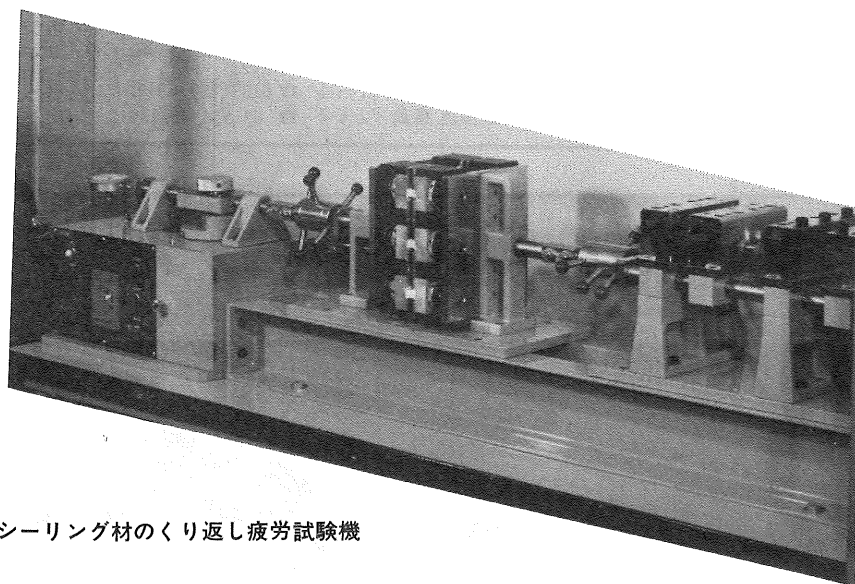
☎(03) 442-1341

大阪支店 〒542 大阪市南区島之内1-15-14 ☎(06) 251-3555
名古屋支店 〒464 名古屋市千種区井上町34 ☎(052) 781-3166
札幌営業所 ☎(011) 261-1471 南関東営業所 ☎(045) 314-9671 広島営業所 ☎(082) 249-0941
仙台営業所 ☎(022) 284-6167 静岡営業所 ☎(0542) 52-3031 福岡営業所 ☎(092) 741-7188
北関東営業所 ☎(0285) 22-1291 金沢営業所 ☎(0762) 51-3501

土木建築用高分子材料試験は 化学品検査協会へ

建築用シーリング材，土木用目地材，塗膜防水材，合成高分子ルーフィング材，壁材，床材，保温材，断熱材，内装材，外装材などの試験および骨材のアルカリシリカ反応試験（アルカリ骨材反応試験）を日本工業規格（JIS），官公庁・公社規格及び諸外国の規格をはじめ，本会独自の評価方法により実施し，各方面の要望にこたえています。

また，ニーズに応じた新製品の研究・開発・技術指導・JIS表示取得のための工場指導も行っております。



シーリング材のくり返し疲労試験機

◇ 中立・公正な第三者機関・通商産業省指定検査機関 ◇



財団法人 化学品検査協会

関西事業所 〒543 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-6-5 ☎06(771)5157

東京事業所 〒131 東京都墨田区東向島4-1-1 ☎03(610)4153

名古屋試験所 〒466 名古屋市昭和区折戸町4-1 ☎052(761)1185



エビ印 エアー式 コーキング・ハツリシステム

PM-106M

ハツリ効率
3倍アップの
ハイパワー



小型・軽量(800g)
サッシまわりにも使用OK!

- コーキングチッパー CC-M
(空気消費量0.23m³/mm)
- チゼルMC-7・MC-12・MC-15
(刃幅7mm・12mm・15mm)

システム内容

PM-106M…コーキングチッパーCCM・エアーホース・軽便グラインダー・
電源トリプルコード・コンプレッサー



日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市中新開116-1 ☎ 0729(62)1601(代)
東京営業本部 〒175 東京都板橋区高島平2-6-4 ☎ 03(550)3671(代)

名古屋 ☎ 052(915)0431(代)
札幌 ☎ 011(251)5721
仙台 ☎ 022(284)5602
高松 ☎ 0878(61)6110
広島 ☎ 082(292)4422(代)
福岡 ☎ 092(431)0395(代)

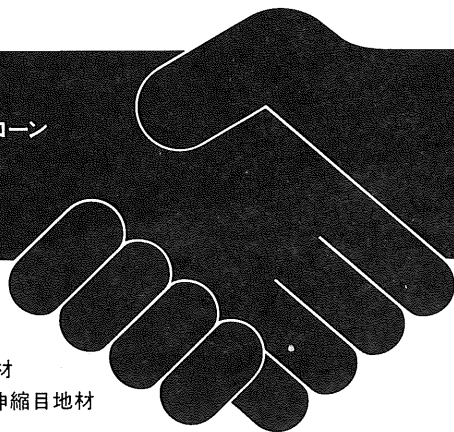
建築防水資材の名コンビ

シーリング材

シリコン1液2液 変成シリコン
ポリサルファイド
ウレタン1液2液
アクリル ブチル 油性

バックアップ材

角型 丸棒 超硬質 特殊形状
ゴムグレイジングロープ
マスキングテープ
他副資材



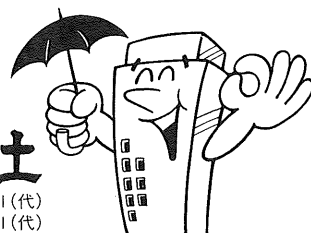
- ★防水吹付材・エポキシ注入材
- ★エポキシライニング材・防水塗床材
- ★ウレタン防水材・シート防水材・伸縮目地材

豊富な在庫で迅速納入



フヨー株式会社

本社・建材営業部/〒130 東京都墨田区業平5-5-6 Tel.03(626)3371(代)
大阪支店/〒532 大阪市淀川区宮原5-6-10 Tel.06(395)0201(代)
仙台営業所/〒982 仙台市一本杉町37-18 Tel.0222(99)7334(代)



63年を展望する

広報委員会

1. シーリング材の需要動向

円高ドル安で顕在化した国際貿易の対外不均衡により、わが国経済は昨年来、内需主導型への構造転換を推進しているが、住宅・社会資本の整備を目的としてその中心的役割を担っているのが建設業である。また、欧米先進諸国との対比からも、この住宅・社会資本の整備は、わが国の長期的な課題であり、施策面における内需の継続的かつ重要な柱として位置づけられているところから、今後、建設需要が急激に落ち込むことは考えにくく、企業営業的な見地からすれば従来の輸出主体から海外製品の受入れに対応する真の国際化への脱皮が迫られているところと言えるだろう。

昨年は、輸出関連ならびに鉄鋼・石炭に代表される基幹製造業の不振が目立ったが、全般的には好況感に覆われた1年だった。建築着工面では高度経済成長期以来の2桁伸び率を示し、現場では人手不足、一部資材の高騰を招来した。建築用シーリング材の出荷量も昨年は久しぶりの2桁伸び率を示し、着工動向とその時差を考慮すれば、この傾向は暫時持続するものと見られる。しかし、資材メーカーの生産能力が向上している昨今、供給は相変らず過剰気味に推移し採算ベースを割込むような市況も慢性化している。品質の低下にも繋りかねない情勢だが、産業的に充実期を迎えている現在、ユーザーの信頼を裏切ることだけは避けねばなるまい。

建築用シーリング材全体の販売量は、昭和55年以来的2桁伸び率を示し10.5%増の60,550トンとなった。56年～61年の平均伸び率が6.0%であった点を考えるとかなりの高水準の伸びである。なお、毎年行

なっている当工業会によるシーリング材販売量調査は従来11月、12月については推定値として算入していたが今回より調査時期を約3箇月遅らせたため前年実績として精度の高い統計値が得られるようになった。また、これに伴い充分把握しきれない建築用途以外の需要量については、今回より削除することとし、主用途の建築（一部土木を含む）分野のみの販売統計となった。

一昨年までの安定成長は、その伸び率が需要の大半を占める不燃建築着工の伸びと近似したため、需給バランスがほぼ飽和状態に達したと考えられた。昨年の実績についてもやはり、内需振興による着工実績の好転がもたらしたものと考えられ、55年以前の需要拡大期の出荷要因とは内容も異なっていると言えるだろう。55年以前は、目地設計の適正化と適材適所の普及などユーザーの認識向上に伴う使用量の増大、また、建築材料として言わば需要が需要を生むように底辺需要を拡大してきたシーリング材自体の普及、この両者が需要拡大に果してきた大きな貢献要因である。もちろん、この背景には材料メーカーの生産技術ならびに製品開発、経済性の追求、材販工一体となった各種の啓蒙・宣伝活動の成果があることは言うまでもない。しかし、近年の動向は建築着工の推移と並行化しつつあり、需要層の要求規模と着工規模が一致してきたとも言え、拡大期の成長要因の影響は十分薄らいだと考えられる。サイディング材、SSG、室内用途の多目的化など新たな用途分野も出現しているが、着工動向を凌ぐほどの需要因子ではない。従って、シーリング産業も成長から熟成の段階にはいったと言えるだろう。

基材別の出荷動向はここ数年の傾向が引続いており、シリコン系、変成シリコン系、ポリサルフ

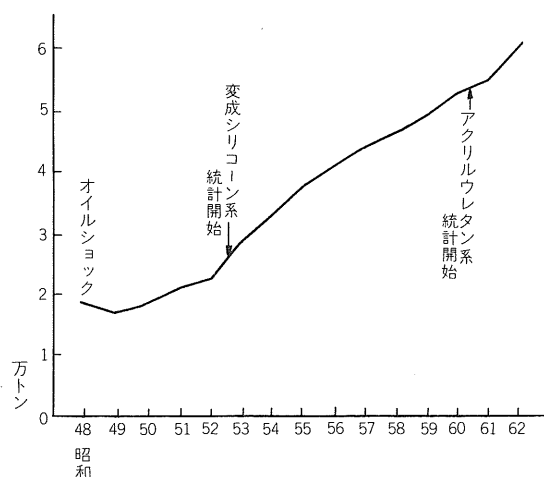
63年に展望する

表ー1 建築用シーリング材の年別販売量*

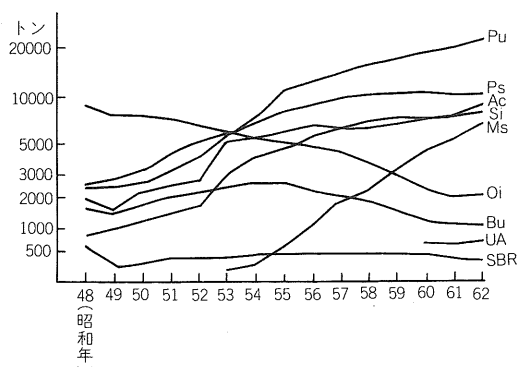
基材	区分	年	販売量(トン)
シリコーン系		58	6,890 (1成分 5,320 2成分 1,570)
		59	7,250 (1成分 5,680 2成分 1,570)
		60	7,190 (1成分 5,850 2成分 1,340)
		61	7,250 (1成分 6,180 2成分 1,070)
		62	7,880 (1成分 6,680 2成分 1,200)
変成シリコーン系		58	2,210 (1成分 650 2成分 1,560)
		59	3,200 (1成分 1,500 2成分 1,700)
		60	4,390 (1成分 2,300 2成分 2,090)
		61	5,200 (1成分 2,800 2成分 2,400)
		62	6,600 (1成分 3,800 2成分 2,800)
ポリサルファイド系 (1成分を含む)		58	10,070
		59	10,600
		60	11,150
		61	10,930
		62	11,260
アクリルウレタン系		60	600
		61	610
		62	660
ポリウレタン系		58	15,200 (1成分 3,350 2成分 11,850)
		59	16,650 (1成分 3,800 2成分 12,850)
		60	18,190 (1成分 4,440 2成分 13,750)
		61	19,800 (1成分 4,900 2成分 14,900)
		62	21,990 (1成分 5,600 2成分 16,390)
アクリル系		58	6,030
		59	6,500
		60	7,160
		61	7,600
		62	8,740
S B R 系		58	400
		59	400
		60	400
		61	320
		62	300
ブチルゴム系		58	1,800
		59	1,500
		60	1,200
		61	1,100
		62	1,070
油性		58	3,600
		59	2,900
		60	2,270
		61	1,990
		62	2,050
計		58	46,200
		59	49,000
		60	52,570
		61	54,800
		62	60,550

*一部土木用を含む。

アイド系, アクリルウレタン系, ポリウレタン系の弾性5基材が全般的に好調で, 特に1成分形の伸びが目立っている。弾性5基材は建築用全体の79.9%を占めシーリング材即弾性というイメージも強くなっているが, この占有率は一昨年と変わっていない。また, これにアクリル系を加えると占有率は94.4%に上る。現時点で, 弾性系の占有率の増大が停止したとは即断できないが, 全9基材の適材適所の使われ方が浸透した結果とも言えるだろう。一方, 弾性1成分形は依然2桁伸び率で増加, 量的には2成分形が圧倒しているが弾性系の中での占有率も57年の24.3%から62年では33.2%に上昇している。シーリング専門工事店以外への需要の拡大がますます進ん



図ー1 シーリング材出荷量の推移



図ー2 基材別出荷動向 (片対数グラフ)

で見られる。

市況面の混迷を除けば、シーリング産業も充実期にふさわしい種々の活動成果を生んでいる。

まず、建設省総合技術開発プロジェクト「建築物の耐久性向上技術の開発」でまとめられたシーリング防水の劣化診断、補修・交換、総合耐久設計の各指針の普及活動があげられる。同プロジェクトには当工業会も積極的に参加、その成果については全国でユーザーを対象とする講演活動を行ない、シーリング防水の総合的な維持管理技術の向上を目指している。現在、建設省では新たに同プロジェクトを継続した形で、実際の工法に反映すべく補修・改修技術の確立に向け官民連帯で共同研究を行なっているが、当工業会も協力体制を整えている。

次に、建設省建築工事共通仕様書、同施工監理指針、JIS、JASSなど標準類に関する制・改定作業への継続的な協力、推進があげられる。これらによりユーザー層のシーリング材に対する認識は着実に高められていると言えるだろう。

また、他関連団体との協力的な研究作業も特筆すべき成果をもたらしている。NSK、NBK（元・外壁塗膜防水材協議会）とで行なった仕上塗材ならびに外壁塗膜防水材とシーリング材の取合いに関する研究は、その暴露結果と傾向が公表されユーザーの便宜が図られた。また、日本乾式防火サイディング協会との適正な目地施工を目途とする技術協力、さらに、建設省で進められた開口部防火研究に対する開口部防火シーリング研究委員会としての参加があり、前者は同協会からのパンフレット「住宅とサイディング」による広報、後者は夏頃に最終報告としてまとめられる見込みで今後の普及効果が期待される。

これらに加え、施工技術、管理技術面でのレベルアップも着実に行なわれている。国家認定資格のシーリング防水技能検定制度、当工業会が認定するシーリング管理士・技術管理士制度もますます充実を見せ、多くの有資格者が誕生している。また、これらの資格制度はJASSや総プロ成果にも反映され

るなど対外的評価も大いに高まっているところである。

こうした諸活動によりシーリング材に対する認識が向上し、適材適所にに基づく客観的な性能評価も定まりつつある事は論を俟たない。しかし、ユーザーの要求度合の高まりが中々止むものではない事も事実である。そして今後は、一層の高機能材料、複合機能材料が求められることも必然であろう。ユーザーの期待に応え、シーリング防水への信頼を揺ぎないものとするためにも上記の技術面での成果を有意義に運用し、今後の継続的な研鑽の礎とすることが必要である。

基材別動向

❖シリコン系❖

2成分形の低迷でこのところ伸び悩んでいたシリコン系だが、昨年は前年比7.6%増の7,880トンとなった。58、59年の1,570トンをピークに減少し、61年には1,070トンまで低下した2成分形だが、昨年は伸び率では1成分形を上回る12.1%増を示した。SSGやガラスをふんだんに使用したメタルカーテンウォール系の大型物件が増加していることが大きな要因である。1成分形も8.1%増と相変らず好調で、ガラス、板金などのルート需要が強い。底辺需要の拡大というより1件当りの使用量が増加している模様で、また、従来2成分形で対応していた小規模改修物件などもその簡便さから1成分形に置き換わるケースもあるようである。現在、各地で進められている都市再開発は、同時に防災不燃化都市への再編も促進しており、今後難燃性の点でシリコン系に有利に働くものと期待される。

❖変成シリコン系❖

絶対量が増加した近年は、かつての驚異的な伸びは見られなくなったが、それでも前年比26.9%増の高伸び率で6,600トンとなった。特に1成分形は一昨年の伸びを上回る35.7%増を示し、ルート需要での浸透のほか、近年急増しているサイディング材目地への適用がかなり進んでいることを物語っている。一方、2成分形も16.7%増という高水準の伸びを示

しているが、これはコンクリートカーテンウォール系建物の受注量も同程度の伸びを示していることからその影響を反映してのものである。仕上塗材に対するポリマーの改良なども適宜進められ、また、2成分形については使い易く作業性の良いカラーマスター方式のシーリング材としてさらに実績を伸ばすことも確実である。

❖ポリサルファイド系❖

このところ他の弾性基材の好調に比べ安定的に推移、一昨年は統計上はわずかながらも初の減少を示したが、昨年は3.0%増と持ち直し11,260トンとなった。中高層カーテンウォールでの変成シリコン系、中低層PCでのポリウレタン系の影響が出荷にもやや反映しているようだが、実績と歴史に裏付けられた汎用シーリング材としてのユーザーの支持は根強く、今後も安定した伸びを見せていくと思われる。また、1成分形は、作業性の改善とともに塗料に対する非汚染性、防カビ性なども配慮し一般ユーザーへも浸透しつつあるようだ。

❖アクリルウレタン系❖

61年のJIS改正で初めて規格化された新基材である。供給メーカーも現在2社と少ないが、60年に出荷統計を始めてから600トン台を推移、昨年は8.2%増の660トンとなった。物性面からはポリサルファイド系とポリウレタン系の中間に位置するが、外壁仕上塗材や塗膜防水材との馴染みが非常に良いことが実証されている基材で、コンクリート目地を中心に採用されている。近年、ユーザーの外装材に対する美観要求が高まっているところから長期的には伸長する要素が大きい基材と言えよう。

❖ポリウレタン系❖

物量面では他基材を圧倒するものがあり、出荷動向も依然好調を続け前年比11.1%増の21,990トンとなった。全シーリング材の36.3%、弾性基材の中では45.4%を占めるほどに汎用化が進んでいる。特に、2成分形は10%増の16,390トンとなり、中低層のPC、RC建物、油性系の打替え、地下構造物等土木目地など広範な需要分野へ、経済性も有利に作用し

着実に浸透している。また、1成分形も14.3%増の5,600トンと大きく需要を伸ばした。変成シリコン系同様、サイディング材目地や戸建プレハブ住宅での採用が目立っている。ただし、特に2成分形は、一般的に性能バランス上経済性を優位にしているきらいがあり、1成分形にしても製品間にかなり性能差がある基材ではある。

❖アクリル系❖

用途の90%以上がALC板目地という特異な位置づけのシーリング材である。従って、ここ数年はALC板出荷動向の好調さを反映して順調に推移、昨年は15%増の8,740トンとなった。ALC板目地にはポリウレタン系1、2成分形のほか変成シリコン系や変性タイプの新製品も登場しており、アクリル系主流の中にも用途や建物グレードによって使い分けが進みつつあるようである。

❖その他❖

ブチルゴム系は外壁に用いられるケースが少なく建築用途としてはサッシの裏込めや板金関係、シート防水の貼仕舞への使用がほとんどである。しかし、この分野も近年耐候性の向上を図る目的で弾性基材が用いられるケースがふえており、昨年も2.7%減の1,070トンと減少が続いた。SBR系も最近では室内目地に用いられるのがほとんどで、また、価格面でのメリットも少なくなりブチルゴム系同様低迷を示し前年比6.2%減の300トンとなった。一方、48年の統計開始以後、弾性基材の登場により減少の一途を辿ってきた油性コーキング材が、昨年は3.0%増の2,050トンと微かながらも増加を示した。RC造の非露出部や伸縮目地などにも用いられているが、2,000トンの需要と言えかなりの実績である。また、当工業会会員外の流通品も少なからず存在するところから、根強いユーザーの支持が改めて認識されるところである。このほか、一昨年に上市された新ポリマー「パーマポール」(商品名)ベースの変成ポリサルファイド系シーリング材は現在4社が発売、今後、新たな参入企業も登場する見込みである。当工業会でも分科会活動が開始されており、現在の適材適所

の中での新たな位置づけが注目されるところである。

2. 建築業界の動向

2-1. 建設投資の動き

緊急経済対策（昭和62年5月29日閣議決定）に伴う補正予算を含む昭和62年度の建設投資は、政府投資が大幅に増加、民間投資も増加を示し、名目では前年度比10.7%増の58兆6,000億円、実質（昭和55年度価格、以下同じ）では、前年度比10.4%増の58兆2,200億円となる見通しである。

わが国の建設投資の構造は、政府投資と民間投資に分けると、概ね政府4割、民間6割であり、建築投資と土木投資に分けると建築6割、土木4割である。62年度はこのうち、民間住宅が31.5%、政府土木が33.1%、民間非住宅建築が21.0%とウエイトが高くなっている。

建設投資を政府、民間に分けてみると、政府投資は当初予算で公共事業費の確保・拡大が図られ、さらに、緊急経済対策が講じられたことなどから前年度比14.1%増の23兆1,800億円（実質で14.2%増の23兆4,900億円）と2桁台の大幅なプラスとなっている。特に建築投資は、政府住宅投資（公営住宅、公団賃貸住宅等）、政府非住宅投資（公共文教施設、社会福祉施設等）がともに前年度比プラスとなっている。一方、民間投資は住宅投資の堅調な推移、内需拡大策がとられたことなどから、民間建築（民間住宅、民間非住宅）を中心に前年度比8.6%増の35兆4,200億円（実質で8.0%の34兆7,300億円）と順調に増加する見通しである。

建築・土木別では、土木は政府公共事業の大幅な増加により、建築は政府住宅、民間住宅の伸びによりそれぞれ増加の見込みである。また、昭和62年度の住宅着工数に関しては、民間貸家建築が引続き増加するものと見込まれており、民間持家建築でも住宅取得促進税制の改善、住宅金融公庫融資等の改善、住宅建設貸付金利の低下等の措置により、順調な増

表-2 昭和62年度建設投資見通し（単位：億円、%）

項目	投資額			増加率	
	60年度 (実績見込み)	61年度 (見込み)	62年度 (補正後見通し)	61/60	62/61
総額	497,300	529,200	586,000	6.4	10.7
(同実質)	(488,700)	(527,300)	(582,200)	(7.9)	(10.4)
建築	294,400	318,200	346,100	8.1	8.8
(同実質)	(287,100)	(312,700)	(338,200)	(8.9)	(8.1)
住宅	156,000	172,000	193,600	10.2	12.6
非住宅	138,400	146,200	152,400	5.7	4.3
土木	202,900	211,000	239,900	4.0	13.7
(同実質)	(201,700)	(214,500)	(244,000)	(6.4)	(13.7)
公共事業	133,000	143,200	172,800	7.7	20.7
公共事業以外	69,900	67,800	67,000	△3.0	△1.1
再掲	194,600	203,200	231,800	4.4	14.1
(同実質)	(192,900)	(205,700)	(234,900)	(6.6)	(14.2)
民間	302,700	326,000	354,200	7.7	8.6
(同実質)	(295,900)	(321,600)	(347,300)	(8.7)	(8.0)

(注) 1. 下段()内は実質値（55年度価格）である。

2. 四捨五入により100億円単位の値としたため、各項目の合計は必ずしも一致しない。

3. 昭和62年度に国鉄が民営化され、政府土木から民間土木に移行した。

加を示すものと見込まれている。

2-2. 建築着工の動向

わが国の建築産業の動静は、建築用シーリング材の需要動向に大きな影響を与えるが、その数字的な表われが建築着工面積である。昭和61年の建築着工動向は、総床面積が2億768万㎡（対前年比4.1%増）で59年以降、緩やかながら増加傾向を示している。また、62年では2億3,722万㎡（同14.2%増）と著しい伸びを示した。これは、内需主導型経済構造への転換により、政府・民間ともに建設投資が大幅に拡大されたことがあげられるが、このうち公共事業費の大幅な増加や、民間建築でも住宅投資等が堅調に推移したことなどが好影響をもたらした要因と言える。

シーリング材と関連の深い不燃建築物の着工も同様の傾向で、61年が1億3,400万㎡（前年比3.8%増）、62年が1億5,214万㎡（同13.5%増）とやはり62年は著しく伸長している。

新設の住宅建設戸数においても、61年が136万戸（前年比10.4%増）で2桁台の伸びを示し、さらに62年では167万戸（同22.7%増）と、ひとりの150万戸台に比べても著しい伸びを見せた。この新設住宅の好調さの要因としては、住宅取得促進税制の制定および住宅金融公庫融資の推進などにより、住宅

63年に展望する

建設の潜在需要が掘り起こされたためと考えられる。特にこの中でも、家賃の相対価格、実質金利水準、貸家の資産としての有利性などの要因から、貸家の着工戸数の伸びが高まっており、62年の全新設住宅戸数の中に占める割合も51.2%と高く、今後も貸家の着工戸数は増加するものと思われる。

また、一戸当りの平均床面積は、61年度が全体で80.9㎡となり、56年度以来6年連続して低下した。これは持家や分譲住宅に比べ1戸当り平均床面積が小さい貸家の増加率が高く、新設住宅着工戸数に占める貸家のシェアが大きいことによるものである。

政府の進めている第4期住宅建設5箇年計画（56年度～60年度）の61年末の達成状況では、この時期の住宅建設が低調であったため、総住宅建設戸数については79.3%に止まっているが、公的資金による住宅については、住宅金融公庫融資住宅の建設が好調だったため92.4%となった。また、61年度から65年度までの第5期住宅建設5箇年計画では、計画期間中における総住宅建設戸数を670万戸と見込んでいる。このうち公的資金による住宅として総計330万戸の建設を予定しているが、61年度については住宅建設が好調であったため、総戸数見通しの670万戸に対する達成率は21.5%程度と順調に推移しているところである。この第5期住宅建設5箇年計画では、75年（西暦2000年）を目途に半数の世帯が平均居住水準以上の住宅を確保できるようにするという長期

的な視点での新たな誘導居住水準を設定した政策展開が期待されている。

一方、住宅・都市整備公団では60年度までに約66万戸が供給され、61年度は9,000戸の建設計画で進められた。また62年度についても9,500戸の賃貸住宅の建設が計画されているが、前年に引続き、既存賃貸住宅の建替えも、実施されている。さらに、高齢化社会、情報化社会の進展に対応した種々の機能を備えた公団住宅を建設する都市住宅21モデルプロジェクトなども推進している。

わが国経済は、60年9月以降の急速な円高により、内需主導型の経済構造への転換がなされ、このため、公共事業の前倒し発注、規制緩和による市街地再開発、住宅建設の促進などが総合経済対策に盛り込まれており、建築着工面での充足に反映されている。しかし、こうした中で、国民の住生活に対するニーズが高度化・多様化し、居住水準の改善が図られている。また、一方では、住宅ストックの充実などに向け、建替え需要が一段と高まってきており、わが国の潜在住宅需要は極めて根強いものがあると考えられる。

今後も、内需拡大の要請に応えるものとして、住宅投資の促進を図ることは極めて重要な課題であると同時に、建替え需要を含めた潜在住宅需要の掘り起こしにより、建築着工面積も順調に推移していくものと思われる。

表－3 建設着工統計 ※次頁に続く（単位：千㎡）

月 間 年 間	総 数 床 面 積	用 途 別 床 面 積							
		居住専用	居住産業併	農林水産用	鉱工業用	商業サービス業用	公益事業用	公務文教用	そ の 他
54 (対前年比)	245,300 (105.7)	123,945 (99.3)	26,673 (106.9)	8,709 (100.8)	21,879 (133.9)	33,533 (119.0)	5,606 (115.6)	24,781 (103.2)	173 (70.6)
55 (対前年比)	221,722 (90.4)	109,807 (88.6)	22,468 (84.2)	7,665 (88.0)	22,688 (103.7)	29,735 (88.7)	5,337 (95.2)	23,919 (96.5)	104 (60.1)
56 (対前年比)	202,752 (91.4)	100,122 (91.4)	20,028 (89.1)	6,678 (87.1)	21,346 (94.1)	28,170 (94.7)	5,551 (104.0)	20,716 (86.6)	139 (133.7)
57 (対前年比)	195,642 (96.5)	100,672 (100.5)	18,932 (94.5)	5,981 (89.6)	19,089 (89.4)	26,756 (95.0)	4,508 (81.2)	19,530 (94.3)	174 (125.2)
58 (対前年比)	189,281 (96.7)	92,470 (99.9)	18,706 (98.8)	6,301 (105.3)	19,130 (100.2)	30,292 (113.2)	4,262 (94.6)	17,892 (91.6)	228 (131.0)
59 (対前年比)	196,138 (103.6)	92,788 (100.1)	19,082 (102.0)	6,109 (97.0)	25,568 (133.7)	31,137 (102.8)	4,478 (105.1)	16,721 (93.5)	246 (107.9)
60 (対前年比)	199,561 (101.7)	95,705 (103.1)	19,138 (100.3)	5,838 (95.6)	25,035 (97.9)	31,617 (101.5)	5,789 (129.3)	16,216 (97.0)	223 (90.7)
61 (対前年比)	207,682 (104.1)	102,858 (107.5)	19,864 (103.8)	5,809 (99.5)	21,248 (84.9)	35,600 (112.6)	5,396 (93.2)	16,736 (103.2)	172 (77.1)
62 (対前年比)	237,226 (114.2)	123,703 (120.3)	23,213 (116.9)	5,763 (99.2)	21,391 (100.7)	40,795 (114.6)	5,814 (107.7)	16,344 (97.7)	203 (118.4)

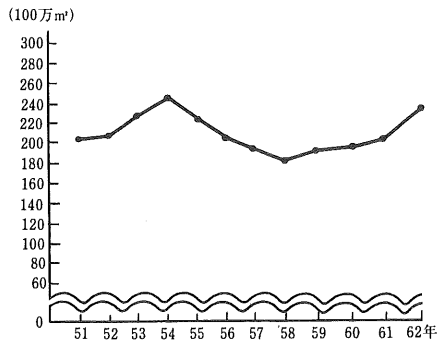


図-3 建築着工面積（総床面積）

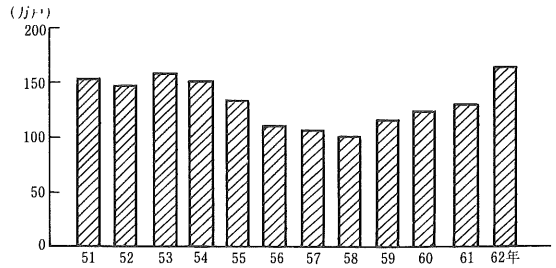


図-5 新設住宅建設戸数

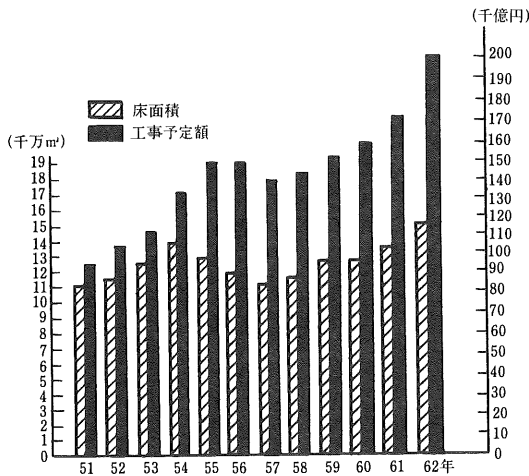


図-4 不燃建築着工統計

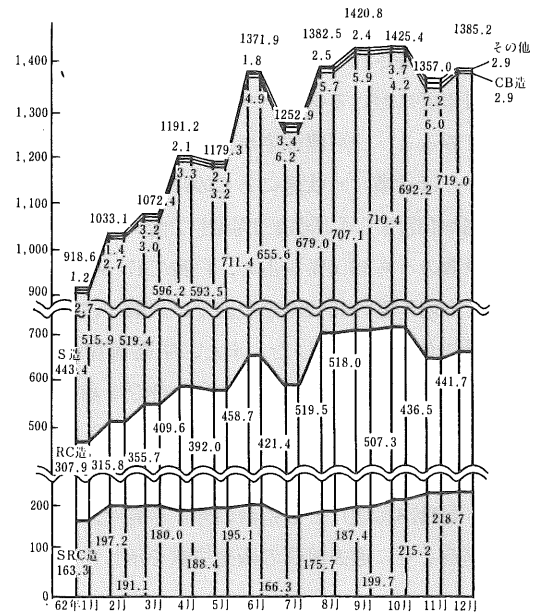


図-6 新設住宅着工床面積の増減内訳
(資料：住宅着工統計)

公 共	建 築 主 別 床 面 積		構 造 別 床 面 積		不 燃 建 築 物				
	民 間	公 共	木 造	不燃建築物 小 計	鉄 骨 造				
					鉄骨・鉄筋 コンクリート造	鉄 筋 コンクリート造	鉄 骨 造	コンクリート ブロック造	その他
34,367 (105.0)	80,326 (114.8)	131,148 (101.4)	104,874 (99.9)	140,424 (110.5)	18,333 (112.2)	54,081 (103.6)	66,625 (117.1)	1,100 (78.7)	285 (135.7)
32,842 (95.6)	76,761 (95.6)	112,123 (85.5)	90,304 (86.1)	131,415 (93.6)	18,381 (100.3)	49,168 (90.9)	62,644 (94.0)	989 (89.9)	233 (81.8)
31,268 (95.2)	67,911 (88.5)	103,574 (92.4)	80,304 (88.9)	122,445 (93.2)	17,508 (95.3)	45,376 (92.3)	58,423 (93.3)	876 (88.6)	269 (115.5)
26,792 (85.7)	62,787 (92.5)	106,063 (102.4)	81,384 (101.3)	114,258 (93.3)	15,226 (87.0)	41,213 (90.8)	56,672 (97.0)	806 (92.0)	341 (126.8)
24,179 (90.2)	67,569 (107.6)	97,533 (91.9)	71,526 (87.9)	117,755 (103.1)	16,960 (111.4)	40,375 (98.0)	59,475 (104.9)	663 (82.3)	282 (82.7)
22,073 (91.3)	75,135 (111.2)	98,930 (101.4)	70,970 (99.2)	125,168 (106.3)	16,307 (96.1)	41,817 (103.6)	66,071 (111.1)	618 (93.2)	355 (125.9)
20,464 (92.7)	78,192 (104.1)	100,907 (102.0)	70,503 (99.3)	129,060 (103.1)	17,747 (108.8)	42,576 (101.8)	67,918 (102.8)	527 (85.3)	293 (82.5)
20,527 (100.3)	79,606 (101.8)	107,549 (106.6)	73,679 (104.5)	134,003 (103.8)	20,316 (114.5)	44,339 (104.2)	68,520 (100.9)	515 (97.5)	314 (107.2)
21,040 (102.5)	89,768 (112.8)	126,419 (117.5)	85,081 (115.5)	152,146 (113.5)	23,168 (114.0)	52,057 (117.4)	76,087 (111.0)	498 (96.7)	336 (107.1)

2-3. プレハブ住宅建築

プレハブ住宅建設の需要動向は表-4 を見てもわかるように、昭和61年度の販売戸数が221,192戸で、対前年比10.8%増と久し振りに2桁台の伸びを示した。また、表には示されていないが62年度上半期(62年4月～9月)では、全体で115,125戸、対前年同期比15.5%増と著しい増加を示している。これによって、62年度販売総数は、前年度を上回ること確実と思われる、下期の伸びによっては25万戸台に達することも期待されている。

61年度におけるプレハブ住宅販売戸数を階層別に見てみると、一戸建住宅が86,059戸(対前年比1.5%増)とほぼ横バイ状態にあるのに対し、低層連続建住宅が107,575戸(同19.2%増)で全プレハブ住宅販売戸数のうち48.6%を占め、戸数で17,305戸、占有率でも前年度の45.2%を上回り、戸数・占有率ともに過去最高値を示した。また、中高層建住宅でも27,558戸(同11.7%増)と大幅な伸びを示している。

次に、構造別に見ると、木質系住宅が38,506戸(対前年度比10.2%増)で、また、鉄鋼系住宅も150,877戸(同11.8%増)と2桁台の伸びを見せ、木質系、鉄鋼系ともに過去最高の販売戸数を示した。コンク

リート系住宅は、31,809戸(同6.8%増)を示したが、59年度が過去10年間で最低値を示したことから、多少回復を見せていると言える。

全体的には、一戸建住宅がほぼ前年度と同様、中高層住宅がやや持ち直し、低層連続建住宅が相変らず20%増という大幅な伸びを示し、今後もこの傾向が続くものと考えられる。また、総販売戸数についても48年度の206,000戸を大きく上回り、全着工新設住宅に対するプレハブ住宅販売戸数の占める比率も15.8%を示し、かなり健闘していると言える。さらに、62年度においては、総販売戸数で前年度比10%以上の伸びが予想され、また、このうちシーリング

表-4 プレハブ住宅販売戸数(単位:戸)

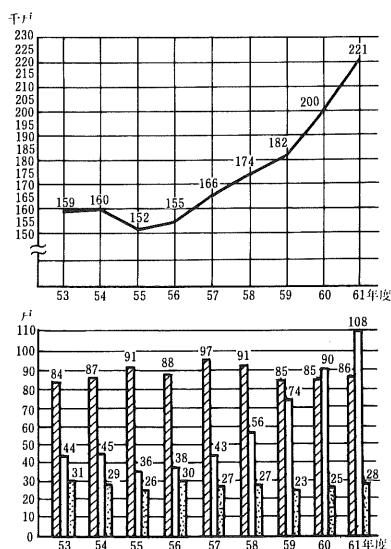
(社)プレハブ建築協会調べ

	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度
(A) プレハブ住宅販売戸数(完工)	166,348	173,939	182,497	199,702	221,192
伸び率(%)	4.6	4.9	9.4	10.8	
(B) 全着工新設住宅数	1,157,100	1,134,867	1,207,147	1,250,994	1,399,833
(A) / (B)	14.4%	15.3%	15.1%	16.0%	15.8%
(C) プレハブ住宅生産能力数	284,293 (187)	271,850 (180)	300,319 (184)	296,207 (183)	321,364 (169)
(A) / (C)	58.5%	64.0%	60.8%	67.4%	68.8%
木質系住宅	29,570	32,003	33,007	34,957	38,506
伸び率(%)	8.2	3.1	5.9	10.2	
鉄鋼系住宅	100,409	110,284	120,146	134,960	150,877
伸び率(%)	9.8	8.9	12.7	11.8	
コンクリート系住宅(低層)	10,227	7,649	7,842	6,656	6,812
伸び率(%)	△25.2	2.5	△15.1	2.3	
コンクリート系住宅(中高層)	26,142	24,003	21,502	23,129	24,997
伸び率(%)	△8.2	△10.4	7.3	8.1	

表-5 階層別・構造別販売戸数(完工)

(社)プレハブ建築協会調べ

		57年度		58年度		59年度		60年度		61年度	
		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比		対前年度比	
一戸建住宅	木質系	26,980	120.8	27,736	102.8	24,266	87.5	24,155	99.5	25,328	104.9
	鉄鋼系	63,615	107.0	58,404	91.8	55,979	95.8	56,437	100.8	57,051	101.1
	コンクリート系	6,004	103.5	5,163	86.0	4,554	88.2	4,174	91.7	3,680	88.2
	小計	96,599	110.3	91,303	94.5	84,799	92.9	84,766	100.0	86,059	101.5
共同建住宅	低層木質系	2,590	61.8	4,267	164.7	8,741	204.9	10,802	123.6	13,178	122.0
	低層鉄鋼系	36,299	121.2	48,935	134.8	62,410	127.5	76,986	123.4	91,265	118.5
	低層コンクリート系	4,223	101.4	2,486	58.9	3,288	132.3	2,482	75.5	3,132	126.2
	低層小計	43,112	112.6	55,688	129.2	74,439	133.7	90,270	121.3	107,575	119.2
中高層住宅	中高層鉄鋼系	495	109.5	2,945	594.9	1,757	59.7	1,537	87.5	2,561	166.6
	中高層P C工法	20,081	87.2	18,613	92.7	17,526	94.2	18,149	103.6	20,136	110.9
	中高層P S工法	116	30.0	160	137.9	126	78.8	56	44.4	93	166.1
	中高層H P C工法	5,945	108.0	4,840	81.4	3,463	71.5	3,880	112.0	3,966	102.2
	中高層R P C工法	—	—	390	—	387	99.2	1,044	269.8	802	76.8
	中高層小計	26,637	90.1	26,948	101.2	23,259	86.3	24,666	106.0	27,558	111.7
共同建計		69,749	102.8	82,636	118.5	97,698	118.2	114,936	117.6	135,133	117.6
合計		166,348	107.0	173,939	104.6	182,497	104.9	199,702	109.4	221,192	110.8



図一 プレハブ住宅階層別販売戸数

材需要の大きい中高層住宅およびコンクリート系住宅においても同程度伸びるものと考えられる。

プレハブ住宅に使われるシーリング材は、コンクリート系では主にポリウレタン系2成分形が、また、木質系、鉄鋼系一戸建ではポリウレタン系1成分形が多い。ポリウレタン系シーリング材は経済性と性能のバランスにより評価されており、今後も多用されると思われる。これ以外にも変成シリコーン系、ポリサルファイド系など、適材適所で使用されているが、中高層の大規模建築では2成分形、一戸建では1成分形といった使いわけが定着してきたようだ。

ところで、63年度の販売戸数は62年度の相当数の駆け込み需要により、若干減少することが予想される。しかし、住宅・都市整備公団、都営住宅サービス公社をはじめ各地方自治体などではコンクリート系プレハブ住宅の外壁改修に伴う打替え需要がふえており、また、これらの改修は具体的に検討、あるいは既に実施され、増加傾向にあるところからシーリング材需要の低下は考えにくい。従って今後はシーリング材需要も改修分野での伸びが期待できそうである。

3. 建築関連業界の動向

3-1. メタルカーテンウォール

メタルカーテンウォール（以下 MCW）の需要動向も62年については対61年実績で、かなりの伸びがあったと推定されている。既にまとめられている62年前半までの前年同期比では金額ベースで40%増を示し、後半も好調なうちに経過した。また、この傾向は、今年にはいつても引続いており、今暫くは活況を呈すると見る向が多い。受注量については57年（受注額253億円）を最後に公式に発表されていないが、58年をピーク（400億円前後）にそれ以降は停滞あるいはやや減少気味であったと見られ、昨年の急増により受注高も500億円近くになったと考えられる。

MCW は一般的にコンクリートカーテンウォール（以下 PCCW）に比べると建設コストが高く、中層以下のビルでは PCCW の需要が圧倒的である。昭和50年代の建設業低迷期に、カーテンウォールのシェアが入れ替わったのも、コスト優先的な背景があったと見られる。また、メタル表面の汚れ防止など経年的な維持管理にかかる費用も PCCW に比べると高い。しかし、軽量な点は高層建築の種々の要求機能にマッチし、工期短縮、耐久性に優れるといった有利な点もある。そして、大きな特徴は意匠性に富む点であろう。特に、近年、ガラスをふんだんに用いたシャープな壁面が好まれる傾向にあり、これが MCW の需要増に果している役割は大きい。また、こうした傾向から4～5階建の中層建物、主に店舗、遊戯施設、オフィスビルなどの商業ビルでの MCW の採用が目立ち始めており、市街地再開発に伴い今後も伸びる分野であろう。

MCW に用いられるシーリング材はポリサルファイド系主流にまずシリコーン系が加わり、次に変成シリコーン系が加わってきた経緯があり、高層建築については後者2基材が完全に優位を占めるに至っ

63年に展望する

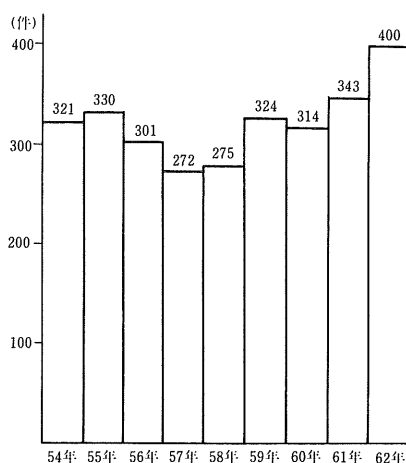
ている。

シリコン系、変成シリコン系の採用はその性能、即ち、耐久性に対するユーザーの期待の結果とも言えるが、保証期間数年というレベルではとても満足が得られないのも事実であろう。実際、ユーザーも必ずしも現在のシーリング材に満足しきっているわけではない。その表われが等圧システムを採用したオープンジョイント構法の開発である。同構法も本格的に採用され既に10年を経過、実績も着実に伸ばしているところである。海外でも、このオープンジョイントの考え方は、ゴムガスケットとの併用も含め主流になりつつある。しかし、イニシャルコストが割高である点、工程数の増加、高温多湿なわが国の気候風土など、総てが有利に働いているわけでもない。逆に、適正な目地設計の普及、シーリング材自体の性能改善と適切な使い方により、かつてMCW普及期に低下した信頼性も大方回復したと言えよう。他構（工）法の進出により必ずしも需要の先行は楽観できないが、要は、信頼に応える技術的対応を図りシーリング材の一層の性能向上に努めることであろう。

一方、中型物件の増加などを背景に、日本カーテンウォール工業会では63年5月より会員ならびに学識経験者を中心に「新ファサードシステム開発委員会」を設置し、メタルにとらわれず、種々の意匠性、機能に対応したビルファサードのシステム化に取り組むことになった。この中でシーリング材の果す役割も当然対象テーマになると考えられる。水密・接着性、美装性、作業性などに加え新たな要求機能の登場も考えられ注目すべきであろう。

3-2. コンクリートカーテンウォール

コンクリートカーテンウォール（以下 PCCW）の需要は、昭和53年以降それまで主流であったメタルカーテンウォールとシェアを逆転し、現在も好調に推移している。これは、PCCW の特徴である施工単価が安い点、仕上材の先付技術の定着、防水性、耐火・耐震性が良好であることなどにより、大都市で



図一 8 PCCW 受注件数推移

のホテルや開発事業を中心とした新・増設ブームに支えられたのが原因と見られている。

特に、62年度は、建築着工戸数が大幅に増加したこと、また、これに伴って、オフィスビルを中心としたビル建築物の高層化が徐々に進んできたことなどにより、PCCW の需要は前年と比べ10%以上の伸びを示した。

また、絶対量が少ないため統計としては明らかにされていないが、軽量で肉薄の GRC (ガラス繊維補強コンクリート)、PCF (型枠兼用材)、CFRC (カーボン繊維補強コンクリート) などが、中高層、低層物件で着実にその需要を伸ばしている。

PCCW に使用されるシーリング材としては、従来のポリサルファイド系から、耐久性、美観を重視し高層物件を中心として、現在では変成シリコン系が主流となっている。また、中低層物件では経済性の点からポリサルファイド系シーリング材が主に使用されていると思われる。

今年から来年にかけては都庁新宿移転に伴う新庁舎建設を中心に、相当量の PCCW の採用が予定され、また、ユーザーの外装デザインに対する多様化、現場労務者不足による工場製品化の増加などにより、PCCW の需要は今後も増加傾向を示すと見込まれており、必然的にシーリング材も増加すると思われる。

PCCW 業界では、今後も需要増が期待されている従来のカーテンウォールに加え、各種セラミックスとの複合コンクリートなど、耐久性と美装性を兼ね備えた新素材による営業展開を図っており、この方面への需要増も期待されている。

3-3. サッシ

ここ数年増加傾向にある新設住宅着工戸数だが、62年はさらに顕著な伸び（22.7%増）を示した。アルミサッシの出荷量も、60年度が381,211トン（前年比2.0%減）、61年度が404,000トン（同6.0%増）、62年度は442,000トン（見込み・同9.4%増）と着工の好調を反映する結果となった。しかし、着工戸数の伸びに比べ出荷量が少ないのは、住宅建設が貸家を中心とする集合住宅に多くを依存しており、窓数の多い戸建住宅の伸びはそれほどでもないことが原因となっている。また、アルミサッシの需要は、60%弱が木造用で、62年度については、むしろ木造用の需要が2桁伸びを示し好調である。

日本サッシ協会で、このほどまとめられた63年度需要予測では、依然高い水準を維持するものの62年度をわずかに下回り0.5%減の440,000トン程度と見ている。この要因として、予想以上に伸びた62年度の反動は予測されるが①新設着工戸数は160万戸程度②貸家需要の落込みを持家需要がカバーし床面積

では微減③内需振興策によりビル向け需要は増加——と分析している。

アルミサッシでシーリング材を使用する部位は、ガラスまわりおよびサッシと躯体との取合い、サッシの裏込め部分である。このうち、ガラスまわりについては経済性、施工性の点からグレイジングビードが大部分を占め、一部でシリコン系1成分形が用いられている。一方、躯体との取合い部では、ポリサルファイド系が主流になっているが、ポリウレタン系や変成シリコン系も使用頻度が高くなっている。また、サッシ取替えを含む改修工事の場合では上記材料のほか、特に小規模の場合、各基材の1成形の使用もふえている。裏込めに用いられる材料としては、耐候性があまり要求されぬためブチル系などでまかなわれることが多い。

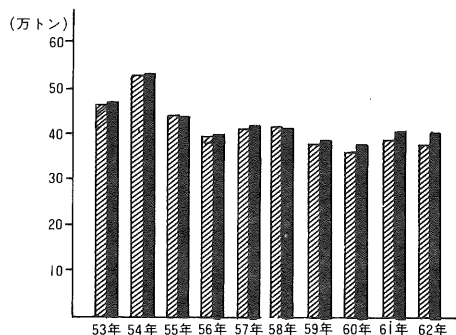
近年、ビル外壁の改・補修工事が増加しているが、スチールサッシの老朽化に伴うアルミサッシへの取替え工事もふえている。この取替えを躯体を研ることなく腐食したスチールサッシをアルミサッシで補強、カバーするサッシカバー改窓工法が特許工法として普及し実績をあげている。この取替え需要も当分は続くと思われるが、この裏込めにもシーリング材が用いられることが多い。

また、寒冷地を中心に結露対策、断熱上のメリットから塩ビ製サッシも近年多用されている。この取合いに用いられるシーリング材としてはポリウレタン系、変成シリコン系の各1成分、2成分形が定着しつつあるようだ。

3-4. 板ガラス

板ガラスの需要は、建築用が約6割、自動車用が約3割、その他が約1割と推定されている。

62年の需要動向は、新設住宅着工戸数が167万戸（対前年比22.7%増）と好調に推移したが、その大半が窓面積の少ない集合住宅であったこと、自動車用で、四輪車の生産台数が1,224万台（同99.9%）とわずかながらマイナス成長であったことなどから前半は低調だったが、後半は堅調に推移し、板ガラス



図一 9 アルミサッシ合計年度別生産・出荷実績

（建材統計年報、月報より 62年度は4月～12月実績）

表－6 板ガラス生産・出荷量 (板ガラス協会調べ)
(単位：1000換算箱)

種類 暦年	普通板・変り板ガラス				フロート・みがき板ガラス			
	生産		出荷		生産		出荷	
	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)	数量	前年比(%)
56年	10,964	61.2	13,315	73.3	23,508	104.3	20,947	97.3
57年	9,476	86.4	11,865	89.1	24,216	103.0	23,381	111.6
58年	7,497	79.1	7,604	64.1	26,427	109.1	25,965	111.1
59年	7,160	95.5	7,115	93.6	26,814	101.5	26,340	101.4
60年	6,982	97.5	7,008	98.5	28,411	106.0	27,568	104.7
61年	6,473	92.7	6,711	95.8	26,941	94.8	27,616	100.2
62年	5,931	91.6	6,784	101.1	27,630	102.6	28,282	102.4

換算箱：種々の厚みの板ガラスを2mm厚みに換算して1箱＝9.29㎡で計算

表－7 安全ガラス・複層ガラス出荷量 (単位：1000㎡)

種類 暦年	安 全 ガ ラ ス (建築用)				複 層 ガ ラ ス	
	合 せ ガ ラ ス		強 化 ガ ラ ス			
	数 量	前年比(%)	数 量	前年比(%)	数 量	前年比(%)
57 年	72	105.9	753	161.6	1,077	123.1
58 年	66	91.7	866	115.0	1,096	101.8
59 年	101	153.0	861	99.4	1,207	110.1
60 年	116	114.9	818	95.0	1,314	108.8
61 年	172	147.5	878	107.3	1,457	110.9
62 年	254	147.6	1,153	131.3	1,937	133.0

(一次製品)は、生産、出荷とも前年を上回った。

また、加工二次製品では安全ガラスである合せガラス、強化ガラスは、自動車需要が伸び悩んだ反面、絶対量は少ないものの建築用は好調で、合せガラスが対前年比47.6%増、強化ガラスが同31.3%増（いずれも出荷ベース）と大幅に伸長した。これは、消費者の安全ガラスに対する認識が高まってきたことと、一昨年の建設省通達「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」を中心とした板ガラス業界あげでの普及キャンペーンの成果が現れたためと考えられ、今後とも関係官庁の行政指導と消費者の安全意識の高まりを反映した伸びが期待されている。

一方、統計が開始（昭和55年）された当初から順調な伸びを示している複層ガラスは、その特徴である断熱、省エネルギー性能に加え、快適な居住環境を求める消費者から、結露ならびに冷放射軽減効果が高く評価され、62年では対前年比33.0%増と好調に推移し、今後の増加傾向も予測されている。

このように板ガラスの需要動向は、製品種類によ

ってかなりの較差はあるが、トータルではほぼ横バイと考えられ、業界側では消費者ニーズにあった製品の需要拡大に力を入れる考えである。

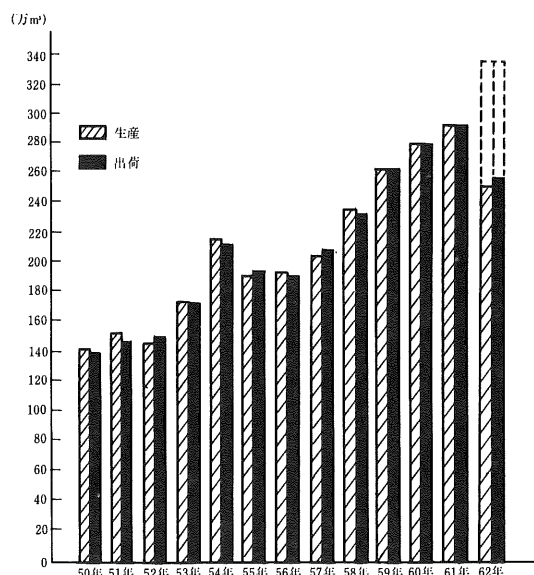
窓ガラスには近年、安全対策として弾性シーリング材およびグレージングビードの使用が定着しており、かつてのガラスパテの打替えも行なわれている。今後は、社会的ニーズにマッチした板ガラス製品の需要増加が期待されていることから、より安全性の高い、気密性を優位においたシーリング材の需要が徐々に増加してくるものと思われる。

また、近年わが国でも注目され始めてきたSSGについては、ガラスの生み出す反射映像と壁面の平滑性が評価され、最近徐々にその需要が増加しているが、安全性や保証体制の確立など取り組むべき課題や問題点が多いことも事実である。シーリング材メーカー、板ガラスメーカー、さらに設計者、施工者をも含めた今後の技術面での展開が期待されると同時に、業者間の連携が重要なポイントとなろう。

3-5. ALCパネル

ALCパネルは、高温高圧蒸気養生された工場生産品で、約60年前にスウェーデンで初めて開発されて以来、着実に需要を拡大してきた。わが国に技術が導入されたのは1964年で、現在、JIS製品として4種類の製品（イトン、シポレックス、デュロックス、ヘーベル）が市販されている。

ALCパネルのおもな需要分野は中層建物、店舗併用住宅、戸建住宅などの低層建築である。最近の需要動向を見てみると昭和60年度の出荷量が286万2,798㎡（対前年度比6.7%増）と好調に推移、61年度でも295万2,152㎡（同3.1%）と安定した増加傾向を示している。また、62年度上半期（4月～9月）では161万4,932㎡（対前年同期比11.2%増）と2桁台の伸びを示し、さらに下半期に入ってから月間ベースで初の30万㎡台を突破するなど、著しい伸びを見せている。こうした需要増の背景には、当然、一昨年来の政府の内需拡大策により、住宅建設が大幅に促進されたことがあげられるが、具体的には、



図一10 ALCパネル生産・出荷統計(通商産業省調べ)
(62年度は4月12月の実績、点線は推定)

これまでの主需要分野であった中低層建築、店舗併用住宅などのビル建設向けが好調なのに加え、内装間仕切など用途の多様化で、住宅向けでも集合住宅を中心にALCの普及が進んだことのほか、①長年の実績から耐火建築材料として住宅金融公庫の融資対象になっていること、②建替え需要の増加、③地価高騰による節税対策を背景とした建設需要——などもその要因としてあげられる。また、断熱性・耐震性・化粧性を備えた高付加価値製品としての特性が評価されていることも、要因となっている。

ALCパネルの断熱性については、鉄筋コンクリート造や木造に比べ、暖房に必要なエネルギーが約半分で済むことが知られており遮音性にも優れているため防音材としても効果がある。また、最近では、居住性の高度化に対応して、従来のイメージを越えてデザインを加味した製品も開発、上市され、好評を得ており、ALC業界としても、断熱性、化粧性を兼ね備えた高付加価値製品としての拡販を狙い、需要拡大を図っていく考えである。

ALCパネルは外壁、屋根、床、間仕切などに使用されているが、この中でも外壁用途として約70%が

使用されている。当然、ALC目地にはシーリング材が使われているが、このうち90%近くに用いられているのがアクリル系シーリング材である。その他、低モジュラスタイプの変成シリコン系、ポリウレタン系シーリング材、新しいラテックス系変性タイプも実績をあげつつあるが、やはり経済性の点からアクリル系が圧倒的シェアを保っているのが現状のようだ。

建設業が全般的に活況を取り戻しつつある中で、ALCパネルもこれに比例して需要が増加してきており、また、将来的にも省エネ、不燃化、化粧性といった時代のニーズによって、現状維持以上のレベルは期待できそうである。一方、こうした状況に伴って、シーリング材の出荷も増加することが予想されるが、ユーザーの要求性能の高度化などにより、今後は適材適所にそった基材別の適確な対応がなされていくと思われる。

4. メンテナンス用途のシーリング材

建物外壁の改・補修需要の増加は、建築工事全体の中でも近年特に目立つ分野であり、それに対応した調査・診断から仕上げに至るまでの種々の材料・工法の登場は百花繚乱の印象さえもたれるほどである。シーリング材の打替え、あるいは再施工もこれら改・補修工事に含まれることが多い。シーリング材出荷量全体から見れば、まだそれほどの量ではないにせよ、ここに来て用途分野の一角を形成するに至っていることは確かである。

このメンテナンス用途として分類されるシーリング工事のうち材料が多量に使用されるのが、シーリング材の寿命到達に伴う全面的再施工である。近代建築の軽量・柔構造化とともに拡大普及したシーリング材であるが、築後10年以上を経過した建物も大量に存在し、シーリング材適用目地も改・補修期にはいつている。従って、今後の需要も増加こそあれ減少は考えにくい、同じことの繰返しではユーザーに見離されかねないところでもある。メンテナン

ス用途としては、このほかにも建物用途の変更に伴う防水・気密性、美観向上を目的とした工事、他部材の改修、例えばサッシの取替え、塗替え、漏水などに伴うシーリング工事も頻繁に行なわれている。また、最近では、改修工法も種々のものが登場し、意匠的にも外観を一新させるような各種のパネル工法が目立っている。言わば二重壁を構成するようなシステムになり、高価ではあるが防水性に優れることは言うまでもない。このパネル目地にもシーリング材が用いられるが、現状ではノンシール方式が多く必ずしもシーリング材の需要増に繋るとは考えられない面もある。

改修工事が必要とされる建物の増加に伴い、実施に当っては、より合理的かつ経済的に行なうことも重要である。現在、建設省をはじめ、住・都公、各自治体、NTT、民間デベロッパーでも計画的な修繕・改修方法の確立に取組み、既に実施に移しているところもある。また、建設省が中心となって進めた総プロ活動ではシーリング防水についても劣化診断、補修・交換・総合耐久設計の各指針を示し、建物の新築から寿命到達に至るまでのシーリングの管理について標準的なめやすとなっている。

一方、外壁の改・補修は落下事故防止のためビルの安全管理面からも求められている。昨年の4月1日から施行されている建設省告示第900号「建築物の落下物対策のための改修に係る特別償却制度」では首都圏、近畿圏などの3階建以上の建物で落下防止改修工事を実施した場合、その費用について所得税・法人税の特別償却制度を適用するとしている(64年3月31日まで)。スチールサッシの変形・劣化、パテ止めガラス、劣化した窓枠などシーリングに関わる改修工事も当然対象となり、こうした制度により改修工事の発注も増加すると思われる。

5. ルートセールス分野でのシーリング材

シーリング工事専門業者以外のいわゆるルートセールス分野でもシーリング材の需要が伸びている。

使用者が専門家でないこともあり1成分形の使用が圧倒的に多く、種別ではシリコン系、変成シリコン系、ポリウレタン系の伸びが目立っている。

また左官業、吹付業、板金業、塗装業、内装工事業など防水工事周辺業者も単純な工事に関してはシーリング工事まで請負うケースが多い。1成分形の性能向上によりこのような専門家以外の使用量は今後も増加してゆくものと思われる。

※建築金物、機械工具関係

建築金物分野でのシーリング材はメーカー、代理店もしくは1次問屋から建築金物問屋へ、ここから建築金物店、建材店などに流れるが正確な数字の把握は非常に困難である。

全体としての取扱い量はシリコン系を中心として年々増加しており、中堅クラスの建築金物問屋で月当たり5,000本程度の需要がある。

機械工具関係でシーリング材を扱っているのは主に総合問屋であり、売上げのほとんどがシリコン系1成分形のカートリッジタイプである。末端工具店でのシーリング材の販売は、数量は少ないが取扱う店は増加している。

※工務店等関連工事ルート

工務店の場合、内装関係のシーリングについては自前で施工する事が多くなっており、新築工事1件当たり4本前後を使用している。使用部位は浴槽や台所などが主で、シリコン系および変成シリコン系が使われることが多い。

板金、塗装業についてはその工事内容や規模によってシーリングに対する取組み方に違いが出てくるが、単純な工事では営業面での要望もあり、手掛けるケースがふえている。従来は油性系やブチルゴム系シーリング材を使用する業者が多かったが、性能面と価格面が手頃になっていることから、現在ではほとんどの業者がシリコン系、次いで変成シリコン系を使用している。また今回取材したある板金業者では、変成シリコン系を使用しており(月100本程度)、ほりがつきにくいことと施工後の塗料ののりが良いことから、その価格や使い勝手などを含

めて現状でほぼ満足しているとの回答があった。

配管設備関係の工事では、ダクトまわりや屋外配管まわりなどでシーリング材が使われる。関連して漏水箇所やひび割れの補修にも使用しているがいずれにしても補助的作業といえる。ここでもカートリッジタイプのシリコーン系ならびに変成シリコーン系1成分形が主流となっているが、従来から使い慣れたブチルゴム系にも根強い支持がある。

このほかガラス工事店、テント取付業、自動ドア取付業などの専門業者、あるいは一般住宅の簡易補修を手掛ける営繕業者などのユーザーにシーリング材も定着し、使用量も増加している。

※ DIY ルート

昭和47年にわが国で初めてのホームセンターが誕生して以来、現在では総売上1兆円を超える巨大市場となるに至った。

ホームセンターではシーリング材は塗料・接着剤コーナーで取扱われており、一般消費者もシーリング材と接着剤を厳密に区別する意識は薄いようである。また売上げについても塗料・接着剤に分類されており総売上に占めるこの分野の売上げは4～5%程度である。

シーリング材の総売上げのうちDIY関連の売上げは10%未満と思われるが、DIY市場自体の成長性と価格にバラツキのないことから各メーカーとも力を入れているようだ。

〈油性コーキング材〉 10数年前まで一般家庭用充てん剤の主流だった油性系も今ではその座をシリコーン系、アクリル系などに奪われた形となっている。屋根、外壁など外まわりの補修に用いられているが、内部が硬化しないことから家庭用としては敬遠されるようである。

〈シリコーン系〉 DIY関連で販売されるシーリング材の大半をシリコーン系が占めているようである。

浴槽や流し台、タイル目地といった本来の用途以外にも電気接続部分など、あたかもオールマイティーのように使われている。素人でも失敗の少ない使い易さが人気を呼んでいるものと思われる。

〈アクリル系〉 防水性能においてはシリコーン系に一歩ひけをとるが、価格が安くて使い易いことから室内壁向けを中心に売上げを伸ばしている。インテリアの改装などに若年層の購入が目立っている。

〈その他のシーリング材〉 上記3基材以外ではポリウレタン系、変成シリコーン系が徐々に進出しているが、せっかくヴァリエーションが増えたのに使用者が迷うだけというようなことにならないためにも各種シーリング材の用途別の使い分けや適合性などの区別が一般消費者にもよく理解できるような表示が今後一層求められるだろう。

わが国DIY産業の興隆の背景には(株)日本DIY協会を中心としたメーカーや販売店、ユーザーに対する意識向上運動がある。DIYショー、DIY・HIマーケティング講座、DIYアドバイザー制度などが運営され内部的な充実が着々と進んでいる。

現在、わが国は米国、西独と並んで世界3大DIY国の一つに数えられている。国民1人当たりの居住面積の小さな日本では米国並み(ホームセンター42,000店、総売上げ13兆円)の成長は期待できないという声もあるが、慢性的な職人不足による人件費の高騰もあり、まだまだDIY業界におけるシーリング材の需要も伸びるものと思われる。

ただしここで留意すべきことは使用者が素人であるということである。特に近年は主婦層にまで使用者層が広がっていることでもあり、ネーミング、パッケージング、サイズ、マニュアルの整備などに一層の配慮を施し、他基材との相違が簡単に分かるような体制を整えることが肝要であろう。

誕生!!

シーリング管理士51名/シーリング技術管理士69名



初の女性管理士も

当会では先頃行なった第11回シーリング管理士試験および第9回シーリング技術管理士試験の合格者を決定、上位合格者それぞれ5名は5月12日の総会で表彰される。

結果内容は、シーリング管理士については講習受講者66名が受験、うち合格者51名（合格率77.3%）、シーリング技術管理士については82名が受験、うち合格者69名（同84.1%）となっている。

今回の試験は、例年同様静岡県田方郡函南町の生産性研修会館で2月10日から13日までの3日間にわたって実施されたシーリング管理士および技術管理士の養成講習会を経て、第4日目の13日に行なわれた。

講習内容は、松本洋一氏（清水建設）をはじめ、日本シーリング工業会、日本シーリング工事業団体連合会、板ガラス協会、学識経験者などシーリング技術に造詣の深い業界関係者を講師として、建築一般の基礎知識から、図面の見方、目地設計、施工技術、安全管理、材料、保証、積算など幅広い分野にわたっている。これらの知識を実際の現場で有効に活かせる技術者の養成を目的としているため、資格判定基準もかなり厳しいが、今回は建設省総プロでのシーリング防水における耐久性向上技術の成果が

徐々に普及してきたことや、現場監理者および技術管理者資格に対する認識の高まりなどを反映して、昨年と比べ受験者が大幅に増加した。また、受験者の管理士資格取得への意欲が顕著に現われ、合格率についても平均81.1%と非常に高い数値を示したほか、今回はシーリング管理士試験で初の女性管理士が誕生した。

今回の合格発表で、現在の有資格者は、シーリング管理士が309名、シーリング技術管理士が415名となった。

また、講習会初日には林義信氏（日本シーリング工業会）、角野元昭（同）による特別講演も行なわれた。

シーリング管理士・技術管理士合格者上位5名

シーリング管理士	シーリング技術管理士
今井浩成(中国富士化工建設㈱)	藤本亮秀(サンライズメイセイ㈱)
上野 薫(㈱ミツワ建産)	仲宇佐隆一(横浜ゴム㈱)
中田敬一(中田工業㈱)	吉田匡志(ヨコハマゴム工業品中国販売㈱)
土田 武(㈱北日本コーキング)	河端健二(カネボウ・エヌエスシー㈱)
坂東公夫(㈱斎藤防水工業)	大園浩和(日立化成ポリマー㈱)
	阿部祐輔(セメダイン㈱)

シーリング管理士合格者名簿(51名)

中村 守 (株)ナカムラシール	河野 和壮 豊永建材(株)	川畑 裕之 (株)東洋防水
青山 淳二 東都防水総業(株)	戸張 達士 理建工業(株)	柳田 潔 昌栄亀井(株)
昇塚 繁行 加賀防水工業(株)	関 浩士 //	福水 昭公 日本化成工業(株)
紺谷 俣志 (有)石原コーキング興業	金山 信二 //	田宮 貞夫 (株)勝友商会
塚越 勲 (有)ツカコシ商工	岩崎 弘敏 (有)天草シール	梅津 祐一 郡山シーリング(株)
伊藤 正智 (有)浜松シーリング工業	岩崎 泰博 //	富永 幸雄 (株)日本防水
大村 盛雄 大村商事(有)	後藤 晋也 ユニオン保全(株)	上野 薫 (有)ミツワ建産
市川 文則 (有)市川防水	溝渕 勇 新和化工(株)	中西 浩見 徳島大三工業(株)
石田 敦則 三信建材工業(株)	重実 俊憲 //	坂東 公夫 (有)斎藤防水工業
高村 克己 石渡産業(株)	中田 敬一 中田工業(株)	富井 英利 (有)フクシマ工業
今井 造成 中国富士化工建設(株)	佐藤 信彦 (株)カトウシーリング工業	福島 康泰 //
平野 正治 マサル工業(株)	片岡 京子 (株)片岡コーキング	市川 利彦 マルエ工業(有)
林 徳行 //	達本 秀雄 第一ブロック建設(株)	日坂 吉友 古市断熱工業(株)
今井 武義 瀝青建材(株)	根本 誠 中林防水工業(株)	梶原 響 四国ビルサービス(株)
村井 眞 //	朝原 義隆 (株)ムトウ	原山 裕次 宮本産業(株)
村上 富男 //	青野 博文 ティパ化工九州販売(株)	佐藤 和久 佐藤研究所
江角 善雄 青盛建材(株)	山越 章良 (株)美作	土田 武 (株)北日本コーキング

シーリング技術管理士合格者名簿(69名)

大久保克春 トーヨーサッシ(株)	北尾 孝二 サンスター技研(株)	陳岡 達也 ヨコハマゴム工業品
金子 英昭 //	前田 満 //	北海道販売(株)
石井 良光 //	寺沢 宏二 //	宮崎 敏 //
渡辺 和基 //	秋山 寿次 //	草刈 正幾 //
荒巻 久雄 滋賀トーヨーサッシ工業(株)	浜田 順二 //	梅津 卓也 ヨコハマゴム工業品
佐々木 忠 前橋トーヨーサッシ工業(株)	永江 道法 //	東北販売(株)
塩塚 慶志 福岡トーヨーサッシ工業(株)	青木 茂広 //	仲宇佐隆一 横浜ゴム(株)
河口 達也 東洋ビルサッシ(株)	金久保雄司 //	飯島 俊之 //
中村 公士 サンライズメイセイ(株)	岸 三治 (株)東郊産業	高橋総一郎 //
藤本 亮秀 //	渡辺 敏幸 カネボウ・エヌエスシー(株)	河野 実 ヨコハマゴム工業品
穴倉 政男 日興化学工業(株)	河端 健二 //	東京販売(株)
上田 正行 ティパ化工(株)	渡辺 博 信越化学工業(株)	石飛 俊二 //
内田 勲 光栄商事(株)	角田 和也 保土谷建材工業(株)	鈴木 伸治 ヨコハマゴム工業品
増田 博文 //	千葉 隆一 (株)エービーシー商会	中部販売(株)
大園 浩和 日立化成ポリマー(株)	工藤 秀二 (有)興伸総業	大島 幹生 //
木村 充 住友ウォールシステム(株)	大友 考夫 セメダイン(株)	山田 修司 ヨコハマゴム工業品
竹本 寛 三洋工業(株)	阿部 祐輔 //	関西販売(株)
浦川 英明 //	山口 修 //	二反田英史 //
辺田 浩 //	供田 良憲 //	吉田 匡志 ヨコハマゴム工業品
土谷 秀樹 //	藤原 靖博 //	中国販売(株)
宮下 貢次 //	川井 一郎 //	田辺 賢二 //
田中 清晴 //	杉浦 條二 //	白藤 薫 ヨコハマゴム工業品
国見 延也 //	富田 則行 (株)アジア建設資材	九州販売(株)
三好 陽 //	樋口 哲也 //	井上 嘉英 //
宮下 孝 モリシタ化学産業(株)	佐藤 一郎 //	村上 純一 世界長(株)
藤本 啓之 //		

S R シール

- S70 1 液変成シリコン系シーリング材
S50 2 液変成シリコン系シーリング材
U73 1 液ポリウレタン系シーリング材
U31 2 液ポリウレタン系シーリング材

PHOTOボンド

#100 #500 感光性接着剤

エッジシール

網入り板ガラス防錆ブチルテープ
(ガラスメーカー3社 全硝連推奨品)

JIS表示工場 第581036号 (JIS・A・5758)

サンライズメイセイ株式会社

本 社 工 場 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号 TEL. 5374-743
電 話 (0722) 44-7500(代) FAX 0722-44-8183
静 岡 工 場 〒437-14 静岡県小笠郡大東町国安字一本松24-16
電 話 (0537) 72-5700(代) FAX (0537) 72-4772
関 東 営 業 所 〒221 横浜市神奈川区三枚町299番地5
電 話 (045) 383-4651(代) FAX 045-383-4869
熊 谷 営 業 所 〒360 埼玉県熊谷市宮町2丁目132番地(林ビル)
電 話 (0485) 25-1822(代) FAX 0485-25-2491
名古屋営業所 〒465 名古屋市名東区一社3丁目90番地(チサンビル202号)
電 話 (052) 703-2061(代) FAX 052-704-1978
関西営業所 〒592 堺市浜寺石津町中1丁4番7号
電 話 (0722) 44-7500(代) FAX 0722-44-8183
広島営業所 〒733 広島市西区三篠町3丁目20番19号
電 話 (082) 230-0019 FAX 082-230-1944
九州営業所 〒811-32 福岡県宗像郡福岡町字長引3464番地(桜井ビル)
電 話 (0940) 43-2254(代) FAX 0940-43-2866

建築土木用

発泡プラスチック製品

成型プラスチック製品

●営業品目

- ①目地材
- ②断熱材
- ③防音材
- ④防水シート
- ⑤機密材
- ⑥防振シート
- ⑦養生マット
- ⑧結露防止マット
- ⑨接着シート
- ⑩ガasket各種

複合資材で用途開発をお引受する

株式会社 新和商会
新和化工株式会社

本 社 東京都荒川区西日暮里2丁目24番14号
TEL. 03(803)1411 (代表)
工 場 埼玉県浦和市町谷20-1
TEL. 0488(64)1751(代表)

この2月にシーリング管理士の試験を受け、幸いにも合格できましたのは、受験するに当たって色々とお世話になった方々のお陰と感謝しております。

私は短大を卒業してすぐに家業（シーリング工事業）の仕事に就きました。当時は経理事務的な仕事をする傍ら、忙しい時期には現場の仕事も手伝っていました。しかし、将来についてはまだ漠然としていて暗中模索の状態でしたが、そんなある日現場で職員の方達と働いている父の姿を見て、「父はいつまでこの仕事を続けられるのだろうか？」とふと考えました。そして、両親が築いた家業を一代で終らせたくないという気持ちになったのです。もちろん、女性が男性と同じ仕事をできるのだろうか、という不安はありましたが、「女性でもやってやれない仕事ではない。むしろ女性に適している部分もある」と同業者の先輩の方から励まされたこともあって、家業を続けていこうと決心しました。

それからというものは、町を歩いていてもどこに居ても建物を見ると必ず仕事と結びつけて見るようになり、また、高い所に上っても以前程は恐怖を感じなくなりました。しかし、現場で働くうちに将来自分が人に教える立場になった時、男性ならともかく女性の言う事を聞いてくれるだろうか（説得力に欠けるのではないか）、年長者の方への対応の難しさも出てくるのではないかなど、新たな不安を感じるようになってきました。技術はもとより様々な状況に対応

できる知識と資格が必要であることを痛切に感じたわけです。

以来何か目に見えない追い風を受けるかの如く、ここ何年かはシーリングに関する講習会への参加、車の免許取得などと歩んでまいりました。そして、昨年、シーリング防水技能士1級を受験するための試験勉強の勢いに任せ、今回この管理士試験に挑戦してみることにしたわけです。

試験間近になって、テキストを配布されそれに目を通したときノ

には、思った以上に難しく、試験当日までに覚えられるか不安でしたが、それも講習を受ければ少しは解消されると思っていました。しかし、実際受けてみると覚えなければならない事が日毎に増え、また試験前日まで理解できない部分もあり焦るばかりでした。

試験当日は無我夢中であつという間に時間が過ぎてしまい、また緊張のせいか試験寸前まで覚えていた事が思い出せなかったり……。この合宿を終えた時には結果より



「シーリング管理士」 試験を受けて



片岡京子

もむしろ安堵感で一杯でした。今振り返ってみますと、合宿という初めての経験の中で、日頃なかなかお会いすることのできない同業者の方達とお話する機会を得ることができたこと、大勢の方々と講習、試験に臨むことができたことなど非常に有意義な体験をさせて頂いたと思います。

人間にとって衣食住は不可欠のものであり、“住”の一つにシーリングの仕事も含まれていることから、今後も時代の流れとともに技

術が開発されていくのではないでしょう。

女性がこの業界で働くにはまだまだ厚い壁があるかもしれませんが、こうした中で女性である前に一人の人間として誠心誠意仕事に取り組み、今後は諸先輩の方々に学びながら技術を磨き諸々の知識を深め、この資格に値するよう努力してまいりたいと思っております。

（株）片岡コーキング・札幌市西区
西野9条5丁目8番3号）

各地からのたより (63年3月記)

● 本部事務局だより

2月は逃げる、3月は去る、花の季節も短かく、アツと言うまに過ぎ去ってゆきます。

新年会が終ると管理士検定講習会、管理士更新手続、役員改選、ゴルフ大会、決算、総会と工業会の大きな行事が続く、この時期工業会事務局は最も多忙になります。

新年会を東京で開催するようになってから参加者が増え、会場も手狭な程の盛会になりましたが、ゴルフ大会は切りはなして開催されるためか、盛り上りに欠けたように思われます。折角の機会でございますので、もっと大勢の方のご参加を得てますます盛大にして下さるようお願いいたします。

さて、去る2月10日～13日にかけて開催されました62年度の検定講習会は、今までにない150名と言う多人数の参加があり、会場・宿泊にご迷惑をお掛けいたしました。合格率は81%の高率で終了しております。その結果管理士の全国分布は下表のようになります。管理士の少ない地区は、次回には奮ってご参加下さることを期待いたします。

4月から新役員・新委員の下に新年度が発足いたします。工業会

の歴史も四半世紀を迎え、記念すべき年に当ります。どの業界も21世紀に向けての展望をしております。25周年を迎えたシーリング工業会の展望は如何なものなのでしょうか……。

● 北海道支部の動き

62年度は内需拡大策で受注が例年になく盛んで、年初めからの仕事も多く、内地への出稼ぎは少ないようです。今年度も前期は期待していますが後期についてはまだ期待がもてるかどうか予想がつかないところです。

工事業協会の要請で1月21日～22日に講習会を実施、施工技術のレベルアップに協力しています。例年の様に1月16日には工事業協会との恒例の新年互礼会を持ちました。また、3月には世界長の当支部への加入により一層会員の親睦の輪も広がるものと思っています。

遅れましたが4月に工業会の支部会を開催する予定です。

● 仙台支部の動き

今冬の東北地方は例年に比較するとかなり暖かく雪の少ない年でした。この為シーリング工事も順調に進んだようです。

今4半期（1月～3月）の主な

行事は次のとおりです。

1月18日…東北シーリング工事業協会総会が地元松島で開催され工業会も出席。ただし今年からは工業会としてではなく各社が賛助会員の資格で出席した。協会からいろいろな質問等がなされ活発な意見交換の場となった。

2月15日…例会開催。幹事会社の1社減について内諾を得、総会を経て正式決定することになった。

3月2日…今期最後の役員会開催。次期幹事会社および総会の日時を内定。総会は4月4日松島で開くこととし、翌日は懇親ゴルフの予定。

● 東京支部の動き

内需振興によるフォローウィンドーがやっと吹きはじめた近頃、都庁はじめビッグプロジェクトが目白押しですが、その反面業界では人手不足が深刻な問題となりつつあります。

さて支部活動状況であります。公正取引委員会の査察等の余韻が引続くなか、誌面でご報告する活動もこれと言って特にありませんが、先般63年度新役員候補を早々に選任し、あらたな飛躍を期しているところです。又、長年当支部発展の為に尽力頂きました東芝シリコン(株)、(株)スリーポンド、バイエル合成シリコン(株)の3社が退会されましたことを最後にご報告致しておきます。

● 名古屋支部の動き

春光うららかな季節となりましたが、3月は年度末で各工事店と

シーリング管理士分布状況

	北海道	東北	東日本	中部	関西	中国	四国	九州	合計
会 員 会 社 数 ^(A)	38	35	55	66	43	37	42	26	342
管 理 士 数	19	8	76	51	66	23	20	16	275
管理士在籍会社数 ^(B)	14	7	27	31	28	14	13	9	143
同上率 ^(B/A %)	36.8	20.0	49.1	47.0	65.1	37.8	31.0	34.6	41.8

(63.3.31現在 事務局調)

も超多忙な毎日が続いている今日この頃です。

さて、当名古屋支部の活動状況としては、昨年12月7日、中部シ工連の「SGS 分科会」の発足に伴い、SG 構法についての説明会を開催。シリコンメーカー代表のスライドによる説明を熱心に聴講（約30社）して頂いた。説明会終了後の質疑応答に於いても活発な意見、質問が出された。

年明けて、1月26日、当支部と中シ工連との合同新年会を名古屋市「百楽」にて開催。約40名が出席し、大いに懇親を深めた。

3月11日、支部会開催。新年度役員改選の件、総会日程の件等について話し合った。この結果、4月4日役員選挙、5月25日総会を行うことを決定した。

● 大阪支部の動き

なにわの街にも春がそこまで来ている昨今です。関西地区のシーリング業界も昨年来の FOLLOW の風に乗れ、物量の出荷量は順調の様子で、何とかこのペースを維持しつつ支部の62年度の活動も終わろうとしております。

さて、年度末の3月3日恒例の DM 会ゴルフコンペ（日シ工大阪支部となにわ会の合同コンペ）が、池田 C/C で23社、24名の参加を得て開催されました。当日は、あいにくの寒風が吹き、後半は小雪のチラつく中でのコンペとなりましたが、18ホール、ダブルペリア方式で無事終了し、結果は次のとおりでした。

優勝＝西村氏（サンスター技研）・2位＝清水氏（カネボウ・エヌエスシー）・3位＝赤木氏（大阪御国商事）・4位＝山田氏（宮崎商店）
37. 47. G84

支部の今後の予定は、3月25日に支部会を開催し、新年度（63年度）幹事会社選出の投票結果を集計、決定することになっています。

最後になりましたが、日シ工大阪支部の総務担当として、長年、支部活動にご尽力頂きました東芝シリコン(株)渡辺氏が、支部会を退会されることになりました。長年の支部会への御尽力を深く感謝いたします。

● 広島支部の動き

春らんまん、広島之最も美しい季節となりました。

当地区もお蔭様にて内需拡大の好影響にて昨年来多忙を極めております。このような時期こそシーリング工事業のレベルアップと関連業界の御理解を深めるべきと考え、中国シ協との連繫強化を図っております。

1/下には中国シ協、日シ工の有力メンバーによる合同新年会で氣勢を上げた他に、監督官庁、有力施主・設計事務所・ゼネコン各位を御招きし、最新シーリング技術研修会を実施致しました。昨年来の山口、広島地区での実施に加え、2/下には同内容の研修会を岡山地区で行いました。4/中には中シ協、日シ工広島支部の総会の合同開催を予定しています。

● 福岡支部の動き

つい先日が昭和63年の新春かと思っていれば、もう3月の声を聞き、春を迎えようとしております。我々工業会の福岡支部も63年度を迎えるにあたって、1月21日に工事業協同組合、ディーラーと合同新年会及び懇親ゴルフ大会を多数の出席で開催しました。席上組合側より青野理事長の年頭の挨拶があり、又工業会側より花田支部長が「現時点こそフォローの風が吹いているが、いつアゲンストに変わるかわからない。そうなった場合、材販工の三位一体で協力しあわなければ全員が共倒れになる。また、繁忙期の現在にこそ売上をふやし利益の内部留保に努めるべきだ」との挨拶がありました。現在九州においては特に福岡地区、南九州地区が活気があり、全体的に大手 GC では、ここ1～2年は明るい見通しを持っているようです。又、現在福岡国体、アジア太平洋博覧会関連の施設が次々と建てられており建設ブームに拍車がかかっています。

福岡支部では、現在63年度の役員改選手続きを行なっています。2月22日の幹事会で開票を行なった結果、得票数の順から支部長候補横浜ゴム工業品九州販売(株)、副支部長候補サンスター技研(株)、その他各役員候補として6社を選出し、来たる総会で承認をうける予定です。総会は、工事業協同組合との合同懇親会を含め4月26、27日、嬉野にて開催する予定です。

IT'S JUST SEALANT !

ⒺJIS A 5758 許可番号576247

フジチオコール

液状ポリサルファイドをベースとした2成分形のシーラントで、構造物の変位に追随し、日光、油薬品等によく耐えます。

ⒺJIS A 5758 許可番号381074

ユーゼット103

ウレタンエラストマーの特性を活して、シーラントとしての要求を満たし、且つ優れた諸性能を有する2成分形のシーラントです。

ⒺA 5758 許可番号 576247

メトリック

変成シリコンポリマーをベースに耐熱性、耐久性は抜群、経済性や施工条件に対して許容度を高めた総合性能バランスの良さが大きな特徴のシーリング材です。

アクリルエマルションをベースにしたシーリング材で、長期にわたり柔軟性を失うことなく、その性能を十分に発揮します。

アクリルエース

乾性油および不乾油などの油や石油樹脂、タルクなどを混ぜて練り合せ柔軟性のパテ状にした油性コーキング材です。

エバーシール

ⒺJIS A 5751 許可番号368206



昭石化工株式会社

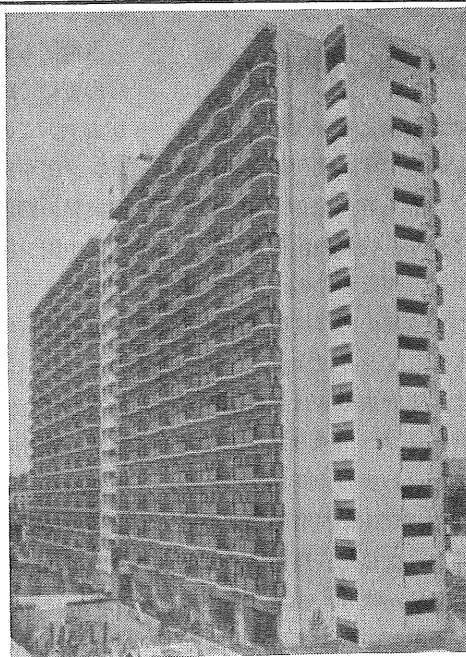
本社 東京都渋谷区代々木1-11-2 TEL.(03) 320-2005
札幌出張所 011(251)7912 東京営業所 03(320)2013
仙台出張所 022(267)5319 新潟営業所 025(225)2331

名古屋営業所 052(231)6568
大阪営業所 06(341)6395
広島出張所 082(283)9226
福岡営業所 092(291)0008

- 屋上防水工事
- 外壁防水工事
- シーリング工事

外壁補修工事業協同組合員
全国パラテックス防水工事業協同組合員
東日本建設防水協同組合員
東日本シーリング工事業協同組合員
ゴムアスファルト防水工事業協同組合員
全日本プレハブ建築防水協会会員
全国アロンコート・アロンウォール
防水工事業協同組合員

東京都知事許可 般62第36279号



株式会社

ジックス

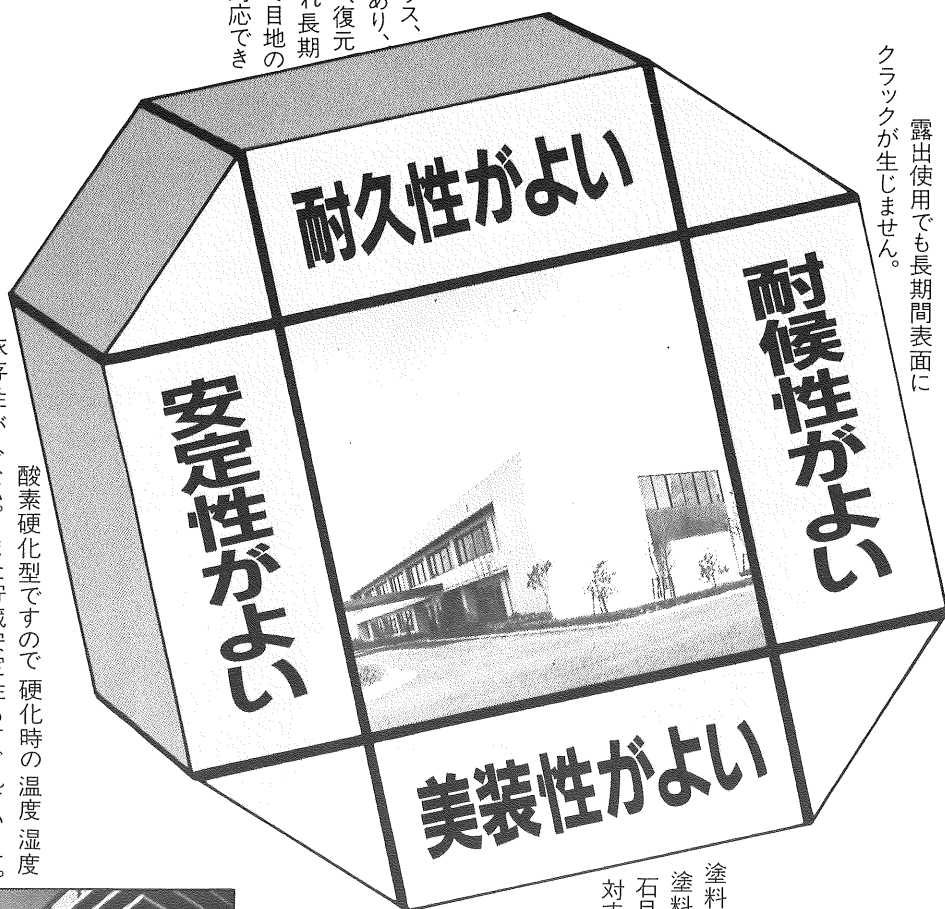
取締役社長 出水 秀夫
東京都渋谷区代々木1-30-1
TEL 03 (370) 0121 (代)

高性能カルテット「パーマポールシーラント」

パーマポールポリマーを主成分とした酸素硬化型一成分形シーラント。

昨年から数社で製造販売が開始され、高い評価を得ています。

露出使用でも長期間表面にクラックが生じません。

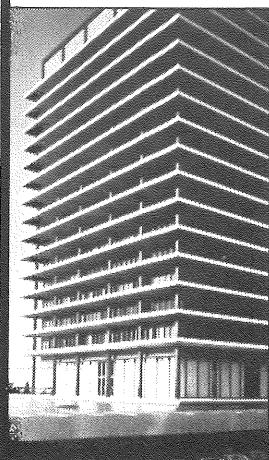


低モジュラス、高伸びであり、耐疲労性、復元性にすぐれ長期にわたって目地の伸縮に対応できます。

酸素硬化型ですので硬化時の温度湿度依存性が少ない。また貯蔵安定性もすぐれています。

塗料との密着性がよく塗料を汚しません。しかも石目地、タイル目地などに対する汚染がありません。

パーマポールシーラントは、建築・複層ガラスシーラントとしてアメリカをはじめ世界各国で20年以上の実績があります。



変成ポリサルファイド系ポリマー

パーマポール®

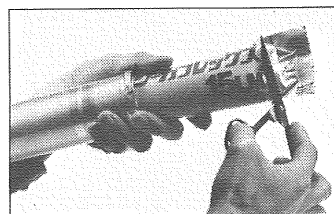
日本触媒

日本触媒化学工業株式会社

樹脂製品営業部 ● 東京 (03) 798-7071 東京都港区三田3-11-36 (三田日東大ビル) ● 大阪 (06) 202-6031 大阪市東区高麗橋5-1 (興銀ビル)

どんな気候・風土にも耐えぬく抜群の耐候性!!

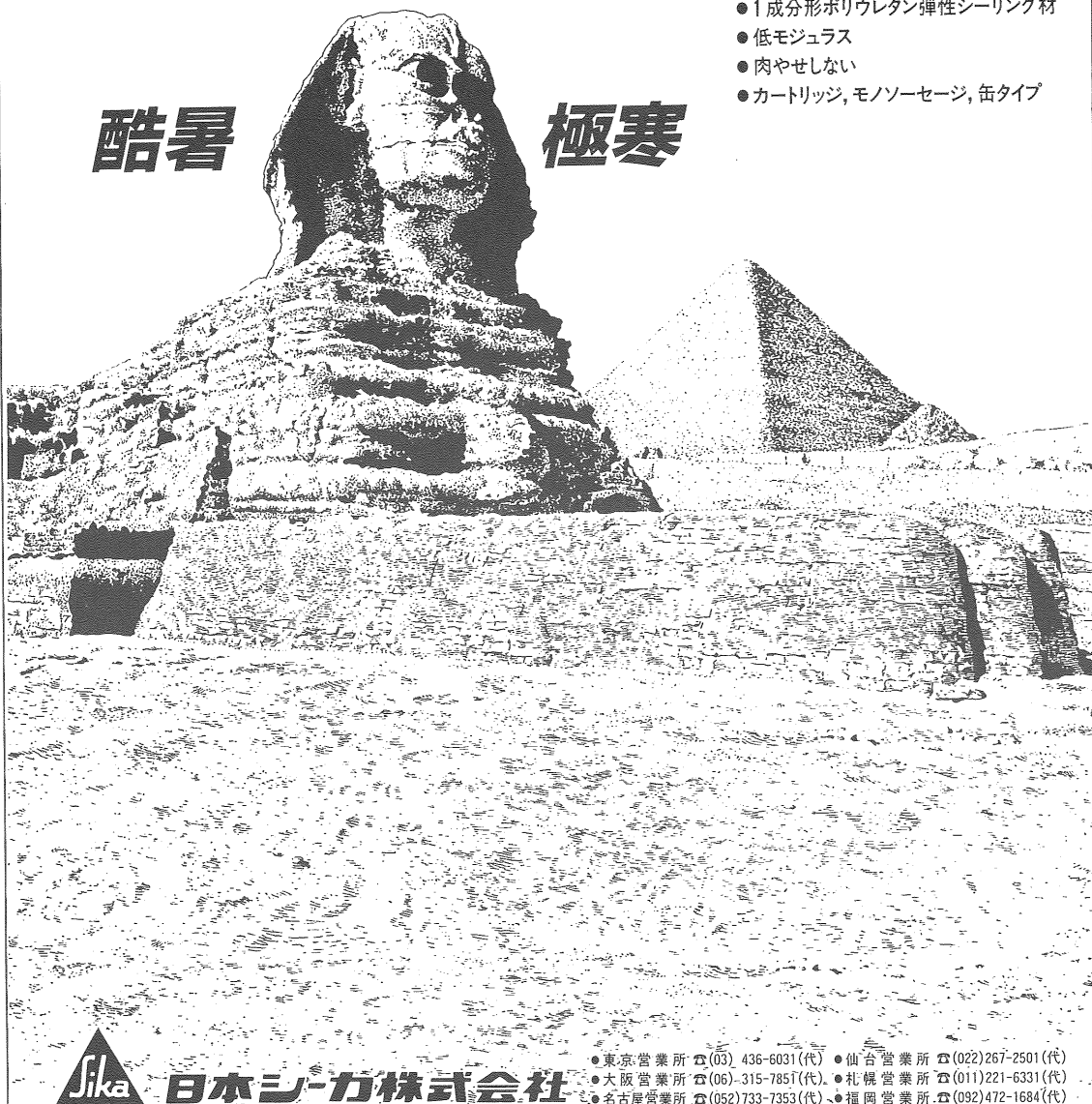
シーカフレックス15LM



- 1成分ポリウレタン弾性シーリング材
- 低モジュラス
- 肉やせしない
- カートリッジ、モノソーセージ、缶タイプ

酷暑

極寒



日本シーカ株式会社

本社／〒105 東京都港区新橋4-2-1 第29森ビル ☎(03)436-4131(代)

- 東京営業所 ☎(03) 436-6031(代)
- 仙台営業所 ☎(022)267-2501(代)
- 大阪営業所 ☎(06) 315-7851(代)
- 札幌営業所 ☎(011)221-6331(代)
- 名古屋営業所 ☎(052)733-7353(代)
- 福岡営業所 ☎(092)472-1684(代)
- 富山営業所 ☎(0764)42-3232(代)
- 沖縄出張所 ☎(0988)85-3987(代)

戸建住宅から
超高層ビルまで

KBKシーリング工法

あらゆる建物のシーリングに！

ビル・マンション・学校・工場等に
シーラントシリーズ

(缶入りタイプ)

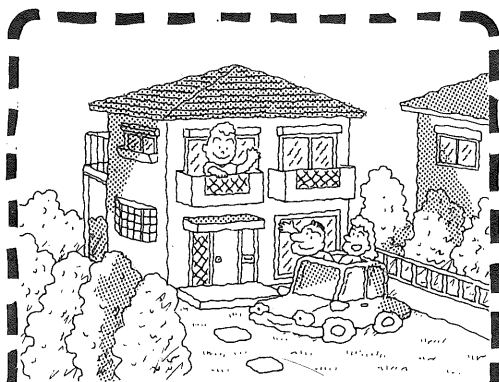
- | | |
|------------|---------------------|
| カネボウP-8000 | 2成分形変成シリコン系 |
| ベルエースMS | 2成分形変成シリコン系 |
| カネボウP-5000 | 2成分形変成ポリサルファイド形 |
| カネボウP-6000 | 2成分形ポリウレタン系 |
| カネボウP-4000 | 1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系 |
| カネボウP-3000 | 1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系 |



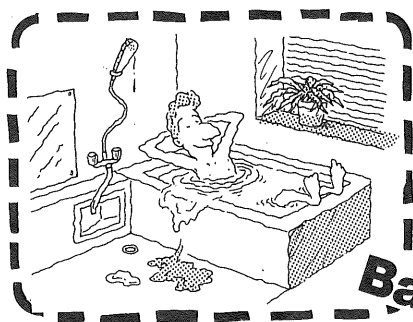
内装・設備・戸建住宅等に
デュアリボンシリーズ

(カートリッジタイプ)

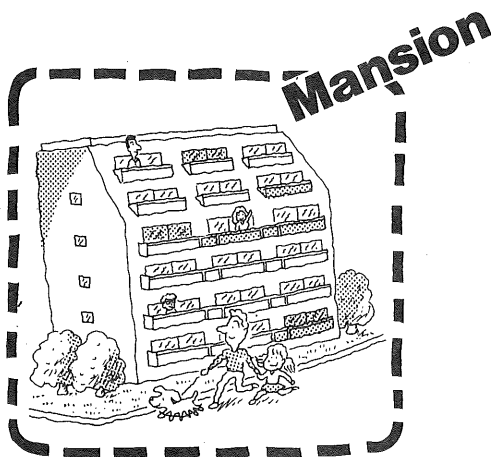
- | | |
|------------|---------------------|
| デュアリボンMS | 1成分形変成シリコン系 |
| デュアリボン6500 | 1成分形ポリウレタン系 |
| デュアリボン4000 | 1成分形エマルジョンタイプ・アクリル系 |
| デュアリボン3000 | 1成分形溶剤タイプ・ブチルゴム系 |



House



Bath



Mansion

カネボウ・エヌエスシー株式会社

本社・大阪営業所 〒562 大阪府箕面市船場西1丁目6番5号 カネボウ千里ビル
日野工場 〒529-16 滋賀県蒲生郡日野町大字大谷字東山341番地
東京営業所 〒102 東京都千代田区平河町2丁目8番2号 31藤ビル5F
名古屋営業所 〒450 名古屋市中村区名駅4丁目17番19号 鐘紡ビル8F
広島出張所 〒730 広島市中区大手町3-5-11
福岡出張所 〒810 福岡市中央区大手門3丁目7番19号
四国出張所 〒760 香川県高松市木太町8区4062-4

☎(0727)28-4701 FAX (0727)28-3333
☎(0748)53-1111 FAX (0748)53-1119
☎(03)263-4701 FAX (03)263-4705
☎(052)583-8606 FAX (052)583-8608
☎(082)249-8615 FAX (082)249-6744
☎(092)715-5378 FAX (092)752-0024
☎(0878)66-2287 FAX (0878)66-2296

超高層ビルでの実績と信用

シーリング工事 責任施工

日本化成工業株式会社

許可番号 大阪府知事許可(般-62) 第34549号

〒564 吹田市南金田1-4-46

TEL 06(385)3886(代) FAX06(385)3055

昭和日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-62) 第12100号

〒814 福岡市早良区原4-8-11

TEL 092(843)3311(代) FAX092(843)3314

南日本化成株式会社

許可番号 知事許可(般-61) 第4182号

〒891-01 鹿児島市中山町2037-5

TEL 0992(67)6121(代) FAX0992(67)6125

変成シリコン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・MS

ポリサルファイド系 2 成分形シーリング材

ニッシーール

ポリウレタン系 2 成分形シーリング材

ニッシーター・ウレタン

ブチル系 1 成分形シーリング材

スレニシーール

〈製造元〉

日興化学工業(株)

■ ☎135 東京都江東区白河4-9-5

■ ☎東京03 (642) 7105~6・7155

一層の発展へ原点に戻り 考え直す時

総務委員会

62年度は幸なことに内需拡大の影響を受けて我々建築シーリング材も当工業会によれば10%の伸びを示したようです。この中であって当委員会としては、工業会の各活動の活性化を促す役割を担っていますが、当初の計画を満足させる成果は残念ながら得られなかったと言えるでしょう。しかし、そうした中では輸出関連遵守の問題等いくつかの諸問題は解決出来たと思っています。

以下に当委員会の主な活動状況を報告します。

1-1 組織拡充と運営強化

62年度（62年4月～63年3月）は理事会、幹事会を含め15回を開催し、合理的な会議運営により、実施でき、又事業方針にもある様に会員会社の相互理解のために広報委員会と連携してシーリングニュース誌上にて本年は12社の会社紹介を行ないました。

1-2 支部との連携強化

各支部が抱える諸問題を共通の場で討議することによって、これを解決するとともに、各支部に於いては、本部事業方針に沿って、技術の向上を目的とした各講習会を技術委員会の援助を得て、積極的に開催し、工業会の活性化の一助としました。

1-3 輸出に関する法規遵守

昨年8月に通産大臣より「戦略物資の輸出に関する法規の遵守」について通達が出され、当工業会としても基本方針を策定し大臣に報告、会員各社にも実施を要請しました。また、9月4日に「外国為替及び外国貿易管理法」の改正法案が成立したことから、通産大臣より再度基本方針の策定とその実施状

況の報告要請がありました。これを受け、基本方針については直ちに報告申し上げ、会員各社の協力のもとに実施状況を調査し、11月一杯で取りまとめ致しました。

2-1 事務局の効率化

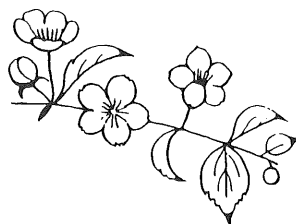
従来の子事務員の2名を、10月より事務合理化を行ない1名による事務処理を可能にし、更にワープロ、ディスプレイを新型に切替えることによって、事務の合理化に役立てました。

2-2 財務管理の徹底

従来通り外部の会計事務所に財務管理と監査を依頼し経理処理の明確化を計っています。

3 その他

工業会の一層の発展のためにも全会員の参加意識を昂揚強化するとともに、理事会、幹事会の運営方法、役割、それに伴う運営等について再び原点にもどり考え直す時にさしかかっている様に思われます。



技術委員会はかくありたい!!

技術委員会

工業会が25周年を迎えるに当たって、心を新たにするために昨今の活動内容と今後の課題について誌上を借りてここに報告したい。

JIS, JASS, 建設省共仕, 総プロ, シーリング材ハンドブックなど多方面に亘る一応の成果を得て、昨年度から試験法 WG を発足させた。昨年は各国の規格内容について調査検討を行い、現在は試験項目の選定作業を実施中である。この活動は単なる JIS A 5757の改正のみならず、耐久性向上、維持・修繕技術の標準化、国際化などの背景を踏まえて適確な評価手法の確立という責務を負っている。

前記の活動中に産まれた適材適所表は、シーリング防水に要求される部位別性能に対してシーリング材の特性を対応させた関連表として極めて大きい意義を持つに到った。試験法 WG の活動は評価方法の確立によって関連表を理論的に裏付けて行く事にも結びつけて行く必要があろう。

また、総プロ成果の公表を待って保証条件、補修交換技術関係の WG も活動を再開した。未だ緒に付いた許りであるが、時流に沿った重要課題である。

何れにしても根幹は技術の確立という意味で根を一にする課題である。一方前記の改正（定）作業は定期的に実施される項目であるから、常にその時点での技術水準の明確な把握が必要と考える。

多くの WG の中で、NSK, NBK との共同試験も2年目の観察を経て、一応終了した。全シーリング材を網羅した点で有意義であったが、今後はこれら異常現象の事前判定法またその促進試験方法の立

案に向けて活動が求められる。バリアープライマーによって付着阻害が発生する組合せもあるとか、両工業会との協力によって一日も早い解決が望まれる。

共同作業の一環として、乾式防火サイディング協会との WG は精力的に回を重ね、協会側の資料にシーリング材の正しい使い方が掲載されるようになった。業界相互の連繋プレーによる好例と言えよう。

これらの他、防かび、開口部防火、建築学会での SSG 関係等、シーリング材に要求される新機能に関連する対外活動も実施中である。これらが新商品開発の指針となるよう充実して行きたい。

以上、委員会活動の内容と抱える課題についてその概要を述べたが、更に反省も含めるならば、

- 結果は会誌を通じて報告するものの、検討過程での会員参加が少ない。
 - 委員の卓越した知識経験によって検討する部分が多く、データを祖上にのせた検討が少ない。
 - 受身での処理が多い。
 - 設計、施工に関する情報が大半で、シーリング材自体に関する情報提供が少ない。
- 等が考えられる。

全会員の繁栄に向けて、共通項目に関する問題は成る可く会員の全員参加の形が望ましく、25周年を迎えるに当たって更に活性化した委員会活動を進めたいと考えている。

場合によっては研究の外部委託も含めて発想の転換を図りたいが、夢であろうか。

好況時に健全化へ

調査委員会

62年度は政府の内需拡大政策の本格スタート、民間を含めた都市再開発プロジェクトの活性化など、建築の好況に支えられて我々業界も明るさの中で推移した。これを裏付けする如く、当委員会の最重点業務である「62年シーリング材基材別生産量の調査・集計」結果では、建築用途で対前年比110%の伸びとなった。

従来、この調査・集計は翌年1月に発行される「シーリング誌」に発表されることから11月に行われていた。この場合は11月、12月の2ヵ月分が推定値となるため、「数値の確実性がやや欠けるのでないか？」との指摘がなされていたが、委員会としては反省しつつも止むを得ない、との立場をとらざるを得なかった。本年の集計は「シーリング誌」の発行が総会時（5月）と変更になったため、2月に実施、従って推定は必要なく12ヵ月丸1年の実績値、すなわち数値の確実性がアップされたことになる。

集計結果においては、ここ近年の傾向と同じく相変わらず1成分形の伸びが目立ち、プレハブを中心とする戸建住宅の好調さと末端ユーザーの広がりが明らかなものとして捉えられる。一方、商業ビル、高層住宅等を対象とする2成分形も順調な伸びを示しており、1成分形と合わせ63年も継続しての伸びが期待される。

尚、例年のことであるが、集計に加えられる建築・土木以外のその他市場での出荷量については、実体が明確に把握できず、どうしても推定の域を脱しきれない。63年度はこれら不明確な部分はあえて集計に入れず、建築市場（一部土木を含む）に集約する

ことにした。

さて、委員会としては昨年も材、販、工の連携強化という工業会の方針に沿い、特に支部活動の活性化を目的とした会合を各地区において活発に行った。

市場の好況という背景は、一方では過当競争、低価格の販売合戦を助長する面があり、各支部その地域での特長（販売ルートなど）が微妙に異なるとしても、共通してそれらの面が一部あったことは否定できない。

ここ数年、シーリング材の原材料価格は比較的安定・鎮静化してきており、市場の好況、需要増が続くとすれば我々メーカーは一層の品質向上と新たな高機能製品を開発する好機である、と考えられないだろうか。このため、過当競争を避けた健全な取組が必要であり、それも急務として実施すべきことを強調、提言したい。

昨年11月、工業会にとって歴史上の汚点ともいえるべき、1基材を対象とした公取委の査察が入った。談合の事実有無等公取委の結論は未だのようであるが、いずれにしろ、法的な違反として疑われるような行為は、工業会として避けねばならないことは当然である。調査委員会として提言し、願う健全な取組とは、決して談合などではない。

現状からして、建築業界は63年度も引き続き好況な需要が見込まれるが、この好況が今後何年も続くとは考えられない。再び又低迷時代が来た時、我々メーカーとしての、又販、工を含む業界の基盤がそれなりに確固たるものであってほしいとの願いを込めて、63年度の取組、展開を期待したいものである。

管理士制度の一層の 発展に努力

検定委員会

昨年は、管理士制度10年の区切りの年であった。この間に管理士制度の意義が広く建築、シーリング業界で認められ発展してきたことは、この制度運営の実務にあたっている当検定委員会としてこのうえない喜びである。

さて、新しい次の10年を目差す昭和62年度は、検定委員会にとって話題の多い年であった。その第一は制度運営方法の改定を行った事である。改定の要点は①管理士受験手続きの簡素化と、②更新講習の受講方法の便宜改善であった。その主旨は、いずれも受講される方々の便宜をはかり経費の軽減をはかったものである。さらに、更新講習の改定では、従来の方式では、時間の関係であり多くの内容を講習できなかった点を、通信講習により管理士の方々の時間のゆるす時を利用し広い範囲を再確認していただき、一層の技術向上に役立てていただくことにあった。この改定により、各検定委員にとっては逆に更新のための作業が増加することになったが、これも管理士制度の発展のためなら委員一同その労を惜しまないつもりである。

第二は、なんといっても62年度管理士講習と受験の盛況である。受講定員120名のところ、締切期日を十分に余して約150名の申込みがあった。会場の許すかぎりできるだけ多数の方の希望を受けるよう努力し、ぎりぎりの150名の申込みを受けた次第であった。申込みをお断わりした方々、および、狭い会場で受講された方々には、改めて紙面を借りてお詫申し上げます。これだけ盛況となったのは、総プロの

成果、管理士資格の認識の向上があったものと考えられる。受験者増について地域で見ると、管理士に関しては、四国において、日本シーリング工事業団体連合会加盟会社の増加にともなう受験者増（11名受験）があったこと、昨年に続く北海道地区の受験者増、中部地区、九州地区の増加があり、技術管理士は相変わらず関東地区が多いが中部、関西地区も増加している。

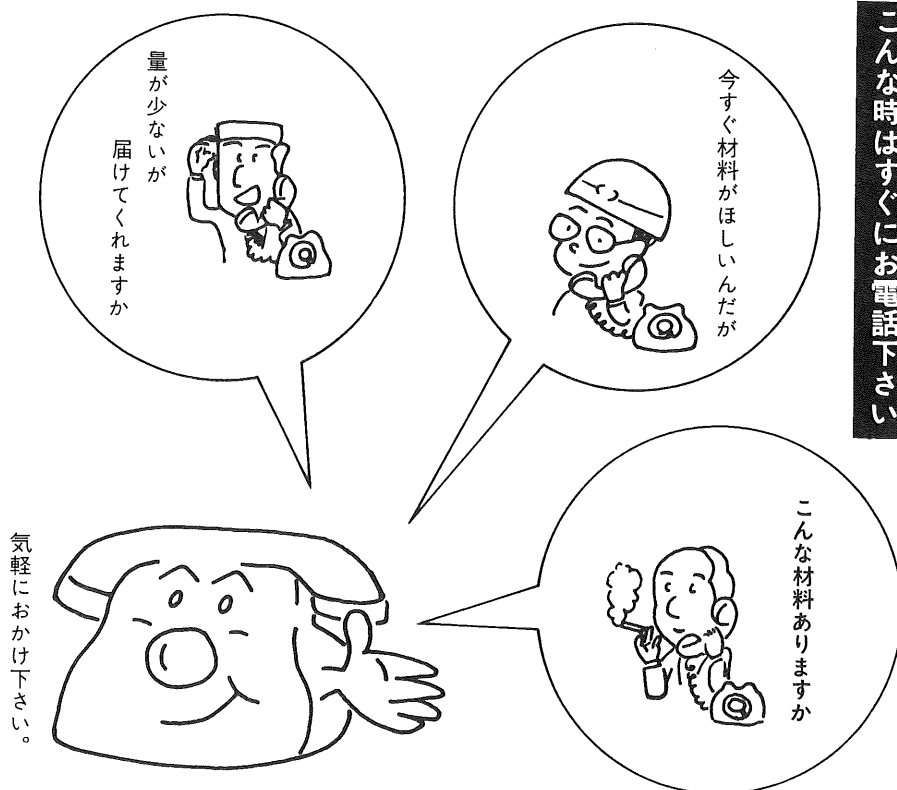
試験の結果についてはすでに発表されているが、本年の合格率は81%の高率であった。試験の内容が易しくなったわけでは決してない、受験者の方々の努力の結果が現れたものである。得点の分布を見ると、900点満点中810～849点の間に40名、850点以上に10名の高得点者のピークがあり、事前の勉強、努力がうかがわれる。事前の勉強があれば管理士試験は決して難問ではないことをものがたっている。検定委員会としても今後とも理解しやすい講習、身につく講習に努めていきたいと考えているが、来年度以降の受講者の方々は会場での講習以前の勉強をお願いしておきたい。

これもすでに発表されてはいるが、第三は、初の女性管理士の誕生である。男女機会均等がさげばれているなかでの誕生は喜ばしい。今後はあらためて女性管理士誕生を報じなくても良くなるくらいに定着化する時代がくることを願う。

検定委員会では今後とも会員会社の皆様のご意見を取入れて、管理士制度を一層普及していきたい。皆様のご指導をお願いします。

7日会のメンバーは安心して使っていただける製品をサービスを添えてお届けします。

こんな時はすぐにお電話下さい



———建築用シーリング材・防水材・関連製品の御用命は当会メンバーに———

東日本シーリング工事業協同組合協力店会

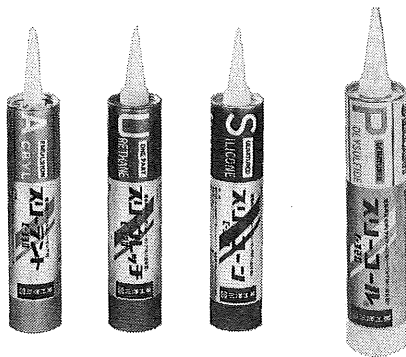
7 日 会

化研マテリアル(株)	〒105 東京都港区西新橋3-8-1 (第2鈴丸ビル)	TEL 03(436)3011
共成(株)	〒104 東京都中央区新川1-25-11	TEL 03(552)2031
光栄商事(株)	〒177 東京都練馬区上石神井1-432-2	TEL 03(928)5811
野口興産(株)	〒176 東京都練馬区豊玉北2-10	TEL 03(994)5601
フヨ一(株)	〒130 東京都墨田区業平5-5-6	TEL 03(626)3371
藤本化成(株)	〒150 東京都渋谷区渋谷3-27-12 (並木ビル)	TEL 03(407)4701
ヨコハマゴム工業品 東京販売(株)	〒105 東京都港区海岸1-9-15 (竹芝ビル)	TEL 03(436)5621

「守りはかたく」

プロのニーズに応える

三洋の建築用シーリング材。



- スリーウレッチ(ポリウレタン系シーリング材)
- スリーラント(アクリル系シーリング材)
- スリーコーン(変成シリコーン)
- スリーコール(変成ポリサルファイド系シーリング材)



シーリング材の専門メーカー

三洋工業

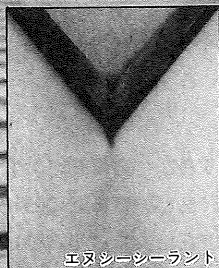
本社・東京都江東区亀戸6-20-7 TEL685-3452

耐火2時間

(JIS A 5758 耐久性区分 8020に適合)
建設省告示1231号 準不燃に適合

耐火目地シーリング材・無汚染タイプ

エヌシーシーラント



エヌシーシーラント



他社シリコーンシーラント

- カーテンウォール工法のPC、ALC、フレキシブルボード、インシュレーションボードなどの可動目地に

- 大理石、レンガ、タイルなどの不動目地に

製造元 **日東紡コンパウンド株式会社**

本社/〒103 東京都中央区日本橋富沢町9番10号(稲村ビル)

TEL 03-669-1007(直通)

・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

発売元



化研マテリアル株式会社
KAKEN MATERIAL LTD.

〒105 東京都港区西新橋3-8-1(第2鈴丸ビル)

TEL 03-436-3011(代表)

FAX 03-433-3914

建築用シーリング材参考標準設計価格

昭和63年1月

(単位：m当り円)

材料区分	積算基準 (円/mℓ)	目地寸法 (幅×深さmm)	材料価格	材料ロス	労務費	副資材費	諸経費		施工単価	備考
							直接経費	間接経費		
シリコン系 1成分形	5,100	10×10	510	153	380	149	95	283	1,570	
		15×10	765	230	461	182	131	391	2,160	
		20×10	1,020	306	521	216	165	489	2,720	
シリコン系 2成分形	4,350	10×10	435	87	430	149	88	261	1,450	
		15×10	653	131	504	182	118	352	1,945	
		20×10	870	174	590	216	148	442	2,440	
		20×15	1,305	261	698	254	201	601	3,320	
		25×15	1,631	326	826	289	246	732	4,050	
		30×15	1,958	392	972	327	292	869	4,810	
変 成 シリコン系 1成分形	5,000	10×10	500	150	380	149	94	237	1,510	
		15×10	750	225	460	182	130	323	2,070	
		20×10	1,000	300	521	215	160	404	2,600	
変 成 シリコン系 2成分形	4,000	10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
		30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
ポリサル ファイド系	4,000	40×20	3,200	640	1,294	399	443	1,314	7,290	
		10×10	400	80	430	149	85	256	1,400	
		15×10	600	120	504	182	112	332	1,850	
		20×10	800	160	590	216	141	423	2,330	
		20×15	1,200	240	698	254	191	567	3,150	
		25×15	1,500	300	826	289	233	692	3,840	
アクリル ウレタン系	3,400	30×15	1,800	360	972	327	277	824	4,560	
		40×20	2,720	544	1,294	399	397	1,190	6,540	
		10×10	340	68	430	149	79	237	1,300	
		15×10	510	102	504	182	104	316	1,720	
		20×10	680	136	590	216	130	389	2,140	
		20×15	1,020	204	698	254	174	522	2,870	
ポリウレタン系 1成分形	2,700	25×15	1,275	255	826	289	212	635	3,490	
		30×15	1,530	306	972	327	251	752	4,140	
		40×20	2,720	544	1,294	399	397	1,190	6,540	
		10×10	270	81	380	149	70	210	1,160	
		15×10	405	122	461	182	94	276	1,540	
		20×10	540	162	521	216	115	346	1,900	
ポリウレタン系 2成分形	2,300	10×10	230	46	430	149	68	207	1,130	
		15×10	345	69	504	182	88	262	1,440	
		20×10	460	92	590	216	109	323	1,790	
		20×15	690	138	698	254	142	418	2,340	
		25×15	863	173	826	289	172	507	2,830	
		30×15	1,035	207	972	327	203	606	3,350	
アクリル系	1,100	40×20	1,840	368	1,294	399	312	927	5,140	
		10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
SBR系	900	20×10	220	44	372	216	68	200	1,120	
		10×10	90	18	272	149	42	129	700	
		15×10	135	27	317	182	53	156	870	
ブチルゴム系	1,100	20×10	180	36	372	216	64	192	1,060	
		10×10	110	22	272	149	44	133	730	
		15×10	165	33	317	182	56	167	920	
油 性	850	10×10	85	17	272	18	31	97	520	
		15×10	128	26	317	27	40	122	660	
		20×10	170	34	372	37	49	148	810	
		30×10	255	51	435	45	63	191	1,040	

注) 上記価格は製造業者、地域、JIS規格合否等により多少変動することがあります。

建築用シーリング工事参考標準設計価格付帯条件

1. 施工時の材料を次のように設定する。

- (1) 2成分形シーリング材のロス率は20%とする。
- (2) 1成分形シーリング材のロス率は30%とする。(仕上げ時にはみだした材料の再使用ができない)
- (3) ガラス：ガラスのジョイントに1成分形シリコーンを使用した場合は下記の通りとする。
 - (a) ガラス：ガラス突付け 50%
 - (b) ガラス：ガラス+リブ付 100%

ガラス上下の中間にブレ止め用の器具を取り付け、気泡が混入しないよう2～3方向から同時に充填し、同時にヘラ仕上げをする。その際、はみだした材料は再使用できない。
 またブレ止め部のダメ工事がある。

2. ゴンドラ使用の場合は、次の通りとする。

- (1) ゴンドラは無償供与とし、揚重、取付け点検費用は、別途とする。
- (2) 階層割増しは、下記のように設定する。

項目 \ 階高	12階以下	13階以上	備 考
a 労 務 費	40%アップ	50%アップ	・ ゴンドラの盛替え作業 ・ 未作業昇降時間、大規模現場の場内運搬,その他の管理業務等の費用が a, b に含まれる。
b 直 接 経 費	25%アップ	50%アップ	
c 間 接 経 費	a, b に準じてアップする		
作業日稼働日数の平均	18日／月	16日／月	

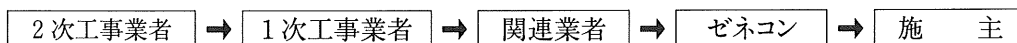
※ゴンドラ作業の計算例

(単位；m 当り円)

項目 \ 階高	材 料	積算価格	目 地 寸 法	材 料 価 格	ロ ス	労務費	副資材	諸 経 費		施 工 価 格	アップ率
								直 接	間 接		
12階以下	ポリサルファイド (2成分)	4,000円/ml	20×10	800	160	826	216	176	481	2,659	14.1%
			20×15	1,200	240	977	254	239	643	3,553	12.8%
13階以上			20×10	800	160	885	216	211	502	2,774	19.0%
			20×15	1,200	240	1,047	254	286	669	3,696	17.3%

3. 本価格の適用は目地長さ500m以上とする。

4. 施工体系



注) シーリング工事の流れは非常に複雑で上図のようにいくつかの段階を経て工事業者に発注される場合が多い。図中の関連業者とは防水、サッシ、PC、カーテンウォール、ガラス業者等を指す。

また1次工事業者は施工管理のみを行ない実際の工事は2次工事業者以下が行なう場合が一般的である。

上表に示す価格はゼネコンが施主から請負う段階での標準的な価格である。

建築用シーリング材市販製品一覧

シリコン系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混合比	備 考
(株) エービーシー商会	ABCシリコン カートリッジ	クリアー, ホワイト, グレー, ブラック, ダークブラウン, アイボリー	333mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
コ ニ シ (株)	ボンドシリコンコーク	グレー, クリアー, ホワイト, ダークブラウン, アルミ, 黒, アイボリー, アンバー	330mlカートリッジ	1成分形	オキシム型
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール2505	クリアー, ホワイト, アイボリー, ダークブラウン, ブラック	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス
	ペンギンシール2520	ホワイト, グレー, アイボリー, ブラック	3ℓセット	10:1	低モジュラス
	ペンギンシール2510	ホワイト, グレー, アンバー, ブラック	500mlフィルムパック	1成分形	低モジュラス
	ペンギンシール2530	グレー, アンバー	500mlフィルムパック	1成分形	マスチックタイプ
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーS	クリアー, グレー, アンバー, アイボリー, ホワイト, アルミ	330mlカートリッジ	1成分形	
信 越 化 学 工 業 (株)	KE42	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, ダークブラウン, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	酢酸型
	シーラント45	透明, 白, 黒, グレー, アルミ, アンバー, アイボリー, ダーク ブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	㊞9030G オキシム型汎用
	KE422	透明	330mlカートリッジ	1成分形	酢酸型, 水槽用
	KE420	高透明	330mlカートリッジ	1成分形	超高透明, 酢酸型
	KE4288	白	330mlカートリッジ	1成分形	防かび性, 酢酸型
	シーラント4588	白, アイボリー	330mlカートリッジ	1成分形	㊞9030G 防かび性, オキシム型
	シーラント72	グレー, ダークブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	㊞9030G 中モジュラス, アルコール型
	シーラント90	グレー, ダークブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス, アルコール型
	シーラント80	白, グレー, 黒, ブラウン	330mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス, アミド型
	シーラント70	白, グレー, アンバー, 黒	3ℓセット	10:1	㊞10030 低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント701	白, グレー, 黒, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント77	白, グレー, 黒, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, アミノキシ型
	シーラント79	グレー, アンバー	3ℓセット	100:10 : 0.71	塑性シーラント, 3成分形, アミノキシ型
	シーラント74	白, ライトグレー, ダークグ レー	3ℓセット	10:1	低モジュラス, 60分 耐火シーラント, アミノキシ型

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混合比	備 考
(株) ス リ ー ボ ン ド	スリーボンド5211	ホホワイト, クリアー, アルミ, グレー, アイボリー, アンバー, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1成分形	無酸型
	スリーボンド5241	ホホワイト, クリアー, アンバー, グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	スリーボンド5271	ホホワイト, グレー, アンバー	3ℓセット	10:1	低モジュラス
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラー S I	クリアー, ホホワイト, ダークブラウン, グレー, アイボリー, アルミグレー, 黒	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
セ メ ダ イン (株)	セメダインシリコーンシーラー-8060	クリアー, アルミ, ホホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, ダークアンバー, グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
	セメダインシリコーンシーラー-8065	クリアー, シルバー, ホホワイト, アンバー, ナチュラルストーン, グレー, ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-100	ホホワイト, クリアー, グレー, アンバー, アルミ, ブラック, アイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	オキシム型
		ホホワイト, クリアー	100gチューブ	1成分形	オキシム型
	アークシール S-101	ホホワイト, クリアー, グレー, アンバー, ブラック, ガラスクリアー	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型
	板金用シリコーン	ホホワイト, クリアー, ニュークリーム, シルバー	150gチューブ	1成分形	オキシム型
テ イ パ 化 工 (株)	ボニーシリコーン S E 5050	グレー	4ℓ	1成分形	マスチックタイプ表面のみ硬化
	ボニーシリコーン3011	グレー, クリアー, ホホワイト	1/3ℓ	1成分形	酢酸型
	ボニーシリコーン3010	ホホワイト, アイボリー, グレー, クリアー, アンバー	1/3ℓ	1成分形	無酸型
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラー#5000	クリアー, ホホワイト, アンバー, アイボリー, グレー, ブラック	330mℓカートリッジ	1成分形	
東 芝 シ リ コ ー ン (株)	トスシール361	ホホワイト, ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	㊦10030 低モジュラス
	トスシール62	グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	中モジュラス ストラクチュラル用
	トスシール63	ホホワイト, アイボリー	3ℓセット	100:3	防かび性
	トスシール64	ホホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック	3ℓセット	100:3	準不燃性
	トスシール67	グレー, ブラック	16ℓセット	100:3	流動性
	トスシール10	ライトグレー, グレー, ダークブラウン, ブラック	500mℓフィルムパック 5ℓ丸缶	1成分形	㊦10030 低モジュラスアミノキシ型
	トスシール371	クリアー, ホホワイト, グレー, アルミグレー, ブラック, ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	酢酸型, 速硬性
	トスシール73	ホホワイト	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび, 酢酸型
	トスシール381	クリアー, ホホワイト, グレー, アルミグレー, ダークブラウン, ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	㊦9030 G オキシム型
	トスシール83	ホホワイト, アイボリー, ライトアイボリー, ダークアイボリー	333mℓカートリッジ	1成分形	防かび, オキシム型
	トスシール380	ホホワイト, グレー, ダークブラウン	333mℓカートリッジ 4ℓ丸缶	1成分形	低モジュラスアルコール型
	トスシール90	ライトグレー, グレー, ダークブラウン	3ℓセット	100:3:0.64	油性目地補修用, 3成分形
	トスシール1200	ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	高モジュラス ストラクチュラル用

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混合比	備 考
トーレ・シリコン (株)	S H780	クリアー, ホワイト, グレー, アイボリー, ニューアイボリー, アルミ, アンバー, ブラック, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	㊟9030 G 無酸型
	S H781	クリアー, ホワイト, グレー, アンバー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	㊟9030 G 酢酸型
	S H790	ホワイト, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック, アイボリー	1/2ℓフィルムパック	1 成分形	低モジュラス
	S H792	ホワイト, アイボリー, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック	3 ℓセット	10 : 1	㊟9030 低モジュラス カラーマスター
	S E555	グレー, アンバー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	㊟9030 G 脱アルコール 中モジュラス
	S E777	スーパークリアー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型
	S E5003	グレー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	準不燃性
	S E5010	ホワイト, アイボリー, ニューアイボリー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	㊟9030 G 無酸型, 防かび性
	S E5011	ホワイト	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型, 防かび性
	S E9090	グレー	1/3ℓカートリッジ 4 ℓ	1 成分形	マスチックタイプ (表面のみ硬化)
	S E794	グレー, アンバー	3 ℓセット	100 : 3	準不燃性 カラーマスター
	S E796	グレー, アンバー	3 ℓセット	100 : 3	中モジュラス ガラス用 カラーマスター
	S E792	ホワイト, アイボリー, グレー, ナチュラルストーン, アンバー, ブラック	1/3ℓセット	100 : 2.5	㊟10030 低モジュラス カラーマスター
	S E9500	ブラック	1kg缶	10 : 1	脱アルコールタイプ
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニューワイドシーラー	クリアー, グレー, ホワイト, アンバー, シルバー, アイボリー, ブラック	330mlカートリッジ	1 成分形	
日 本 フ ラ ン シ ー ル (株)	ロードシルV-2	クリアー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型, 中モジュラス
	ロードシル3-B	クリアー, グレー, ホワイト, アルミ	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型
	ロードシルV-70	クリアー, グレー, ホワイト, ダークブラウン, アイボリー, ブラック, アンバー, シルバー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	オキシム型
	ロードシル5C	グレー, ホワイト, ブラック, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	アルコール型
バイエル合成シリコン(株)	バイエル合成シリコン シーラント BA-10	アイボリー, グレー, アンバー, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	無酢酸型, 低モジュラス
	バイエル合成シリコン シーラント AP-20	クリアー, ホワイト, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブラック, アルミ	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型
	バイエル合成シリコン シーラント AP-22	グラスクリアー	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	酢酸型, 超透明
	バイエル合成シリコン シーラント BO-50	クリアー, ホワイト, アイボリー, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブラック, アルミ	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	無酢酸型
	バイエル合成シリコン シーラント BO-50A	クリアー, ホワイト, ダークブラウン, アンバー, ブラック	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	無酢酸型, 速硬性
	バイエル合成シリコン シーラント BL-40	クリアー, ホワイト, グレー, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	アルコール型
	バイエル合成シリコン シーラント MS-60	グレー, ダークブラウン	1/3ℓカートリッジ	1 成分形	マスチック型

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
横 浜 ゴ ム (株)	ハマタイトSS-310	ホワイト, グレー, ダークブラウン, アイボリー, ブラック, クリアー	333mlカートリッジ	1成分形	無酢酸型
	ハマタイトシリコーン70	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック	4ℓセット	10:1: (0.48~0.57)	㊟10030

* () 内はカラーマスター

変成シリコーン系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
(株) エービーシー商会	ABC変成シリコーンM	ホワイト, ライトグレー, グレー, ブラウン, ダークブラウン	4ℓ	10:1	㊟9030
カネボウ・エヌエスシー (株)	カネボウ P-8000	グレー, ブロンズ, ホワイト	4ℓセット	100:10:(3.8)	㊟9030
	ベルエースMS	グレー, ブロンズ, アンバー, ページュ, ホワイト	4ℓセット	100:10:(3.8)	㊟8020
	デュアリボンMS	ホワイト, グレー, アイボリー, ページュ, ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	
関 西 パ テ 化 工 (株)	セルスーパー	ホワイト, グレー, ダークブラウン, ページュ	333mlカートリッジ	1成分形	
	セルシールMS	ホワイト, グレー, アンバー	4ℓセット	2成分形	
コ ニ ン (株)	ボンドMSシール	ホワイト, アイボリー, グレー, アンバー, ブロンズ, ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	ボンド変成シリコンコーク	グレー, ホワイト, アイボリー, ページュ, ブロンズ	333mlカートリッジ	1成分形	
	ボンド変成シリコンコークLM	ホワイト	333mlカートリッジ	1成分形	中モジュラス
	ボンド変成シリコンコークLM-S	ホワイト	333mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール2500	グレー, アンバー, ホワイト, ページュ, ブラック	4ℓセット トナー200g	10:1:(0.4)	㊟9030
	ペンギンシール2555 (パワーファイブ)	グレー, アンバー, ホワイト, ページュ	320mlカートリッジ	1成分形	低モジュラス
	ペンギンシール2550 (パワーファイブH)	グレー, アンバー, ホワイト, ページュ, ブラック, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	高モジュラス
三 洋 工 業 (株)	スリーコーンB-4000	ホワイト, グレー, アンバー, アイボリー	4ℓセット	10:1	㊟9030
	スリーコーンC-320	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, 他	320mlカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ (株)	SRシール S50	グレー, 白	3ℓセット×4	10:1	㊟9030
	SRシール S70	グレー, 白	333mlカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーM	ホワイト, グレー, ブラウン, アイボリー, ページュ	320mlカートリッジ	1成分形	
	シャープシーラーM-2	グレー, ホワイト, ブラウン	4ℓセット	10:1	㊟9030
昭 石 化 工 (株)	メトリック	グレー, ブラック, ホワイト, ページュ, ダークアンバー	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
(株) ス リ ー ボ ン ド	スリーボンド5222	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	1成分形	
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラーMS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	セカイチョーシーラーHS	ホワイト, グレー, アイボリー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	100:10:(3)	㊟8020
	セカイチョーシーラーM-1	グレー, ダークブラウン, アイボリー, ホワイト	320mlカートリッジ	1成分形	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
セ メ ダ イ ン (株)	POSシールLM	ホワイト, グレー	333mℓカートリッジ	1成分形	㊟8020
	POSシールタイプII	ホワイト, グレー, ブラック, ブロ ンズ, アンバー, アイボリー	4ℓセット	100:3	㊟9030
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-200	ホワイト, グレー, アンバー*, アイボリー*	333mℓカートリッジ	1成分形	*は特注色
チ イ バ 化 工 (株)	ボニーシーラーMS-3000	グレー, ブラウン, ホワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
	ボニーシーラーMS-8000	グレー, ブラウン, ホワイト	1/3ℓ	1成分形	
日 興 化 学 工 業 (株)	ニッシーラーMS	白, グレー, アンバー, ブロ ンズ, 黒	5ℓセット	10:1	
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニットーコーク5000MS	ホワイト, グレー, ブラウン	3ℓセット	10:1	
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNo500	グレー, ダークブラウン, ホ ワイト, ブラック	4ℓセット カラーマスター	100:3:(2.5)	㊟9030
(株) 服 部 商 店	サンシール#801	グレー, ホワイト, アイボ リー, ダークブラウン	4ℓセット	10:0.7:(0.3)	混合比は重量 比
日 立 化 成 ポ リ マ ー (株)	ハイボン2000	ホワイト, グレー, ダークグ レー, アイボリー, ベージュ, ブ ロンズ, ブラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
保 土 谷 建 材 工 業 (株)	ミリオネットNS-300	グレー, ブロンス, ブラウン, ア イボリー, ニューアイボリー, ブラック, ホワイト	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
横 浜 ゴ ム (株)	ハマタイトスーパーII	ホワイト, グレー, ダークブ ラウン, ダークアンバー, ブ ラック	4ℓセット	100:10:(3)	㊟9030
	ハマタイトスーパーワン	ホワイト, グレー, ベージュ, ダークブラウン	333mℓカートリッジ	1成分形	
	ハマタイトスーパーワンLM	ホワイト, グレー, ベージュ, ダークブラウン, ダークアン バー, ブラック	333mℓカートリッジ	1成分形	

* () 内はカラーマスター

ポリサルファイド系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
ア サ ヒ ボ ン ド 工 業	101~109	グレー, 黒, 白, ブロンス, ラ イトブロンス, アンバー, ラ イトグレー, クリーム, その他	3.47ℓセット	10:1	
(株) エ ー ビ ー シ ー 商 会	チオコーク	グレー, ライトグレー, ブラ ウン, ダークブラウン, ブラック	4ℓセット 7ℓセット	10:1	㊟9030
カネボウ・エヌエスシー (株)	カネボウP-5000	グレー, ブロンス, アンバー	4ℓセット	10:1	㊟9030
関 西 パ テ 化 工 (株)	ハイトシール	ダークグレー, ブロンス, ホ ワイト, アンバー, ブラック	3.4ℓセット	10:1	
コ ニ シ (株)	ボンドシール#10	グレー, ブロンス, アンバー, ブラック, ベージュ	4ℓセット	100:10:(6)	㊟9030
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ベタシール169	グレー, ホワイト, アンバー, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟9030
三 洋 工 業 (株)	スリーコールB-4000 スリーコールB-4000S	グレー, アンバー, オフホ ワイト, アイボリー	4ℓセット	10:1	㊟9030 ㊟8020
サンライズメイセイ (株)	SRシールT27	グレー	3ℓセット	10:1	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーリングT-35	グレー, ライトグレー, ダ ークブラウン, ブラック, ホ ワイト	4ℓセット	10:1	㊟9030
昭 石 化 工 (株)	フジチオコール	グレー, ブラウン, アンバー, アイボリー, ダークアンバー, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟8020
住 友 ス リ ー エ ム (株)	ウェザーバンシーラー	ブラック, グレー	4ℓセット	ブラック 10:1 グレー 10:1	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラーTH	シーリングホワイト, グレー, アンバー, ダークブラウン, ブロンズ, 黒	4ℓセット	グレー 100:10 シーリング ホワイト 100:5 その他 100:10:(4)	㊟9030 ㊟8020 (シーリングホワイトのみ)
セ メ ダ イ ン (株)	ポリシール	グレー, ブラック, ブロンズ, アンバー2, アンバー3	4ℓセット	10:1	㊟9030
大 日 化 成 (株)	サンシーラーP	グレー, アンバー, ブラウン, 黒	4ℓセット	100:8	㊟8020
テ イ パ 化 工 (株)	ボニーシーラーPS-2000	グレー, ブロンズ1, ブロンズ2, ブラック, アンバー5	4ℓセット	100:8	㊟9030
(株) 東 亜 応 用 化 工	エポコールシーラ	グレー, ブロンズ, 黒, 白, アイボリー	4ℓセット	100:8	㊟9030
東 レ チ オ コ ール (株)	トブコールS	ホワイト, アイボリー, グレー, ブラウン, ブラック	333mlカートリッジ	1成分形	汎用タイプ
日 興 化 学 工 業 (株)	ニッシール	白, グレー, アンバー, ブロンズ, 黒	3ℓセット	10:1	
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニットーコーク300S	グレー, アンバー, ブラウン	3.3ℓセット	10:1	
(株) 日 本 化 学 研 究 所	チオシールニッカ#3151	グレー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#501	ブロンズ	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#1000	アイボリー	4ℓセット	10:1	
	チオシールニッカ#300	アンバー	4ℓセット	10:1	
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNo300	グレー, ダークブラウン, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟9030
(株) ノ ー ベ ル 樹 脂 化 学	ニューコーク#501	グレー, 各色	4ℓセット	10:1 1:1(土木用)	㊟8020
日 立 化 成 ポ リ マ ー (株)	ハイボン1000	グレー, ダークグレー, ブロンズ, アイボリー, アンバー, ブラウン, ブラック, (ホワイト)	4ℓセット	10:1	㊟9030
保 土 谷 建 材 工 業 (株)	ミリオネートNS-200	グレー, ブロンズ, ブラウン, ベージュ, ブラック	4ℓセット	100:10:(6)	㊟9030
三 星 産 業 (株)	三星シールPS	グレー, ダークグレー, ブロンズ, アイボリー, ブラック	4ℓセット	10:1	㊟8020
横 浜 ゴ ム (株)	ハマタイトSC-500 ハマタイトSC-500S	オフホワイト, グレー, ダークブラウン, ブラック, アンバー	4ℓセット	20:1	㊟8020 ㊟9030

* () 内はカラーマスター

アクリルウレタン系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
日 東 電 気 工 業 (株)	ニトシールA2000	グレー, ダークブラウン, アイボリー, ブラウン, ブラック, ホワイト	5.5ℓセット	1:2.5	
ヤ マ ウ チ (株)	トップシーラー#7	グレー, 白, その他	6ℓセット	1:3	

ポリウレタン系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
アサヒボンド工業(株)	アサヒシール651~659	黒, 白, ブロンズ, グレー, ライトブロンズ, クリーム, アンバー, ライトグレー, その他	4.4ℓセット 7.35ℓセット	1:3	
(株) エ ー ビ ー シ ー 商 会	ABCウレタン80	グレー, アイボリー, ホワイト, ダークブラウン	6ℓ	1:3	㊟8020
	ABCコーキングウレタン カートリッジ	ホワイト, グレー, アイボリー, ダークブラウン	333mlカートリッジ	1成分形	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
オ ー ト 化 学 工 業 (株)	オートンシーラー101A	グレー, ホワイト, アイボリー, アンバー	320mlカートリッジ 4ℓ缶 12ℓペール缶	1成分形	㊟9030 一般汎用
	オートンシーラー101N-LM	ホワイト	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	オートンシーラー101N	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	ノンブリージングタイプ
	オートンサイディングシーラント	各色	320mlカートリッジ	1成分形	サイディング板用
カネボウ・エヌエスシー (株)	カネボウ P-6000	グレー, ブロンズ, ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	デュアリボン6500	ホワイト, グレー	320mlカートリッジ	1成分形	
関 西 パ テ 化 工 (株)	セルシールPU	グレー, 白	12ℓ	1成分形	
	セルシールPU	グレー, アンバー, 白, アイボリー	4.8ℓセット	1:3	
	セルシールPU	グレー, アンバー, 白, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
コ ニ シ (株)	ボンドUシール	グレー, ブロンズ, アイボリー, ホワイト	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	ボンドウレタンコーク	グレー, ホワイト, アンバー, アイボリー	320mlカートリッジ	1成分形	
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール980	グレー, ホワイト, ベージュ, アンバー	6ℓセット トナー300g	1:2.9:(0.15)	㊟8020
	ペンギンシール970	ブラック, グレー	12ℓセット	1:1	
	ペンギンシール955 (ガードワン)	グレー, ホワイト, アンバー, ベージュ	14ℓ 320mlカートリッジ	1成分形	
三 洋 工 業 (株)	スリーウレッチ103	グレー, ホワイト, アンバー, アイボリー	4.6ℓセット	1:3	㊟8020
	スリーウレッチC320	グレー, アイボリー, ホワイト, アンバー, 他	320mlカートリッジ	1成分形	
サンライズメイセイ (株)	SRシールU31		7.1ℓセット	1:3	
	SRシールU73		320mlカートリッジ	1成分形	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーU	グレー, ホワイト, アイボリー, ブラウン	320mlカートリッジ	1成分形	
	シャープシーラーU-75	グレー, ホワイト, アイボリー, ブラウン	6.8ℓセット	1:2	㊟8020
			6ℓセット	1:3	
昭 石 化 工 (株)	ユーゼット103	グレー, ホワイト, アイボリー, アンバー	320mlカートリッジ	1成分形	
	ユーゼット103	グレー, ホワイトアイボリー, ベージュ, ダークブラウン, アンバー	8ℓセット 4ℓセット	1:3	㊟8020
(株) ス リ ー ボ ン ド	PANDO412A	グレー	1/3ℓカートリッジ	1成分形	
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラー U-1	ホワイト, グレー, アイボリー, ダークブラウン	320mlカートリッジ	1成分形	
	セカイチョーシーラー PU-213	グレー, アイボリー, ダークブラウン, ニューホワイト, 黒	6ℓセット 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊟8020
セ メ ダ イ ン (株)	S-750	ホワイト, アイボリー, ブロンズ, アンバー, グレー, ブラック	6ℓセット	1:3	㊟8020
	S-700M	ホワイト, グレー, アンバー, ブラック, アイボリー	333mlカートリッジ	1成分形	
大 日 化 成 (株)	サンシーラーU-13	白, グレー, アイボリー, ブラウン	5.8ℓセット	1:3	㊟8020
	スカイシールU	白, グレー, アイボリー, ブラウン	1/3カートリッジ	1成分形	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混合比	備 考
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-300	ホワイト, グレー, アンバー, アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
	アークシール S-303LM	ホワイト, グレー	320mℓカートリッジ	1成分形	低モジュラス
テ イ パ 化 工 (株)	ボニーシーラーU-2000	グレー, ブラウン, アイボリー, ブラック	7ℓセット	1:2	㊞8020
	ボニーシーラーU-3000	グレー, ブラウン, アイボリー, ブラック	6ℓセット	1:3	㊞8020
	ボニーシーラーU-8000	グレー, ホワイト, アイボリー, アンバー	1000mℓカートリッジ 320mℓカートリッジ	1成分形	
(株) 東 亜 応 用 化 工	エポコールU-3	グレー, ブロンズ, 黒, 白, アイボリー	6ℓセット	1:3	
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラーハイレタン	グレー, ホワイト, アンバー, アイボリー, ブラック	320mℓカートリッジ	1成分形	特注色
	ウレタンジャンボ	グレー, ホワイト, アンバー, アイボリー	1000mℓカートリッジ	1成分形	特注色
日 興 化 学 工 業 (株)	ニッシーラーウレタン	白, グレー, アンバー, ブロンズ, 黒	5ℓセット	1:3	
日 東 電 気 工 業 (株)	ニトシール A2100	グレーほか	7ℓセット	1:8	
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニットーコーク200U	グレーほか4色	4.3ℓセット	1:3	
	ニットーウレタン	グレーほか4色	320mℓカートリッジ	1成分形	
(株) 日 本 化 学 研 究 所	ニッカウレタイトシーラー	グレー, ホワイト, ブラック	6ℓセット	1:2 1:3	
日 本 シ ー カ (株)	シーカフレックス1a	グレー, 白, ダークアンバー, ベージュ, 黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	
	シーカフレックス15LM	グレー, 白	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ 12.5ℓペール缶	1成分形	低モジュラス
	シーカフレックス11FC	グレー, 白, 黒	320mℓカートリッジ 400mℓモノ・ソーセージ	1成分形	速乾型
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNo200	グレー, ダークブラウン, ブラック, クリームホワイト	7ℓセット・ペール缶 3.5ℓセット	1:3:(0.1)	㊞8020
	ファインシーラーNo20	クリームホワイト, グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3:(0.1)	A.L.C用
	ファインシーラーNo200水路用	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo2000	グレー	7ℓセット・ペール缶	1:3	土木用
	ファインシーラーNo201	グレー, ダークブラウン, ホワイト	320mℓカートリッジ	1成分形	
(株) ノ ー ベ ル 樹 脂 化 学	ニューコーク#401	グレー, 各色	6ℓセット	1:3	㊞8020 土木用, 建築用
(株) 服 部 商 店	サンシール#701	グレー, ホワイト, アイボリー, ダークブラウン	1/3カートリッジ	1成分形	
	サンシール#903	グレー, ホワイト, アイボリー, アンバー, ダークブラウン	7.5ℓセット, 4ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊞8020
	サンシールAU	ホワイト, グレー, ダークブラウン	7.0ℓセット	1:9.75:(0.25)	A.L.C専用
日 立 化 成 ポ リ マ ー (株)	ハイボン5000	グレー, ダークグレー, ブロンズ, オフホワイト, ブラック	6ℓセット	1:3:(0.15)	㊞8020
	ハイボン5100	グレー, ホワイト	320mℓカートリッジ	1成分形	
保 土 谷 建 材 工 業 (株)	ミリオネートNS-III	グレー, ホワイト, ブラウン, アイボリー, ブラック	6ℓセット	1:2.9:(0.1)	㊞8020
	ミリオネートシーラー	グレー, ホワイト, ブラウン, アイボリー	320mℓカートリッジ	1成分形	
三 星 産 業 (株)	三星シールAU	グレー, ブロンズ, ホワイト, ベージュ, ブラック	6ℓセット	1:3	㊞8020
ヤ マ ウ チ (株)	トップシーラー#U2	グレー, 白	6ℓセット	1:3	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	混 合 比	備 考
横 浜 ゴ ム (株)	ハマタイトUH-30	アイボリー・ホワイト、グレー、 ダークブラウン、ブラック、 ベージュ	6ℓセット	1:3:(0.1)	㊟8020
	ハマタイトシールエース	ホワイト、グレー、ダークブ ラウン、ベージュ	320mℓカートリッジ 12ℓペール缶	1成分形	

* () 内はカラーマスター

アクリル系シーリング材・SBR系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P-4000	ホワイト、グレー	18ℓ	㊟7020
	デュアリボン4000	ホワイト、グレー	320mℓカートリッジ	
関 西 バ テ 化 工 (株)	ハイトコーク	白、アイボリー、アンバー、グ レー	18ℓ 333mℓカートリッジ	
	ハイトコークボンド	白、アイボリー、グレー、アン バー、木色地各色	500g	
コ ニ シ (株)	ボンドアクリルコーク	ホワイト、アイボリー、グレ ー	17.4ℓ 330mℓカートリッジ	㊟7020 (缶タイプのみ)
	ボンドコークホワイト	ホワイト	320mℓカートリッジ	
	ボンドコークアイボリー	アイボリー	320mℓカートリッジ	
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール1250	ホワイト	333mℓカートリッジ 340mℓチューブ 18ℓ	
三 洋 工 業 (株)	スリーラント	ホワイト	18ℓ 333mℓカートリッジ 500ccチューブ 1000ccカートリッジ	㊟7020
サンライズメイセイ (株)	S RシールY60A	白、グレー	17ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーA	ホワイト、グレー	17ℓ 330mℓカートリッジ	㊟7020
昭 石 化 工 (株)	アクリルエース	ホワイト	18ℓ 330mℓカートリッジ	
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラーEA	ホワイト	17ℓ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEA カートリッジ	ホワイト	340mℓカートリッジ	㊟7020
	セカイチョーシーラーEA チューブ	ホワイト	500gチューブ	
セ メ ダ イ ン (株)	メジシールS-10 S-20	ホワイト	18ℓ	S-10 一般用 S-20 厳寒用
	メジシール	ホワイト	333mℓカートリッジ	
大 日 化 成 (株)	サンシーラーA	白、グレー	17ℓ	
	サンシーラーAK	白、グレー	1/3カートリッジ	
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-500	ホワイト、グレー、アイボリー	333mℓカートリッジ	
		ホワイト	18ℓ缶	
	アクリルコークジャンボS	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊟7020
	アクリルコークジャンボL	ホワイト	900mℓカートリッジ	㊟7020
	コークボンド	ホワイト、アイボリー、ニュ ーベージュ、ジュラク*、ベニ ヤ*、ニス*	500gチューブ	*は特注色
テ イ バ 化 工 (株)	アクリルコーク A-100	ホワイト	330mℓカートリッジ 17ℓ	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラー#2000	ホホワイト, グレー, アイボリー	17 ℓ 330mℓカートリッジ 500gチューブ	㊦7020
	アクリルジャンボ	ホホワイト, グレー	1.4kg ジャンボカートリッジ	㊦7020 特注色
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	エラスコーク	ホホワイト, グレー, アンバー	17 ℓ 330mℓカートリッジ 330mℓチューブ	㊦7020W-15 凍結防止品
	エラスコークブリット	ホホワイト	700mℓフィルムパック 350mℓフィルムパック	㊦7020
(株) 日 本 化 学 研 究 所	ニッカシールA	白	17 ℓ	ALC, PC 専用
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNa1000	ホホワイト, グレー	17 ℓ缶	
(株) ノーベル樹脂化学	ニューコーク#301	グレー, 白	18 ℓ 330mℓカートリッジ	㊦7020
(株) 服 部 商 店	サンシール#5001	ホホワイト, グレー, アイボリー	1/3ℓカートリッジ 17 ℓ	㊦7020
三 星 産 業 (株)	三星シールAC	ホホワイト, グレー, ブロンズ	17 ℓ 333mℓカートリッジ	㊦7020
ヤ マ ウ チ (株)	トップシーラー #5000 #5000N	白, グレー	17 ℓ 330mℓカートリッジ	㊦7020 N : 凍結防止品

ブチルゴム系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
カネボウ・エヌエスシー(株)	カネボウ P-3000	グレー	18 ℓ	
	デュアリボン3000	グレー	320mℓカートリッジ	
関 西 パ テ 化 工 (株)	セルシールB	グレー, 新茶, 黒	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
コ ニ シ (株)	ボンドシールパテ	グレー	18 ℓ	
	ボンドブチコール	グレー, 新茶, 赤茶, 青	330mℓカートリッジ	
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール850	グレー	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
三 洋 工 業 (株)	ブチラー	グレー, 新茶, ブラウン, ブルー	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
サンライズメイセイ (株)	SRコーキングR-40	グレー	18 ℓ 320mℓカートリッジ	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーB	グレー, ホホワイト, ブラック, ブラウン	17 ℓ 330mℓカートリッジ	
住 友 ス リ ー エ ム (株)	リボンシール	グレー	300mℓカートリッジ	
世 界 長 (株)	セカイチョーシーラーRB	グレー, アルミグレー, ホワ イト	320mℓカートリッジ 18 ℓ	
セ メ ダ イ ン (株)	ブチルシール S-620	グレー	18 ℓ 333mℓカートリッジ	
大 日 化 成 (株)	サンシーラーB	グレー	17 ℓ	
	サンシーラーBK	グレー, ブラウン, 黒	1/3カートリッジ	
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-600	ホホワイト, グレー, アルミ*, シンチャ*, レンガ*	333mℓカートリッジ	*は特注色
テ イ パ 化 工 (株)	ブチルコーク B-100	グレー	330mℓカートリッジ 18 ℓ	
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラー#3000	グレー, ホホワイト, ブラウン, シルバー, ブルー, グリーン, アイボリー, ブラック	330mℓカートリッジ	
日 興 化 学 工 業 (株)	ブレンシール	グレー, 黒	1/3カートリッジ 17 ℓ	

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニューゴムコーキング	グレー, シルバー, 青, 深茶, れんが	330mlカートリッジ	
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインシーラーNa150	グレー	18ℓ缶 330mlカートリッジ	
(株) ノーベル樹脂化学	ニューコーク#201	グレー, 各色	18ℓ 330mlカートリッジ	土木用, 防水用
(株) 服 部 商 店	サンシール#601	グレー, 新茶, レンガ, 青	1/3カートリッジ 17ℓ	
早 川 ゴ ム (株)	ミケロンコーク	黒, グレー	330mlカートリッジ 16ℓ 330mlチューブ	
日 立 化 成 ポ リ マ ー (株)	ハイボン310	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
三 星 産 業 (株)	三星シールブチル	灰, 新茶, 赤, 青	17ℓ (灰) 333mlカートリッジ	
ヤ マ ウ チ (株)	トップシーラー#30	グレー, 黒, 茶ほか	18ℓ 330mlカートリッジほか	用途別多品種 取揃

油 性 コ ー キ ン グ 材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
(株) エービーシー商会	ABCコーキング	グレー	18ℓ	
関 西 パ テ 化 工 (株)	Kコーク	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ 1kgチューブ 500gチューブ	㊟
コ ニ シ (株)	ボンド油性コーク	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ	
	ボンドコーキング	グレー, 白	310mlカートリッジ	
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	ペンギンシール750	グレー	333mlカートリッジ 18ℓ	㊟
三 洋 工 業 (株)	スリーコーキング	グレー	18ℓ 330mlカートリッジ 800mlチューブ	㊟
サンライズメイセイ (株)	S Rシール B20G	グレー	17ℓ 670mlチューブ 333mlチューブ 320mlカートリッジ	
シャープ化学工業 (株)	シャープシーラーP	グレー, ホワイト, ブラウン	17ℓ 330mlカートリッジ 288gチューブ 575mlチューブ	㊟
昭 石 化 工 (株)	エバーシール	グレー	18ℓ 600mlチューブ	㊟
世 界 長 (株)	ケミコーク	グレー	320mlカートリッジ 18ℓ	㊟
セ メ ダ イ ン (株)	ポリコーク	グレー	18ℓ 333mlカートリッジ	㊟
大 日 化 成 (株)	サンコーク	グレー	17ℓ	
	サンコークK	グレー, ブラウン	1/3ℓカートリッジ	
(株) タ イ ル メ ン ト	アークシール S-700	グレー	320mlカートリッジ	
テ イ パ 化 工 (株)	グレインコート	グレー	330mlカートリッジ 18ℓ	㊟
(株) 東 亜 応 用 化 工	ポリシール#100	グレー, ブロンズ, 白	18ℓ入 330mlカートリッジ	㊟
(株) 東 郊 産 業	ハイシーラーハイコーク	グレー	17ℓ 330mlカートリッジ 500gチューブ 1kgチューブ	㊟

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	ニットーコーク#100G	グレー, ホワイト	17ℓ 330mℓカートリッジ	
(株) 日 本 化 学 研 究 所	ニッカシール	グレー	18ℓ	
	ニッカシールカートリッジ	グレー	400mℓカートリッジ	
日 本 添 加 剤 工 業 (株)	ファインコーク	グレー	16.5ℓ缶 300mℓカートリッジ	
(株) ノーベル樹脂化学	ニューコーク#101	グレー	18ℓ 330mℓカートリッジ	㊦
(株) 服 部 商 店	サンシール#101	グレー, 新茶, レンガ, 青	1/3カートリッジ 17ℓ	㊦
三 星 産 業 (株)	三星コーキン	グレー	18ℓ 800mℓチューブ 500mℓチューブ 360mℓカートリッジ	

新 基 材

変成ポリサルファイド系シーリング材

会 社 名	商 品 名	色	容 量 ・ 荷 姿	備 考
三 洋 工 業 (株)	スリーコールC-320	グレー, ホワイト	320mℓカートリッジ	
セ メ ダ イ ン (株)	ポリシール1 (ワン)	グレー, ホワイト	4ℓペール缶	1成分形
日 東 ポ リ マ ー 工 業 (株)	パーマシール	ホワイト, アイボリー, グレー, ブラック, アンバー	330mℓカートリッジ	1成分形

- 屋 上 防 水 工 事
- 補 修, 改 修 工 事
- シ ー リ ン グ 工 事
- ラ イ ニ ン グ 工 事

責 任 施 工

- 防水及補修全般
結露防止・改修工事
- 赤外線建物診断
- 漏水現場診断・施工設計

日本シーリング工業事団体連合会会員
 全日アスファルト防水事業協同組合会員
 日本樹脂施工協会会員
 サンスター会会員
 リフリート工法普及会会員
 TVS赤外線建物診断協会会員
 (広島県知事許可般-60第4809)



株式会社サンゼオン

〒733 広島市西区中広町3丁目17-16
 TEL 082-291-1631(代) FAX 082-291-1739



実績と 信頼のシーリング材

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

ポリサルファイド系シーリング材

PS 2000

JIS-A-5758 8020認定品

ボニーシーラー

ポリウレタン系シーリング材

U 3000

JIS-A-5758 9030認定品

ボニーシーラー

変成シリコン系シーリング材

MS 3000

エポセツト

JIS-A-6024規格合格品

エポキシ系注入剤

RH 200D

㊤ テイパ化工株式会社

本社 〒533 大阪市東淀川区下新庄3-11-28

TEL 大阪 (06) 328-1118 (代表)

東京営業所 〒105 東京都港区新橋6-10-3 (遠江ビル)

TEL 東京 (03) 431-9357 (代表)



ダブミ・フェーズⅢビル
(クアラルンプール・マレーシア)

シーリング工事

ビル用改装サッシ工事
店舗の企画・設計・施工

R のマークは、
理建工業
のマークです。

建設大臣許可番号(般-60)第9923号

一級建築士事務所 (知事登録第20035号)

理建工業株式会社

本社 東京都墨田区太平4丁目22番4号

☎03(622)4081(代表) FAX03(622)4779

横浜営業所 横浜市西区岡野1丁目15番7号

(店装部) ☎045(313)1371(代表)

昭和63年度 日本シーリング工業会役員(候補)

※なお、5月12日の第25回通常総会に当案が上程される予定である。



委員会構成表

	(委員長)	(副委員長)
総務委員会	東レチオコール(株)	コニシ(株)
技術委員会	横浜ゴム(株)	サンスター技研(株)
		カネボウ・エヌエスシー(株)
		信越化学工業(株)
広報委員会	日立化成ポリマー(株)	カネボウ・エヌエスシー(株)
調査委員会	世界長(株)	横浜ゴム(株)
検定委員会	セメダイン(株)	トーレ・シリコーン(株)
		三洋工業(株)

分科会構成表

機能別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○弾性系1成分形分科会	セメダイン(株)	信越化学工業(株)
○弾性系2成分形分科会	サンスター技研(株)	横浜ゴム(株)
○非弾性系1成分形分科会	世界長(株)	日東ポリマー工業(株)

基材別分科会

	(リーダー)	(サブリーダー)
○シリコーン分科会	信越化学工業(株)	トーレ・シリコーン(株)
○変成シリコーン分科会	横浜ゴム(株)	サンスター技研(株)
○ポリサルファイド分科会	コニシ(株)	日本添加剤工業(株)
○ポリウレタン・ アクリルウレタン分科会	サンスター技研(株)	保土谷建材工業(株)
○アクリル・SBR分科会	日東ポリマー工業(株)	カネボウ・エヌエスシー(株)
○ブチルゴム・油性分科会	セメダイン(株)	昭石化工(株)
○変成ポリサルファイド分科会	三洋工業(株)	セメダイン(株)

日本シーリング工業会

会 員 名 簿

事務局所在地

〒 101 東京都千代田区外神田2-2-17 共同ビル 電話 03 (255) 2841

1. 正 会 員 42

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
アサヒボンド工業(株)	東京都板橋区大谷口北町3-7	173	(03) 972 4929
(株) エービーシー商会	〃 千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7111
オート化学工業(株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー(株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727) 28 4701
関西パテ化工(株)	〃 東大阪市日下町3-7-36	579	(0729) 82 2131
コニシ(株)	大阪市東区平野町2-10 沢の鶴ビル	541	(06) 228 2970
サンスター技研(株)	大阪府高槻市明田町7-1	569	(0726) 81 0351
三洋工業(株)	東京都江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 3452
サンライズメイセイ(株)	大阪府堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722) 44 7500
シャープ化学工業(株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722) 68 0321
昭石化工(株)	東京都渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2005
信越化学工業(株)	〃 千代田区神田鍛冶町3-6-7 フジトシビル5 F	101	(03) 256 3651
住友スリーエム(株)	〃 世田谷区玉川台2-33-1	158	(03) 709 8111
(株) スリーボンド	〃 八王子市狭間町1456	193	(0426) 61 1333
世界長(株)	兵庫県西宮市津門大箇町3-39	663	(0798) 26 5724
セメダイン(株)	東京都品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1341
大日化成(株)	大阪府門真市末広町8-13	571	(06) 909 6755
(株) タイルメント	名古屋市中区村宿跡町1-58	453	(052) 412 7321
武田薬品工業(株)	大阪市東区修道町2-27	541	(06) 204 2480
テイパ化工(株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株) 東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877) 46 2185
(株) 東郊産業	愛知県春日井市森山田町7	486	(0568) 33 5118
東芝シリコン(株)	東京都港区六本木6-2-31 東日ビル	106	(03) 479 3501
トーレ・シリコン(株)	〃 中央区日本橋室町2-3-16 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール(株)	〃 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845
日興化学工業(株)	〃 江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電気工業(株)	〃 千代田区内神田1-1-7 東大手ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業(株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
(株) 日本化学研究所	東京都中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ(株)	〃 港区新橋4-2-1 第29森ビル	105	(03) 436 4131
日本添加剤工業(株)	〃 板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
日本フランチール(株)	〃 港区赤坂1-9-20 第16興和ビル別館	107	(03) 587 4711
(株) ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482) 23 4511
バイエル合成シリコン(株)	東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル	105	(03) 434 4141
(株) 服部商店(淀支店)	京都市伏見区淀美豆町705	612	(075) 631 3128
早川ゴム(株)	東京都江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー(株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501

保土谷建材工業(株)	東京都港区浜松町1-18-14 スバックスビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学(株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 592 4111
三星産業(株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961
ヤマウチ(株)	大阪府枚方市招提田近2-7	573	(0720) 56 1131
横浜ゴム(株)	神奈川県平塚市中原上宿900	254	(0463) 31 3002

(1) 北海道支部 13

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	札幌市中央区南三条西13丁目 柴田ビル	060	(011) 231 7904
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011) 261 8271
コニシ(株)	〃 西区琴似一条5丁目 札幌松井ビル	063	(011) 612 0211
サンスター技研(株)	〃 中央区北一条西4丁目 札幌東邦生命ビル	060	(011) 271 0392
三洋工業(株)	〃 白石区南郷通21丁目南5-31	003	(011) 864 5155
信越化学工業(株)	〃 中央区北一条西5丁目 北一条ビル	060	(011) 221 6471
世界長(株)	仙台市小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(022) 295 7051
セメダイン(株)	札幌市中央区北一条東9丁目	060	(011) 261 1471
トーレ・シリコン(株)	〃 中央区北三条西3丁目 北三条三井ビル	060	(011) 231 5281
日本シーカ(株)	〃 中央区北二条西2丁目 加森ビル	060	(011) 221 6331
日本添加剤工業(株)	〃 中央区北一条東9丁目 潮物産(株)内	060	(011) 261 8271
三星産業(株)	〃 中央区南五条西24丁目	061	(011) 551 3781
ヨコハマゴム工業品北海道販売(株)	〃 中央区大通東7丁目	060	(011) 241 5111

(2) 仙台支部 12

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
コニシ(株)	仙台市卸町1-6-15 卸町セントラルビル	983	(022) 235 3178
サンスター技研(株)	〃 本町1-9-6 利根川ビル	980	(022) 261 3391
三洋工業(株)	〃 扇町5-9-1	983	(022) 232 5311
信越化学工業(株)	〃 本町2-10-33 第2オフィスビル	980	(022) 264 2777
昭石化工(株)	〃 一番町4-1-1 仙台セントラルビル 昭和シェル石油(株)内	980	(022) 267 5319
(株) スリーボンド	〃 六丁の目西町8-8	983	(022) 287 2905
世界長(株)	〃 小田原弓ノ町31 青葉商工第一ビル	983	(022) 295 7051
セメダイン(株)	〃 卸町2-12-14	983	(022) 284 6167
トーレ・シリコン(株)	〃 一番町2-3-20 第3日本オフィスビル	980	(022) 227 9528
日立化成ポリマー(株)	〃 一番町1-5-5 日立仙台別館	980	(022) 227 8665
三星産業(株)	〃 本町1-3-20	980	(022) 262 5201
ヨコハマゴム工業品東北販売(株)	〃 萩野町3-1-8	983	(022) 284 0437

(3) 東京支部 29

会社名	所在地	郵便番号	電話番号
(株) エービーシー商会	東京都千代田区永田町2-12-14	100	(03) 507 7240
オート化学工業(株)	〃 港区西新橋2-23-1 第3東洋海事ビル	105	(03) 437 3482
カネボウ・エヌエスシー(株)	〃 千代田区平河町2-8-2 第31藤ビル	102	(03) 263 4701
コニシ(株)	〃 中央区日本橋室町4-5 近三ビル	103	(03) 245 6941
サンスター技研(株)	〃 港区三田1-3-36	108	(03) 453 9301
三洋工業(株)	〃 江東区亀戸6-20-7	136	(03) 685 2101
サンライズメイセイ(株)	横浜市中区三枚町299-5	221	(045) 383 4651
シャープ化学工業(株)	東京都江東区東陽5-26-1 小川ビル	135	(03) 649 8103
昭石化工(株)	〃 渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2005
信越化学工業(株)	〃 千代田区大手町2-6-1 朝日東海ビル	100	(03) 246 5091
世界長(株)	〃 渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル	150	(03) 462 5161
セメダイン(株)	〃 品川区東五反田4-5-9	141	(03) 442 1311
テイパ化工(株)	〃 港区新橋6-10-3 遠江ビル	105	(03) 431 9357
トーレ・シリコン(株)	〃 中央区日本橋室町2-3-16 三井ビル6号館	103	(03) 246 1641
東レチオコール(株)	〃 中央区日本橋本石町3-3-16 日本橋室町ビル	103	(03) 241 1845

日興化学工業(株)	東京都江東区白河4-9-5	135	(03) 642 7155
日東電気工業(株)	〃 千代田区内神田1-1-7 東大手ビル	101	(03) 295 4441
日東ポリマー工業(株)	〃 千代田区外神田2-2-17 共同ビル	101	(03) 255 6338
(株)日本化学研究所	〃 中央区京橋1-6-13	104	(03) 564 5161
日本シーカ(株)	〃 港区新橋4-2-1 第29森ビル	105	(03) 436 6031
日本添加剤工業(株)	〃 板橋区前野町1-21-5	174	(03) 965 5731
(株)ノーベル樹脂化学	埼玉県川口市東領家4-19-4	332	(0482)23 4511
早川ゴム(株)	東京都江東区佐賀1-16-10	135	(03) 642 9434
日立化成ポリマー(株)	〃 千代田区内神田1-13-7 四国ビル	101	(03) 294 4501
保土谷建材工業(株)	〃 港区浜松町1-18-14 スバックビル	105	(03) 437 9471
三井東圧化学(株)	〃 千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル	100	(03) 593 7905
三星産業(株)	〃 千代田区神田小川町3-28 三東ビル	101	(03) 292 1961
横浜ゴム(株)	〃 港区新橋5-36-11	105	(03) 432 7111

(4) 名古屋支部 18

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
カネボウ・エヌエスシー(株)	名古屋市中村区名駅4-17-19 鐘紡ビル	450	(052)583 8606
コニシ(株)	〃 西区菊井2-6-5	451	(052)563 6551
サンスター技研(株)	〃 千種区萱場町2-4-7 サンスタービル	464	(052)722 6815
三洋工業(株)	〃 緑区鳴海字母呂後26	458	(052)623 0061
サンライズメイセイ(株)	〃 名東区一社3-90 チサンビル202号	465	(052)703 2061
昭石化工(株)	〃 中区丸の内1-17-19 長銀ビル	460	(052)231 6568
信越化学工業(株)	〃 中村区名駅4-27-23 新名古屋三井ビル東館 4 F	450	(052)581 6511
世界長(株)	〃 東区矢田町8-20	461	(052)722 3301
セメダイン(株)	〃 千種区井上町34	464	(052)781 3166
テイパ化工(株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株)東郊産業	愛知県春日井市森田町7	486	(0568)33 5118
トーレ・シリコン(株)	名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル 8 F	450	(052)563 3951
日本シーカ(株)	〃 千種区内山3-10-17 今池セントラルビル	464	(052)733 7353
日本添加剤工業(株)	〃 中村区太閤通り2-40 フタバビル	453	(052)451 8632
(株)服部商店	〃 中区丸の内2-18-1	460	(052)221 9461
日立化成ポリマー(株)	〃 中村区名駅南1-24-21 名古屋三井ビル別館 5 F	450	(052)581 2967
保土谷建材工業(株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル	460	(052)231 7225
横浜ゴム(株)	〃 中区錦1-17-13 名興ビル 3 F	460	(052)231 4321

(5) 大阪支部 23

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(株)エービーシー商会	大阪市淀川区西中島4-2-9	532	(06) 305 1181
カネボウ・エヌエスシー(株)	大阪府箕面市船場西1-6-5 カネボウ千里ビル	562	(0727)28 4701
コニシ(株)	大阪市東区平野町2-10 沢の鶴ビル	541	(06) 228 2961
サンスター技研(株)	大阪府高槻市川西町1-35-8	569	(0726)84 0600
サンライズメイセイ(株)	〃 堺市浜寺石津町中1-4-7	590	(0722)44 7500
シャープ化学工業(株)	〃 堺市築港浜寺西町13-12	591	(0722)68 0321
昭石化工(株)	大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル	530	(06) 341 6395
信越化学工業(株)	〃 北区小松原町27 富国生命ビル	530	(06) 313 4821
世界長(株)	兵庫県西宮市津門大箇町8-39	663	(0798)26 5724
セメダイン(株)	大阪市南区島之内1-15-14	543	(06) 251 3555
大日化成(株)	大阪府門真市末広町8-13	571	(06) 909 6755
武田薬品工業(株)	大阪市東区修道町2-27	541	(06) 204 2481
テイパ化工(株)	〃 東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
(株)東亜応用化工	香川県坂出市室町1-3-32	762	(0877)46 2185
トーレ・シリコン(株)	大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナル 9 F	530	(06) 376 1251
日東ポリマー工業(株)	兵庫県尼崎市大浜町2-5-1	660	(06) 418 7421
日本シーカ(株)	大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業(株)	〃 西区江戸堀1-5-13 日々会館ビル	550	(06) 443 6231

(株) 服 部 商 店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075) 631 3128
日立化成ポリマー (株)	大阪市東区北浜4-6 日生日立ビル	541	(06) 202 6341
保土谷建材工業 (株)	〃 東区高麗橋5-45	541	(06) 203 4651
ヤマウチ (株)	大阪府枚方市楠葉花園町15-3 住友銀行楠葉支店 2 F	573	(0720) 55 5326
横浜ゴム (株)	大阪市北区堂島1-5-17 堂島グランドビル	530	(06) 345 1425

(6) 広島支部 14

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(株) エービーシー 商会	広島市中区鉄砲町1-20 ウエノヤビル 3 号館	730	(082) 221 3096
カネボウ・エヌエスシー (株)	〃 中区大手町3-5-11	730	(082) 249 6615
コ ニ シ (株)	〃 西区上天満町3-14 渋谷ビル	733	(082) 294 8811
サンスター技研 (株)	〃 西区商工センタ-5-15-25	733	(082) 277 8444
三 洋 工 業 (株)	〃 東区曙町4-50	730	(082) 261 9321
サンライズメイセイ (株)	〃 西区三篠町3-20-19 中川ビル 1 F	733	(082) 230 0019
信越化学工業 (株)	〃 中区中町7-32 日本生命広島ビル	730	(082) 248 3931
世 界 長 (株)	〃 中区江波本町15-33	730	(082) 295 0371
セメダイン (株)	〃 中区鶴見町12-13 昇和ビル	730	(082) 249 0941
トーレ・シリコン (株)	〃 中区大手町2-7-10 広島三井ビル	730	(082) 249 7811
日本シーカ (株)	大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル	530	(06) 315 7851
日本添加剤工業 (株)	〃 西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
(株) 服 部 商 店	京都市伏見区淀美豆町705	613	(075) 631 3128
横浜ゴム (株)	広島市中区鉄砲町5-16 広島サンケイビル	730	(082) 227 8105

(7) 福岡支部 14

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(株) エービーシー 商会	福岡市博多区博多駅前3-10-24 藤井ビル	812	(092) 451 5541
カネボウ・エヌエスシー (株)	〃 中央区大手門3-7-9	810	(092) 752 0024
コ ニ シ (株)	〃 南区清水3-24-19 日吉ビル	815	(092) 551 1761
サンスター技研 (株)	〃 博多区店屋町8-24 九勸日産ビル	812	(092) 281 3581
三 洋 工 業 (株)	〃 博多区大字板付866	816	(092) 581 3438
サンライズメイセイ (株)	〃 博多区博多駅前4-26-11 鐘芳ビル	812	(092) 472 2143
昭 石 化 工 (株)	〃 博多区綱場町2-2 福岡第 1 ビル	812	(092) 291 0008
信越シーラント (株)	〃 中央区天神1-12-20 日之出東京海上ビル	810	(092) 781 2782
世 界 長 (株)	〃 博多区博多駅前2-8-26 第 3 白水駅東ビル	812	(092) 474 5582
セメダイン (株)	〃 中央区大手門1-9-22 大手門ビル	810	(092) 741 7188
テイパ化工 (株)	大阪市東淀川区下新庄3-11-28	533	(06) 328 1118
トーレ・シリコン (株)	福岡市中央区天神2-13-7 福岡長銀ビル	810	(092) 712 6158
日本シーカ (株)	〃 博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多	812	(092) 472 1684
日本添加剤工業 (株)	大阪市西区江戸堀1-5-13 大阪新日本会館ビル	550	(06) 443 6231
日立化成ポリマー (株)	福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル	810	(092) 712 4243
保土谷建材工業 (株)	〃 中央区大名2-9-25 わこうビル	810	(092) 751 3506
ヨコハマゴム工業品九州販売 (株)	〃 中央区薬院1-7-4	810	(092) 711 8541

2. 賛 助 会 員

(1) 日本シーリング工業会賛助会員 22

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
旭 化 成 工 業 (株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
(株) 井上製作所大阪支店	大阪市淀川区三津屋南3-6-20	532	(06) 301 2637
(株) 小 野 田	東京都台東区上野5-15-14 御徒町CYビル 8 F	110	(03) 837 0912
化研マテリアル (株)	〃 港区西新橋3-8-1 第 2 鈴丸ビル	105	(03) 436 3011
鐘淵化学工業 (株)	〃 港区元赤坂1-3-12 赤坂センタービル	107	(03) 479 9675
(株) 菅野製作所	〃 北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
光 栄 商 事 (株)	〃 練馬区上石神井1-20-6	177	(03) 928 5811
(株) 芝浦製作所機工事業部	〃 港区赤坂1-1-12 溜池明産ビル	107	(03) 586 2113

(株) 昭 和 丸 筒	大阪市北区堂島浜1-4-19 日土地堂島ビル	530	(06) 345 3751
白 石 工 業 (株)	東京都中央区日本橋茅場町1-11-3 岡本ビル	103	(03) 639 5066
(株) 新 和 商 会	〃 荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
大 進 商 工 (株)	〃 北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
大 和 高 分 子 工 業 (株)	〃 千代田区平河町2-4-16 平河中央ビル	102	(03) 230 4311
タ カ ビ シ 化 学 (株)	大阪市東区平野町1-29	541	(06) 231 8751
(株) 日本カーテンウォール工業会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
日本バックアップ工業 (株)	〃 中野区中央1-12-9	164	(03) 369 0215
日本ポリウレタン工業 (株)	〃 港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平会館	105	(03) 508 0621
日本触媒化学工業 (株)	〃 港区三田3-11-36 三田日東大ビル	108	(03) 798 7071
野 口 興 産 (株)	〃 練馬区豊玉2-10	176	(03) 994 5601
(株) 野 村 事 務 所	〃 港区西新橋1-1-15 物産ビル別館	105	(03) 502 1466
フ ヨ ー (株)	〃 墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371
ミ キ ス タ 工 業 (株)	〃 中央区日本橋蠣殻町1-33-7	103	(03) 669 9471

(2) 日本シーリング工業会大阪支部賛助会員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
大 阪 御 国 商 事 (株)	茨木市横江2-1-12	567	(0726) 34 8214
鐘 淵 化 学 工 業 (株)	〃 北区中の島3-2-4 朝日新聞ビル	530	(06) 208 5331
鐘 工 業 (株)	〃 都島区高倉町1-11-12	534	(06) 921 4231
岸 田 資 材 工 業 (株)	神戸市兵庫区中道通り5-1-13	652	(078) 575 2953
(株) 旭 栄	大阪市北区天神橋筋1-1-1 中塚ビル354号	530	(06) 354 0356
三 省 物 産 (株)	〃 南区南船場4-1-9	542	(06) 252 5541
白 石 工 業 (株)	兵庫県尼崎市元浜町4-78	660	(06) 417 3131
(株) ジ ャ ビ コ	大阪市北区梅田2-4-9 サンケイビル本館	530	(06) 345 6871
竹 原 化 学 工 業 (株)	〃 北区梅田1-12-17 梅田ビル	530	(06) 343 0591
(株) 野 村 事 務 所	〃 南区南船場4-12-8 関西心斎橋ビル	542	(06) 243 0341
フ ヨ ー (株)	〃 淀川区宮原5-6-10	532	(06) 395 0201
(株) 前 田 精 市 商 店	〃 東区道修町1-17	541	(06) 203 4641
三 国 金 属 工 業 (株)	大阪府豊中市豊南町西4-7-20	561	(06) 332 0251
(株) 宮 崎 商 店	大阪市東区平野町4-7 新杵ビル	541	(06) 231 5891
モ リ シ タ 化 学 産 業 (株)	〃 天王寺区勝山通り1-6-7	543	(06) 771 3929
(株) 山 本 製 作 所	〃 阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 5170
ヨコハマゴム工業品関西販売(株)	〃 西区京町堀1-17-16 スミトー京町堀ビル	550	(06) 446 6701

日本シーリング工事業 団体連合会の歩み

山 本 勇

私たちの団体略称は、日シ工連と呼称いたします。組織形態は全国を七地区にわけ、各地区に地区団体を置き、東京本部において総括運営いたしております。目的は全国会員会社の技術、技能のレベルアップを目指す教育事業の推進と、企業力安定のための団結力の醸成にあります。昭和44年4月に、メーカー団体である日本シーリング工業会（略称日シ工）の施工部会より材工体制の確立を目指し、同工業会の協力のもとに施工業者のみの独立団体を結成誕生させたのが始まりであります。爾来、現今に至るまで、各地区団体を指導し、昭和53年12月、東北地区を包括することで全国組織の体制作りを完了したわけであります。現在は、事業目的達成の目標に邁進中で、材工一体の協調精神をもって、日シ工の援助を得て活動しております。シーリング管理士と防水技能士の確保は、業界発展の基となるべきものと信じておりますので、関連業界皆様の理解とご支援を切にお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

（日本シーリング工事業団体連合会会長）

日本シーリング工事業団体連合会

本 部 〒105 東京都港区浜松町1-11-11 アルファ産業(株)内
電 話 03(432) 5 7 3 5 (代)

“責任施工と保証の確立”

シーリング防水施工の発注は優秀な技術管理（シーリング管理士）
と国家認定技能（防水技能士）を持つ、下記所属団体会員へ。

北海道地区 北海道シーリング工事業協会	近畿地区 関西シーリング工事業協同組合
住 所 〒064 札幌市中央区北2条東2-1 浜野ビル 電 話 011(251)3364	住 所 〒550 大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル 電 話 06(531)8107
東北地区 東北シーリング工事業協会	中国地区 中国シーリング工事業協会
住 所 〒983 仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内 電 話 022(284)6662	住 所 〒733 広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内 電 話 082(291)1631
関東地区 東日本シーリング工事業協同組合	四国地区 四国シーリング工事業協同組合
住 所 〒135 東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル 電 話 03(641)9561	住 所 〒790 松山市二番町4-1-5 愛媛県建築士会館5F 電 話 0899(47)2300
中部地区 中部シーリング工事業協同組合	九州地区 九州シーリング工事業協同組合
住 所 〒460 名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル4F 電 話 052(201)7086	住 所 〒810 福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号 電 話 092(781)5660・5676

日本シーリング工事業団体連合会

会 員 名 簿

本部・支部所在地

事 務 局	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
本 部	東京都港区浜松町1-11-11 アルファ産業(株)内	105	(03) 432 5735
北海道シーリング工事業協会	札幌市中央区北 2 条東2-1	064	(011)251 3364
東北シーリング工事業協会	仙台市扇町1-3-6 (株)丸本工業所内	983	(022)284 6662
東日本シーリング工事業協同組合	東京都江東区深川2-15-23 小泉ビル内	135	(03) 641 9561
中部シーリング工事業連合会協同組合	名古屋市中区丸の内1-2-28 吉村ビル 4 F	451	(052)201 7086
愛知県シーリング工事業協同組合	大阪市西区新町1-8-1 諏訪ビル内	550	(06) 531 8107
関西シーリング工事業協同組合	広島市西区中広町3-17-16 (株)サンゼオン内	733	(082)291 1631
中国シーリング工事業協会	松山市 2 番町4-1-5 愛媛県建築士会館 5 F	790	(0899)47 2300
四国シーリング工事業協同組合	福岡市中央区桜坂2-1-3 荒川ビル21号	812	(092)781 5660
九州シーリング工事業協同組合			

1. 北海道シーリング工事業協会々員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
柏 工 建 (株)	旭川市神楽岡 6 条 3 丁目	078	(0166)65 0121
(株) 片 岡 コ ー キ ン グ	札幌市西区西野 9 条5-8-3	063	(011)664 1488
(株) カトウシーリング工業	〃 北区屯田 4 条8-1-5	001	(011)772 3377
(株) 北 日 本 コ ー キ ン グ	苫小牧市しらかば町2-4-5	053	(0144)73 4697
(株) 協 栄 シ ー ル	〃 緑町1-24-8	053	(0144)33 6256
熊 谷 興 業 (株)	札幌市北区篠路 9 条3-5-6	002	(011)771 9381
(株) 光 建 シ ー ル	〃 南区川沿1条2-4-7	005	(011)572 0820
(株) 互 建 防 水 工 業	帯広市西10条南11丁目2	080	(0155)25 5776
(株) 札 幌 コ ー キ ン グ	札幌市豊平区月寒東 2 条20丁目	004	(011)851 3782
サ ッ ポ ロ 防 水 工 業 (株)	〃 北区北14条西 1 丁目 磯田ビル	001	(011)736 7486
佐 藤 研 究 所	函館市時任町22-13	040	(0138)51 3586
サ ン 美 工 (株)	旭川市北門町20丁目	070	(0166)52 3309
(株) ス ズ ケ ン 興 業	〃 東光 5 条6-188	078	(0166)31 8902
(株)セントラル・ビル・サービス	釧路市材木町14-28	085	(0154)41 1010
(株) 第一コーキング工業	札幌市白石区菊水 1 条 2 丁目	003	(011)812 9121
第一ブロック建設 (株)	北見市南町1-8-33	090	(0157)23 4155
(株) タ ケ イ チ 工 業	札幌市北区新川593-63	001	(011)764 2884
(株) 中 央 コ ー キ ン グ	〃 豊平区西岡 1 条10-334	062	(011)854 0222
(株) ト ー ケ ン 工 業	砂川市宮川町1-6	073-01	(01255)4 2843
東 邦 興 業 (株)	札幌市北区篠路 7 条6-5-27	002	(011)772 3272
道 北 シ ー ル 工 業 (株)	旭川市豊岡 8 条2-11	078	(0166)34 2845
中 田 工 業 (株)	室蘭市東町2-1-16	050	(0143)43 2220
中 林 防 水 工 業 (株)	帯広市西17条北1-14	080	(0155)35 5511
(株) 日 研	札幌市豊平区平岸 1 条2丁目	062	(011)841 6101
函 館 イ ー シ ー 工 業 (株)	函館市高松町129-29	042	(0138)59 5385
(株) 浜 建	札幌市中央区北 3 条東5-5	060	(011)261 5676
藤 シ ー リ ン グ 工 業 (株)	函館市美原3-40-16	041	(0138)46 2223
フ タ バ 工 業 (株)	札幌市中央区北 2 条東10-15 すずかけビル	060	(011)231 0046
北 星 シ ー ル 工 業 (株)	〃 白石区本通り 6 丁目北28	003	(011)863 5226

(有) 北 斗 美 装 工 業	砂川市西3条北2丁目	073-01	(01255)2 2918
北 洋 コ ー キ ン グ (株)	札幌市白石区中央2条4丁目 勝見コーポ112	003	(011)821 7947
北 海 コ ー キ ン グ (株)	〃 白石区北郷4条6丁目7-12	003	(011)871 0721
北 海 道 サ ン 工 業 (株)	〃 中央区北2条東9丁目	060	(011)251 3648
北 海 道 タイ ホ ー (株)	〃 東区北20条東2-15-41	065	(011)731 6351
北 海 防 水 工 業 (株)	旭川市末広町3条7丁目	071	(0166)57 2163
北 眺 防 水 工 業 (株)	札幌市豊平区北野7条4-1-13	004	(011)882 5987
山 川 工 業 (有)	函館市榎本町14-1	042	(0138)57 1870
(株) ヤ マ ト 工 業	札幌市豊平区御園1条6丁目	062	(011)812 6347

2. 東北シーリング工事業協会々員 35

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(株) 旭 シ ー リ ン グ	宮城県志田郡鹿島台広長字内之浦21-12	989-41	(0229)56 4305
(有) 旭 日 産 業	仙台市下愛子字原4-1	989	(022)392 6122
(有) 旭 防 水 工 業	名取市増田3-2-20	981-12	(022)382 2814
青葉エービーシー建販 (株)	仙台市大町2-15-24	980	(022)265 3051
大 島 金 属 商 事 (株)	〃 名掛丁15-24	980	(022)291 2288
(有) 進建シーリング工業	〃 若林1-10-23	982	(022)286 1423
仙 台 高 分 子 工 業 (株)	〃 青山2-27-9	982	(022)229 5102
中 外 商 工 (株) 東 北 支 店	〃 台原4-7-20	980	(022)271 2171
ト ッ プ 工 業 (株)	〃 新寺3-4-31	980	(022)257 5023
東 北 化 研 工 業 (株)	〃 中倉3-18-16	982	(022)236 1802
(株) 東 北 シ ー ル 工 業	〃 袋原字台93-10	982	(022)241 1269
(株) 久 光 商 会	〃 八木山本町2-32-18	982	(022)229 6560
(有) 丸 伊 工 業 所	泉市南光台南2-11-10	983	(022)252 1971
(株) 丸 本 工 業 所	仙台市扇町1-3-6	983	(022)284 6662
(有) 我 妻 工 業 所	〃 鉤取3-4-13	982	(022)244 5544
郡 山 シ ー リ ン グ (株)	郡山市富久山町久保田字前田40-2	963	(0249)33 4212
(株) 光 信 工 業	いわき市下荒川字刺町32-43	970	(0246)28 1200
(有) 氏 家 樹 脂 防 水 工 業	福島県伊達郡桑折町大字南半田字鍛冶屋沢16	969-16	(0245)82 5056
(株) 郡 山 医 療 機 器 製 作 所	郡山市大町2-16-17	963	(0249)32 1858
紺 野 工 業	いわき市泉町滝尻字泉町58	970-04	(0246)56 0379
(有) タダキシール工業	福島市吉倉字谷地48-1	960	(0245)46 5222
福 島 防 水 (株)	郡山市鳴神1-39	963	(0249)51 5612
(有) 渡 辺 防 水	〃 富田町字下堰1-11	963	(0249)52 0553
イ ト ウ 防 水 工 業 (株)	米沢市城南3-3-10	992	(0238)23 8321
奥 羽 シ ー リ ン グ 工 業	山形市大字沼木121-64	990	(0236)44 0632
(有) 泉 ク リ ー ナ ー	盛岡市神子田9-26	020	(0196)51 4726
小 山 商 店	〃 上堂1-19-9	020-01	(0196)46 9162
(有) 秋田コーキングセンター	秋田市四ッ小屋船場前50-53	010	(0188)39 1297
(有) 環 清 工 業	湯沢市字砂田95-1	012	(01837)2 0038
東 北 化 工 (株)	秋田県鹿角郡小坂町上谷地47-18	017	(018629) 2349
三 国 工 業 (有)	秋田市土崎港相染町中谷地36-6	011	(0188)45 7576
(株) 井 村 工 業	青森市大矢沢字里見502	030	(0177)38 5042
(有) 池 田 防 水 工 業	八戸市新湊1-15-4	031	(0178)31 3246
(有) 興 伸 総 業	青森市三内字里見86-13	030	(0177)82 5800
(有) シ ー リ ン グ タ ナ カ	三沢市大字三沢字下沢20-24	033	(0176)57 1643

3. 東日本シーリング工事業協同組合員 35

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
ア ル フ ァ 産 業 (株)	東京都浜松町1-11-11	105	(03) 432 5735
(有) 石 黒 建 材 社	〃 杉並区阿佐谷北5-12-2	166	(03) 338 0905
(株) 石 田 シ ー ル 工 業	新潟市下場新町20-12	950	(0252)76 5991
伊 藤 建 材 (株)	東京都台東区西浅草2-15-9	111	(03) 842 1431
井 上 建 装 (株)	〃 北区豊島2-20-13	114	(03) 919 9420

内 倉 工 業 (株)	東京都練馬区上石神井4-9-6	177	(03) 928	0386
木 元 工 業 (株)	埼玉県志木市下宗岡4-31-6	353	(0484) 73	8851
協和シーリング工事 (株)	栃木県宇都宮市若草町字宮の関2647-22	320	(0286) 24	7072
(株) 栗 崎 工 業	東京都葛飾区西亀有2-56-6	124	(03) 620	4901
クニ化学防水 (株)	// 中野区中央1-51-6 クニ防水ビル	164	(03) 362	9321
グローリー防水工業 (株)	// 江戸川区春江町2-34-1	132	(03) 678	4512
京 葉 シ ー ル (株)	// 墨田区緑4-13-8	130	(03) 631	0106
光 栄 工 業 (株)	// 練馬区上石神井1-20-5	177	(03) 928	2271
(株) 工 業 技 術 研 究 所	// 文京区本郷2-12-6	113	(03) 811	4421
興 進 工 業 (株)	// 新宿区西新宿8-14-19 小林第2ビル	160	(03) 363	8741
山 栄 興 業 (株)	// 渋谷区恵比寿1-13-10 恵比寿壱番館301	150	(03) 443	3321
三 協 防 水 (株)	// 千代田区内神田3-4-9 上田ビル3 F	101	(03) 251	6476
三 和 工 業 (株)	千葉県市川市相ノ川1-20-20	272-01	(0473) 57	5153
(株) ジ ッ ク ス	東京都渋谷区代々木1-30-1 代々木パークビル	151	(03) 370	0121
シ ー ラ ン ト	// 豊島区東池袋3-5-7 ユニオンビル203号	170	(03) 981	7266
(有) 新 堂	// 杉並区荻窪5-1-14 秋山ビル201	167	(03) 392	8621
清 起 工 業 (株)	// 昭島市玉川町5-15-17	196	(0425) 46	5311
タイガー工業 (株)	// 品川区戸越5-17-13	142	(03) 783	0151
大 栄 建 材 (株)	// 板橋区板橋3-30-5	173	(03) 964	1901
(株) 大 栄 興 業	// 練馬区東大泉5-41-28	178	(03) 925	3106
(有) 泰 成 工 業	長野市青木島町大塚1053-3	381-22	(0262) 86	4290
大 和 興 業 (株)	東京都大田区池上7-30-5	146	(03) 758	0342
高 萩 興 業 (株)	// 江戸川区西小岩5-4-11	133	(03) 650	5261
田 代 工 業 (株)	// 練馬区大泉学園町5-17-23	177	(03) 925	0711
中 央 建 材 工 業 (株)	// 中央区銀座7-14-3 安田松慶ビル	104	(03) 543	8106
東 邦 シ ー ル (株)	// 文京区春日2-1-5	112	(03) 815	3047
東 邦 防 水 総 業 (株)	// 中央区八重洲1-5-8 鳥居ビル	103	(03) 271	0176
(株) 東 邦 レ ジ ナ	// 練馬区中村北2-20-10	176	(03) 926	0007
(株) ト ミ ヨ シ 商 会	// 大田区南馬込5-33-7	143	(03) 775	2203
日本ビソー (株) 外装工事部	// 杉並区方南2-4-6	168	(03) 313	1281
日 本 防 水 工 業 (株)	// 練馬区富士見台4-43-5	177	(03) 998	8721
バシフィック開発建工 (株)	// 港区新橋5-14-2 鈴工ビル2 F	105	(03) 437	0720
平沢コーキング工業 (株)	新潟県長岡市前島町237	940-11	(0258) 23	1529
ピ ル コ ン (株)	東京都文京区千駄木3-42-5	113	(03) 823	6061
北 斗 工 業 (株)	埼玉県上福岡市大字駒林680	356	(0492) 61	2398
細 田 工 業 (株)	東京都港区芝大門2-1-8	105	(03) 432	8731
(株) マ コ ト	// 台東区台東1-6-3 東神ビル	110	(03) 834	6696
マ サ ル 工 業 (株)	// 江東区佐賀1-9-14	135	(03) 643	5911
(株) マツダパラウオータ	// 杉並区高円寺北3-31-15	166	(03) 330	9312
三 矢 興 産 (株)	// 品川区戸越3-11-6	142	(03) 787	0360
(株) 山 形 防 水	// 渋谷区幡ヶ谷2-20-12	151	(03) 377	3481
理 建 工 業 (株)	// 墨田区太平4-22-4	130	(03) 622	4081
瀝 青 建 材 (株)	// 千代田区神田佐久間町2-4	101	(03) 861	2706
レ ミ ン ト ン 工 業 (株)	埼玉県大宮市大和田町1-1500-2	330	(0486) 83	0161
(株) ア ー ト シ ー リ ン グ	東京都渋谷区東2-27-4	150	(03) 406	7535
池 田 防 水 工 業 (株)	// 江戸川区中央3-13-15	132	(03) 655	6770
吉 田 建 設 工 業 (株)	// 港区六本木6-9-12	106	(03) 403	0851
(有) ト ミ タ	// 東久留米市下里7-7-4	203	(0424) 73	9237
永 福 産 業 (株)	// 昭島市昭和町4-11-24	196	(0425) 45	0053
(株) 栄和シーリング工事	// 調布市西つつじヶ丘3-15-3	182	(0424) 88	1654

4. 中部シーリング工事業連合会々員 66

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(有) あいさんブルーフ	津島市申塚町1-89	496	(0567) 24 2004
愛 知 ト ヨ タ 興 業 (株)	名古屋市昭和区高辻6-8	466	(052) 871 1651
朝 日 建 物 (株)	金沢市泉が丘2-9-3	921	(0762) 42 1281
(有) 朝 日 コ ー キ ン グ	名古屋市西区八筋町347	452	(052) 502 8935

(有) 石原コーキング興業	小松市村松町19	923	(0761) 43	2201
石動コーキング(株)	富山市柳町4-1-9	930	(0764) 33	8966
石渡産業(株)	沼津市神田町6-3	410	(0559) 21	6061
(有) 市川防水	小牧市大字北外山宮ノ腰56-1	485	(0568) 72	0587
(有) 大久保コーキング	春日井市如意申町字丸山878-1	486	(0568) 31	8775
大村商事(株)	静岡県榛原郡吉田町神戸3852-1	421-03	(05483) 2	2486
加賀防水工業(株)	金沢市増泉4-10-22	921	(0762) 42	1494
掛川シーリング工業	掛川市垂木2002-6	436-02	(05372) 4	0283
(有) 加藤防水工業	名古屋市名東区延珠町802	465	(052) 771	6691
北川防水工業所	〃 中区新栄2-48-11	460	(052) 241	7628
(株) 栗原	金沢市増泉3-7-1	921	(0762) 42	5101
(株) 三栄	名古屋市北区志賀本通2-24	462	(052) 981	2134
(有) 三栄コーキング	一宮市松降1-3-11	491	(0586) 24	1840
サン・シーリング工業(株)	富山市飯野134	930	(0764) 51	1511
三信工業	静岡市曲金1-9-53	422	(0542) 83	2180
三信建材工業(株)	豊橋市鴨田町52-1	440	(0532) 45	8211
(株) 志水化工	名古屋市西区稲生町3-37-1	451	(052) 531	5295
(株) 静岡コーキング工業	静岡市西島473-1	422	(0542) 81	1618
清水シーリング工業	清水市梅ヶ谷208-14	424	(0543) 47	3811
(株) シリコンエンジニア	名古屋市名東区上社3-102	465	(052) 703	6181
(株) シンコー工業	清水市北脇新田328-1	424	(0543) 46	7859
(有) 新静シーリング	静岡市敷地2-18-18	422	(0542) 37	2086
(有) 第一防水	名古屋市市中村区中町3-45	453	(052) 482	1654
大栄工業(株)	焼津市石脇上133-2	425	(05462) 7	9400
大信工業(株)	愛知県海部郡甚目寺町山の浦65	490-11	(052) 442	5775
(株) 高坂工業	名古屋市中村区五反城町4-31	453	(052) 412	0857
隆志建工(株)	愛知県西春日井郡師勝町大字六ッ師500	481	(0568) 21	0794
タナカ工業(株)	伊勢市上地町2677-1	516	(0596) 23	3113
中央建材工業(株)	名古屋市千種区高見1-6-1	464	(052) 761	6181
長陽装業(有)	長野県下伊那郡上郷町飯沼349-1	395	(0265) 24	0378
津田硝子(株)	名古屋市天白区一ッ山1-2	468	(052) 801	1195
(有) ツカコ商行	浜松市白羽町2676	430	(0534) 41	2273
(株) 東海建材工業	静岡県浜名郡可美村増楽1481	432	(0534) 48	4711
(株) 東海工事	豊橋市岩屋町字岩屋下33-13	440	(0532) 62	7614
東海物産(株)	名古屋市千種区若水3-20-23	464	(052) 721	2211
名古屋ゼネラルボンド(株)	〃 千種区新西2-3-6	464	(052) 774	6621
(有) 中村コーキング工業	静岡県掛川市家代49-1	436-02	(05372) 3	1184
中村コーキング店	名古屋市昭和区車田町2-8	466	(052) 731	5059
(株) ナカムラシール	浜松市市野町933-1	433	(0534) 33	2434
(有) 名古屋西商店	愛知県西春日井郡清洲町新清洲6-5-1	452	(052) 409	4629
(有) 西村工研	静岡市広野2-5-32	421-01	(0542) 58	7537
日満防水工業(株)	犬山市字角池57-3	484	(0568) 67	1810
日精工業(株)	金沢市新保本1-465	921	(0762) 40	1101
(株) 日本ビルサービス	富山県砺波市三郎丸313	939-13	(07633) 3	1202
(株) ノダキ	名古屋市西区名駅3-10-26	450-91	(052) 561	4371
(有) 浜松シーリング工業	浜松市長鶴町177-1	435	(0534) 64	3839
(株) ビルメン	名古屋市西区枇杷島5-13-7	451	(052) 524	6141
不二化成品(株)	清水市鳥坂327	424	(0543) 45	7281
フジ工業(株)	名古屋市北区石園町3-21	462	(052) 991	4741
不二興業(株)	金沢市法光寺町24	920-01	(0762) 58	4755
フルヤマズコーキング	一宮市北方町中島字中越27-10	493	(0586) 86	5355
北陸ビル防設(株)	富山市布瀬町1区3-6	930-11	(0764) 21	6924
堀越コーキング(株)	富山県射水郡下村加茂3686	933-02	(0766) 59	2308
(株) 前田コーキング	高岡市細池533	933	(0766) 21	4034
松村建工(株)	滋賀県愛知郡愛東町大字上中野983-2	527-01	(07494) 6	1277
丸	富山市平吹町4-21	930	(0764) 23	3754
ムツミ工業	金沢市八日市出町465	921	(0762) 40	3131
ムラセ工業(株)	名古屋市守山区小幡3-2-14	463	(052) 791	4465

(株) 岐 名	岐阜市藪田3-63	500	(0582) 73 2761
森 建 材 商 行	名古屋市西区松西町2-87	451	(052) 562 1668
山 新 工 業	土岐市旭ヶ丘47-34	509-54	(05725) 9 4505
和 興 建 材 工 業 (株)	浜松市向宿町212	430	(0534) 65 1328

5. 関西シーリング工事業協同組合員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(有) 天 草 シ ー ル	神戸市東灘区田中町3-7-11	658	(078) 451 0816
エ マ ー ル 工 業 (株)	大阪市住吉区山之内1-21-21	558	(06) 695 0751
大 阪 ア ル フ ァ 産 業 (株)	〃 淀川区西中島4-6-30 チサン第5ビル303	532	(06) 301 5235
大 阪 工 業 (株)	〃 西区南堀江3-13-11	550	(06) 531 4814
(株) 大 阪 シ ー ル	〃 北区天満4-11-16	530	(06) 352 2895
(株) 大 阪 防 水 工 業 所	守口市梶町1-124-7	570	(06) 903 0016
大 阪 ユ ニ ロ ン (株)	大阪市福島区玉川2-11-21	553	(06) 448 2341
(株) 勝 友 商 会	神戸市東灘区青木5-18-23	658	(078) 411 4418
関 西 シ ー リ ン グ 工 業 (株)	大阪府南河内郡太子町山田2673-1	583	(0721) 98 0239
(株) 関 西 住 建	京都市伏見区石田大受町31-266	601-13	(075) 571 0246
(株) 京 都 シ ー ル	〃 山科区音羽八ノ坪町34-15	607	(075) 501 1100
共 立 産 業 (株)	大阪市東区本町5-4 広和ビル	541	(06) 262 5845
神 戸 建 設 (株)	伊丹市荒牧字桑田60	664	(0727) 81 5189
三 幸 物 産 (株)	大阪市住吉区万代3-5-9	558	(06) 671 2498
三 大 工 業 (株)	〃 西区京町堀3-3-30 第2同盟ビル405号	550	(06) 443 2728
山 陽 シ ー ル 工 業 (株)	姫路市八代宮前町18-15	670	(0792) 97 0658
昌 栄 亀 井 (株)	尼崎市武庫之荘3-17-11	661	(06) 431 8429
新 和 化 工 (株)	豊中市南桜塚1-3-40	560	(06) 843 0356
セ キ シ ュ ウ 技 研 (株)	大阪市東淀川区菅原2-11-35	533	(06) 326 1088
(株) 大 一 防 水 工 業	大東市寺川2-1-1	574	(0720) 71 8951
(株) 大 協 建 材	大阪市浪速区元町1-13-7 第3カネイチビル	556	(06) 649 4105
大 信 防 水 工 業 (株)	神戸市長田区西丸山町3-3-16	653	(078) 642 3760
大 和 シ ー ル 工 業	大阪府南河内郡太子町春日135-2	583	(0721) 98 1819
高 月 商 会	宝塚市千種4-10-3	655	(0797) 72 5922
高 橋 シ ー リ ン グ	大阪市旭区新森3-17-19	535	(06) 951 9585
(株) 東 光 商 会	神戸市東灘区岡本4-4-6	658	(078) 453 2211
(株) 東 洋 防 水	大阪市阿倍野区文の里2-3-15	545	(06) 621 3741
(株) 特 殊 技 研	大阪市北区末広町3-21 星和地所扇町ビル	530	(06) 315 0701
ト シ ダ 工 業 (株)	高槻市芝生町1-14-1	569	(0726) 77 1536
(株) 中 出 商 会	神戸市兵庫区上沢通6-1-1	652	(078) 511 4501
(株) 中 村 商 店	摂津市鳥飼下3-3-7	567	(0726) 54 4538
日 建 瀝 青 工 業 (株)	神戸市兵庫区水木通8-2-7	652	(078) 576 0851
日 添 工 業 (株)	大阪市北区天満4-3-9	556	(06) 357 8088
日 本 化 成 工 業 (株)	吹田市南金田1-4-46	564	(06) 385 3886
白 洋 建 材 (株)	大阪市都島区本通2-15-1	534	(06) 924 2536
八 鉦 シ ー リ ン グ コ ン サ ル タ ン ト	神戸市須磨区妙法寺字牛の子999-28	654	(078) 743 2455
(有) 豊 栄 シ ー ル	堺市奥本町1-74	591	(0722) 55 0338
(株) 美 作	守口市八雲西町4-69	570	(06) 991 0500
八 尾 コ ー キ ン グ	八尾市久宝寺5-4-31	581	(0729) 92 3846
山 下 防 水 建 設 (株)	大阪市南区道頓堀2-3-24	542	(06) 211 0553
ユ ニ オ ン 商 事	〃 西区靱本町3-1-6	550	(06) 445 0753
ユ ニ オ ン 保 全 (株)	西宮市染殿町6-12-104	662	(0798) 35 8800
(有) 吉 川 美 装 商 事	滋賀県大津市中央3-2-2	520	(0775) 24 8289

6. 中国シーリング工事業協会々員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
ア イ シ ン 工 業 (株)	広島市西区楠木町3-6-9	733	(082) 238 3883
青 盛 建 材 (株)	〃 中区舟入幸町19-10	730	(082) 292 3200

(株) 岩 本 商 店	福山市曙町5-163-1	721	(0849) 53	8793
鳥 城 防 水 工 業 (有)	岡山市倉富494-34	703	(0862) 77	0364
(株) 占 部 防 水 工 業	福山市御船町1-11-7	720	(0849) 21	1458
(有) 小 野 甚 商 店	岡山市丸の内1-13-13	700	(0862) 25	4868
(有) 山 陰 シ ー ル 工 業	米子市岡三柳165-4	683	(0859) 32	2287
(株) サ ン ゼ オ ン	広島市西区中広町3-17-16	733	(082) 291	1631
(株) 三洋技研 広島営業所	〃 西区庚午南1-3-30	733	(082) 271	9317
三 和 防 水 工 業 (株)	〃 南区東雲本町2-4-21	734	(082) 283	3366
(有) 昭和化学防水工業	岡山市下伊福1-3-24	700	(0862) 53	4093
シ ー リ ン グ 工 業 (株)	広島市西区横川町1-11-15	733	(082) 294	6637
(有) ス ミ 防 工 業	岡山市伊島町2-3-18	703	(0862) 52	9311
第 一 化 工 (株)	広島市西区南観音町1-5-40	733	(082) 293	3828
大 和 防 水 (株)	岡山市矢坂西町7-36	700	(0862) 52	2642
高 橋 工 業 (株)	福山市野上町1-11-8	720	(0849) 21	2570
千 葉 工 業 (株)	広島市西区山田新町2-11-27	733	(082) 272	7600
中国特殊防水産業 (有)	〃 西区中広町3-11-9	733	(082) 231	9958
中国富士化工建設 (株)	〃 東区矢賀町1-527-12	730	(082) 284	3117
(株) ツ キ タ ニ 工 業	広島市安芸郡府中町本町1-11-3	735	(082) 282	7019
日 化 工 材 (株)	岡山市表町2-6-21	700	(0862) 25	2021
ニ ッ テ イ (株)	新南陽市大字富田4530	746	(0834) 63	2532
日 本 シ ー ル 工 業 (株)	広島市西区楠木町4-15-39	733	(082) 238	7447
(株) は ま は ら	尾道市新浜1-3-4	722	(0848) 23	2760
(有) 肥 田 工 業	広島市東区戸坂新町2-3-5	732	(082) 229	3411
広島アルファ産業 (株)	〃 西区中広町2-25-14	733	(082) 293	6557
(株) 広島防水工業	〃 西区東観音町12-14	733	(082) 294	3238
(有) フ ザ 防 水 工 業	〃 佐伯区海老園2-11-17	731-51	(0829) 22	9757
フ ジ ミ 工 業 (株)	広島県安芸郡府中町大須3-7-14	735	(082) 282	2201
豊 永 建 材 (株)	広島市東区光町2-14-34	732	(082) 264	1223
防 長 建 材 (株)	徳島市野上町2-15	745	(0834) 21	0003
マ ル エ 商 工	防府市大字牟礼岸津4314-4	747	(0835) 23	5123
(株) マ ル エ ス 工 業	広島市中区宝町8-26	730	(082) 243	7474
丸 福 建 材 工 業 (株)	〃 中区吉島町12-18	730	(082) 241	6666
(株) 森 本 組	〃 西区中広町3-22-12	733	(082) 291	2629
(株) ヤ マ ザ キ 技 販	福山市横尾1-88	720	(0849) 55	5353
(有) 吉田シーリング工業	徳山市楠木1-11-17	745	(0834) 28	5788

7. 四国シーリング工事業協同組合員

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
(有) 日本防水三島工業所	伊予三島市中央5-9-45	799-04	(0896) 24 5174
イ ヨ 防 水	川之江市川之江町古町1128	799-01	(0896) 56 2984
錦 海 防 水 (有)	新居浜市西の土居町1-3-43	792	(0897) 34 3333
東亜グラウト(株)新居浜四国支店	〃 西原町1-2-25	792	(0897) 34 7111
(株) マルマス河野商店	今治市共栄町4-5-2	794	(0898) 32 5000
イ ケ ダ 産 業 (株)	松山市久万の台189-1	790	(0899) 25 5590
(株) 山 本 商 会	〃 三番町7-8-1	790	(0899) 31 6261
(株) 日本防水松山工業所	〃 石手1-3-19	790	(0899) 77 0998
岩 田 建 材 (株)	〃 南高井町1280-1	791-11	(0899) 75 6700
大 淵 建 工	〃 谷町甲179-10	791	(0899) 78 2745
松 山 建 工 (株)	〃 福音寺町249-2	790	(0899) 75 1590
(有) 広 栄 商 会	愛媛県伊予郡松前町浜781-8	791-31	(0899) 84 3576
正 和 商 事 (株)	松山市一番町3-3-5	790	(0899) 21 8161
(有) 富 士 防 水	〃 平和通り2-3-3	790	(0899) 45 5401
(有) フ ク ヤ 建 材	宇和島市高串1-468	798	(0895) 24 2280
四 国 ビ ル サ ー ビ ス (株)	松山市居相町450-4	790	(0899) 58 1222
和 研 工 業 (株)	高松市松並町683	760	(0878) 66 8122
古 市 断 熱 工 業 (株)	〃 宮脇町2-30-5	760	(0878) 61 5034
大 三 工 業 (株)	〃 本町1-17	760	(0878) 51 6811

マ ル エ 工 業 (有)	〃 福岡町2—13—22	760	(0878) 21	8410
(株) 日 新 建 工	丸亀市田村町525	763	(0877) 24	3535
四 国 日 東 工 材 (株)	香川県三豊郡高瀬町大字新名1931—1	767	(0875) 72	5337
四 国 防 水 工 業 (株)	高松市藤塚町2—8—20	760	(0878) 31	6661
(株) 東 亜 応 用 化 工	坂出市室町1—3—32	762	(0877) 46	2185
新 弘 化 建 (株)	善通寺市弘田町768—5	765	(0877) 63	0801
大 石 防 水 工 業	高松市屋島西町68—2	760	(0878) 41	3690
西 部 シ ー ル	丸亀市三条町13—9	763	(0877) 28	8191
(有) 高 分 子 工 材	高松市浜の町18—27	760	(0878) 21	3010
四 国 ポ リ マ ー (有)	香川県綾歌郡飯山町上法軍寺326—5	762	(0877) 98	3991
(有) フ ク シ マ 工 業	高松市香西北町54—3	761	(0878) 81	3366
(株) 香 川 シ ー ル 工 業 所	丸亀市垂水町3224—19	763	(0877) 28	8651
(有) 高知エバレゲン工業所	高知市南川添26—11	780	(0888) 84	0571
岸 防 水 工 業 (有)	〃 塩屋崎町2—10—35	780	(0888) 32	7731
(有) 高知防水センター	〃 南の丸町2—1	780	(0888) 31	7324
朝 日 産 業 (株)	〃 南の丸町2—1	780	(0888) 33	2100
谷 本 商 事 (株)	〃 農人町5—17	780	(0888) 82	6900
徳 島 大 三 工 業 (株)	徳島市北矢三町1—2—61	770	(0886) 31	4161
(有) ミ ツ ワ 建 産	〃 富田橋5—8	770	(0886) 25	7585
徳島ゴーレックス工業 (株)	〃 川内町沖島612—1	771-01	(0886) 65	3811
(有) 中 條 防 水 工 業 所	〃 末広5—3—36	770	(0886) 23	2564
徳 島 白 川 防 水 (株)	〃 川内町榎瀬506—49	771-01	(0886) 65	4339
(有) 斉 藤 防 水 工 業	〃 吉野本町6—9	770	(0886) 22	2931

8. 九州シーリング工事業協同組合 26

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
ア イ ワ 工 業 (株)	宮崎県東諸県郡高岡町大字高浜2573—1	880-22	(0985) 82 1687
(有) 岡村シーリング工事	福岡市南区清水2—15—30	815	(092) 553 1881
九 州 特 殊 工 事 (株)	〃 博多区千代4—5—1	812	(092) 611 0426
草 野 工 業 (株)	北九州市小倉北区霧ヶ丘1—5—11	802	(093) 922 7631
(有) ク ロ キ 工 業	鹿児島市下福元町6567—23	891-01	(0992) 61 5361
(株) 佐 藤 防 水	〃 鴨池1—13—3	890	(0992) 54 2704
三 賀 産 業 (株)	福岡市博多区博多駅前3—5—7 博多センタービル	812	(092) 471 1355
し ま だ 工 業 (株)	北九州市小倉南区大字徳吉108—4	803-02	(093) 452 0220
昭 和 日 本 化 成 (株)	福岡市早良区原4—8—11	814-01	(092) 843 3311
(有) 神 栄 工 業	長崎市三川町800—40	852	(0958) 46 0775
シンコー化成興業 (株)	福岡市城南区別府6—3—6	814	(092) 821 1546
(株) 新 日 本 樹 脂 化 工	〃 博多区金隈303—3	816	(092) 503 5070
須 川 防 水 工 業	春日市一の谷3—149—2	816	(092) 501 6101
大 栄 産 業 (株)	北九州市小倉北区西港町61—13	803	(093) 571 4581
(有) ダ イ シ ン 産 業	福岡市城南区別府2—15—41	814	(092) 851 8722
テイパ化工九州販売 (株)	〃 南区長丘5—11—20	815	(092) 561 1675
(有) 成 建	熊本市健軍町2622—20	862	(096) 367 3631
(有) 日本シーラント工業	筑紫野市二日市658—2	818	(092) 928 1417
(有) 野 田 工 業 所	福岡県大野城市仲畑1—9—17	816	(092) 572 3859
博 栄 工 業 (株)	長崎市川平町1389—2	852	(0958) 49 2232
B J 工 事 (株)	那覇市前島町2—14—11 松ビル	900	(0988) 63 2164
福 岡 ア ル フ ァ 産 業 (株)	福岡市博多区博多駅前3—9—5 チサン博多ビル316号	812	(092) 451 1073
双 葉 工 業 (株)	宮崎市村角町中尊1828—4	880	(0985) 24 2917
南 日 本 化 成 (株)	鹿児島市中山町2037—5	891-01	(0992) 67 6121
宮 本 産 業 (株)	福岡市早良区賀茂1—7—12	814-01	(092) 862 3331
(株) ム ト ウ	〃 早良区昭代3—2—5	814	(092) 851 0111

関 連 会 社、団 体 一 覧 表

1) バックアップ材メーカー

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
旭 化 成 工 業 (株)	東京都千代田区有楽町1-1-2 日比谷三井ビル	100	(03) 507 2957
化 研 マ テ リ ア ル (株)	〃 江東区新木場1-17-6 東邦港運内	136	(03) 521 7439
光 栄 加 工 (株)	〃 練馬区上石神井南町18-11	177	(03) 920 2671
(株) 新 和 商 会	〃 荒川区西日暮里2-24-14	116	(03) 803 1411
積 水 化 学 工 業 (株)	大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル	530	(06) 365 4306
大 進 商 工 (株)	東京都北区東十条3-13-9	114	(03) 912 8447
日本バックアップ工業 (株)	〃 中野区中央1-12-9	164	(03) 369 0215
野 口 興 産 (株)	〃 練馬区豊玉北2-10	176	(03) 994 5601
日 立 化 成 工 業 (株)	〃 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル	163	(03) 346 3111
フ ヨ ー (株)	〃 墨田区業平5-5-6	130	(03) 626 3371

2) 施工用具メーカー

会 社 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
大 竹 工 業 (株)	東京都中央区新富1-7-4 阪和ビル	104	(03) 553 7501
(株) 菅 野 製 作 所	〃 北区志茂3-3-26	115	(03) 903 3140
巴 工 業 (株)	〃 中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル	103	(03) 271 4075
日 本 ソ セ ー 工 業 (株)	名古屋市南区南野1-99	457	(052) 612 7321
ミ キ ス タ 工 業 (株)	東京都中央区日本橋蠣殻町1-33-7	103	(03) 669 9471
(株) 山 本 製 作 所	大阪市阿倍野区松崎町2-7-10	545	(06) 623 5170

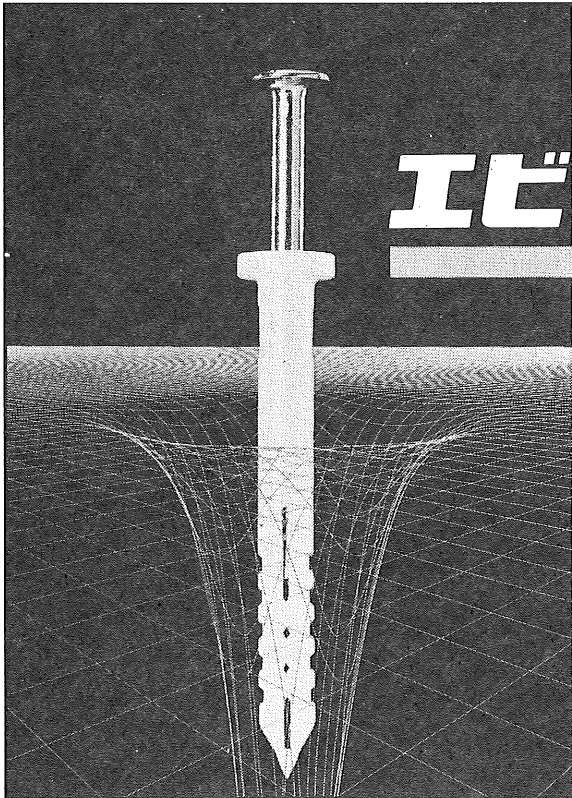
3) 建材関連団体

団 体 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
板 硝 子 協 会	東京都中央区丸の内3-3-1 新東京ビル	100	(03) 212 8631
A L C 協 会	〃 港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル	107	(03) 403 7767
勸 化 学 品 検 査 協 会	大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-6-5	543	(06) 771 5157
勸 建 材 試 験 セ ン タ ー	東京都中央区日本橋小舟町1-3 太田ビル	103	(03) 664 9211
建 築 ガ ス ケ ッ ト 協 会	〃 港区西新橋2-2-10 三喜ビル	105	(03) 501 2906
コンクリートカーテンウォール工業会	〃 中央区京橋1-9-4 京和ビル 5 F	104	(03) 567 3315
全国板硝子商工協同組合連合会	〃 千代田区神田神保町3-4 総合板硝子会館	101	(03) 262 6737
(社)日本カーテンウォール工業会	〃 港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 6981
(社) 日 本 建 設 材 料 協 会	〃 中央区銀座2-6-4 プレイガイドビル	104	(03) 567 2996
日 本 建 築 仕 上 材 工 業 会	〃 千代田区神田和泉町1-6 インターナショナルビル	101	(03) 861 3996
勸 日 本 建 築 セ ン タ ー	〃 中央区晴海1-14-16	104	(03) 531 6351
勸 日 本 建 築 総 合 試 験 所	大阪府吹田市藤白台5-8-1	565	(06) 872 0391
(社) 日 本 サ ッ シ 協 会	東京都港区南青山5-11-2 共同ビル(南青山)	107	(03) 409 1308
日 本 樹 脂 施 工 協 会	〃 台東区台東1-12-11 青木ビル	110	(03) 831 6185
日 本 接 着 剤 工 業 会	〃 千代田区内神田1-15-10 福島ビル	101	(03) 291 3303
(社) プレハブ建築協会	〃 港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル	105	(03) 431 1481

4) 防 水 団 体

団 体 名	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
全国防水工事業団体連合会	東京都中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 369 7351
アスファルトルーフィング工業会	〃 千代田区岩本町3-11-13	101	(03) 862 8531
九州アスファルト工事業協同組合	福岡市中央区舞鶴2-8-2 村上ビル	810	(092) 713 5263
合成高分子ルーフィング工業会	東京都中央区新川1-3-2 新東京ビル	104	(03) 552 8479

ゴムアスファルト防水工事業協同組合	東京都渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2020
シート防水工事業団体連合会	〃 中央区日本橋人形町3-6-2 細田ビル 2 F	103	(03) 661 5787
常温アスファルト防水工事業協同組合	〃 板橋区坂下3-29-11	174	(03) 558 0218
西部アスファルト工事業協同組合	大阪市西区江戸堀1-20-11 辻川ビル	550	(06) 445 1138
全国アスファルト工事業協同組合連合会	東京都中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
全国塗膜防水工事業団体連合会	〃 中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 363 9718
全日本プレハブ建築防水協会	〃 渋谷区代々木1-11-2	151	(03) 320 2019
東部アスファルト工事業協同組合	〃 中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 5797
西日本建設防水協同組合	大阪市天王寺区餌差町7-6	543	(06) 762 4047
(株) 日本アスファルト同業会	東京都中央区八重洲1-2-1 新呉服橋ビル	103	(03) 271 2208
日本ウレタン建材工業会	〃 港区新橋6-13-3 島田ビル	105	(03) 438 0988
日本外壁防水材工業会	〃 中央区八重洲2-8-5	104	(03) 274 4621
日本塗布防水工事業協同組合	〃 中野区中野1-55-7 藤ビル	164	(03) 367 1611
(株) 日本薬液注入協会	〃 文京区後楽1-2-7 全通会館	112	(03) 816 2681
東日本建設防水協同組合	〃 新宿区新宿5-15-1 浜田ビル	160	(03) 350 6981



打ち込んで ガッチリ固定。



エビネイル7.7

NP5-35/6

スチール釘	NP4-25/5	ステンレス釘 (SUS×M7)	SNP4-25/5
	NP5-35/6		SNP5-35/6
	NP5-50/20		SNP5-50/20
	NP6-35/6		SNP6-35/6
	NP6-50/20		SNP6-50/20

防水シート・水切材施工に最適!!

ウエーブ溝で首下スリムな特殊ナイロンスリーブは打ち込みやすく保持力強固。

日本理器株式会社

大阪営業本部 〒578 東大阪市 中新開116-1 ☎(0729)62-1601(代)

東京営業本部 〒175 東京都板橋区 高島平2-6-4 ☎(03) 550-3671(代)

名古屋 ☎(052)915-0431(代)	高松 ☎(0878)61-6110	
札幌 ☎(011)251-5721	広島 ☎(082)292-4422(代)	
仙台 ☎(022)284-5602	福岡 ☎(092)431-0395(代)	

「シーリング技術管理士」に関する規約

(昭和62年 9 月 8 日改訂)

第 1 条 (目 的)

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条 (職 務)

シーリング技術管理士（以下技術管理士という）は、シーリング工事に関して、防水設計、シーリング材の性能・品質・施工法について十分な知識を活用し、技術指導を行なう。

第 3 条 (技術管理士の認定)

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第2条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年1回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は技術管理士として認定する。

第 4 条 (受験資格)

受験資格者は工業会々員会社に所属する者、および会員会社が推薦し理事会が承認した者とする。ただし施工会社に所属する者は除く。

技術管理士の受験資格は次の通りとする。

イ．年齢22歳以上の者

ロ．実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学	歴	経 験 年 数
大 学 卒 業	普 通	2 年
	専 門	1 年
高 専 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
短 大 卒 業	普 通	3 年
	専 門	2 年
高 校 卒 業	普 通	5 年
	専 門	3 年
中 学 卒 業	普 通	7 年

注：専門とは建築，化学の専門課程修了者，
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

第 5 条 (資格の更改)

技術管理士は4年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間1年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。
資格を停止された者はシーリング技術管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

技術管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は技術管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他技術管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

「シーリング管理士」に関する規約

（昭和62年 9 月 8 日改訂）

第 1 条 （目 的）

この規約は日本シーリング工業会（以下工業会という）が設けた資格制度に関するものであり、水密、気密保持に関するシーリング材の重要性にかんがみ、設計・施工を通じた技術の向上に併せて、業界の地位向上を図ることを目的としたものである。

第 2 条 （職 務）

シーリング管理士（以下管理士という）は、現場施工能力を有し、かつ防水設計、シーリング材の性能・品質・施工方法について十分な知識を活用し、シーリング工事について施工及び技術指導を行なう。

第 3 条 （管理士の認定）

シーリング管理士検定委員会（以下検定委員会という）は第 2 条に基づき、講習ならびに検定試験を毎年 1 回実施し、これを受講し試験に合格した者を工業会は管理士として認定する。

第 4 条 （受験資格）

受験資格者は日本シーリング工事業団体連合会（以下日シ工連という）会員会社に所属し、人格識見を有する者で、所属する会社代表者の推薦を必要とする。

管理士の受験資格条件は次の通りとする。

- イ. 年齢22歳以上の者

ロ、実務（シーリング工事にかかわる業務）経験年数が次の表以上の者であってそれを証明する所属会社の証明書を提出した者、ただし中学卒業者はその限りではない

学 歴	経 験 年 数
大 学 卒 業	普 通 2 年
	専 門 1 年
高 専 卒 業	普 通 3 年
	専 門 2 年
短 大 卒 業	普 通 3 年
	専 門 2 年
高 校 卒 業	普 通 5 年
	専 門 3 年
中 学 卒 業	普 通 7 年

注：専門とは建築、化学の専門課程修了者、
普通とは専門以外の課程修了者をいう。

ハ、ゴンドラ運転の特別教育修了証所持者であること

第 5 条 （資格の更改）

管理士は 4 年毎に資格の更改を行なう。ただしこの間 1 年毎に所属する会社代表者の在籍証明書を提出しなければならない。更改に際しては検定委員会で定める技術向上を目的とする講習を受けなければならない。

講習に不参加であった者はその資格を停止し、次回の講習を受けその資格を復活できるものとする。資格を停止された者はシーリング管理士証明書（以下証明書という）を工業会に返却しなければならない。

原則として資格停止者が次回の講習を受けなかった場合は、その資格は取消される。

第 6 条 （証明書の返却）

管理士が所属する会社を退職する場合は、速かに証明書を工業会に返却しなければならない。

第 7 条 （証明書の再交付申請）

第 6 条により証明書を工業会に返却した者が新たに証明書の再交付を希望する場合は、改めて所属会社代表者の推薦書を付して工業会に申請することができる。

第 8 条 （証明書の再交付）

証明書再交付の申請を受けた場合、工業会は所定の審査の上再交付する。

第 9 条 （資格の取消し）

次に掲げる各項に該当する場合は管理士の資格を取消することができる。

1. 第 2 条に定める職務の遂行が困難になった場合
2. 刑罰又はこれに準ずる処罰を受けた場合
3. その他管理士の権威を著しく汚す行為があった場合

第 10 条 （その他の事項）

前各条の他、運営上必要な細部事項については別に定める。

シーリング技術管理士名簿

(399名)

会 社 名	氏 名
愛 知 住 宅 工 業 (株)	瀬ノ上正一
(有) ア イ ワ 工 業	白地幸男
アサヒボンド工業 (株)	徳田精久
(株) ア ジ ア 建 設 資 材	富田則行 樋口哲也 佐藤一郎
(株) エービーシー商会	芥川慎一 仁多見恵二 磯部文男 小泉雅二 千葉隆一
オート化学工業 (株)	高木紀英 笠原 哲 塚田正博 森田栄一 伊藤彰彦 谷川邦彦
大 分 Y K K 工 業 (株)	甲斐基介
大 阪 御 国 商 事 (株)	吉村和弘
近 江 Y K K 工 業 (株)	山田哲雄 藤井久和
オ ギ ノ セ メ ン (株)	加藤幹也
化 研 マ テ リ ア ル (株)	郷間隆一
鐘 工 業 (株)	越賀恒雄
カネボウ・エヌエスシー(株)	脇 健答 渡辺敏幸 河端健二
カ ネ ボ ウ 化 成 (株)	森重幸雄
共 信 商 事 (株)	古田裕康
光 栄 商 事 (株)	内田 勲 増田博文
コ ニ シ (株)	河端次彦 谷口雅俊 勝又賢次 小林保夫 林 信義 中野信二 井谷 誠 加藤昭彦 小杉誠一 福永陽一 山崎一昭 赤松郷也 日下部悟 日向俊夫
小 林 通 商 (株)	小林 剛 遠藤研也
讀 岐 Y K K 工 業 (株)	轟 清
(有) サ ン エ ー	村田治男
サ ン ス タ ー 技 研 (株)	笹尾卓弘 花田健治 榎本教良 加川順一 田村耕三 平井孝典 水野隆司 田島哲夫 市川隆吉 大 中 義 夫 西村良雄 金 良 祥 光 和田 裕 田 中 美 樹 夫 田中宏侍 野村昌弘 堀 恒美 佐藤 修 福元 寛 原田康裕 野口伸一郎 上田政則 川上一三 猪俣節雄 多田羅晋由 井上陽介 内藤彰彦 川井亮一 平生澄男 岩本康良 田中愛益 木村安男 泉 克幸 大浦康生 北尾孝二 前田 満 寺沢宏二 秋山寿次 浜田順二 永江道法 青木茂広 金久保雄司
三 洋 工 業 (株)	藤 里 稔 西野俊幸 小笠原利男 谷田部利夫 杉山博樹 斉藤健二 東 中島芳夫 池田正博 鈴木信久 大物久夫 竹下 寛

浦川英明 土谷秀樹 田中清晴 三好 陽	辺田 浩 宮下貢次 国見延也
サンライズメイセイ (株)	藤本亮秀
滋賀トーヨーサッシ工業(株)	山田明宏
昭 石 化 工 (株)	竹田和幸 豊田耕二 加賀見修由 星田 篤
信 越 化 学 工 業 (株)	小林 勲 増田 透 石坂和夫 鳥屋幸男 里二三夫 原沢健二 上野隆夫 辻 仁 藤原武則
(株) ス リ ー ボ ン ド	田村英明
世 界 長 (株)	橋本剛一 松田修蔵 松井潤介 坂口 茂一 村上純一
セ メ ダ イ ン (株)	八代秀雄 松林日出男 後藤 均 川辺征善 安斉忠男 中田欽也 池谷勝巳 辻野末次 木下雅智 大友考夫 山口 修 藤原靖博 杉浦條二
住友ウォールシステム (株)	木村 充
ソ ニ ー ケ ミ カ ル (株)	大塚浩史
(株) タ イ ル メ ン ト	河合 敦
(有) 高 倉 ア ル ミ 工 業	高倉健一郎
テ イ パ 化 工 (株)	上田 武 山崎保充 関野士郎 杉中 肇 井口幸一
(株) 東 郊 産 業	北野真一 堀河哲雄 小倉 臻 市川益己 上田正行
東 芝 シ リ コ ー ン (株)	岸 三治 齊藤 修 小笠原義治 清水千之 細川 清 高井直人 吉川敏夫 神崎 聖 浜砂岩男 福島通人 横川 健 金子啓之 上野雄一
(株) 東 北 協 和 工 商	渡辺修二 小野部盛雄 篠沢一義 大工園昭二 安藤秀秋 仲野英樹 下屋敷恵治 分部康平 大木直也 山本 治 大神田裕司 岸上浩二
	菅原久志

トーヨーサッシ (株)	大久保克春 金子英昭 石井良光 渡辺和基	三菱化成工業 (株)	関口高正
東洋ビルサッシ (株)	河口達也	三星産業 (株)	矢島克美
トーレ・シリコン (株)	市橋弘雄 笠井慎年 沢村直文 椎名健介 久野二郎 広田正行 空本 宏 吉水 毅 山田孝男 田中孝次 伊比輝男 小田喜幸 米谷敏夫 木原克己 菅沼紀之 高木忠雄 藤井秀一 土橋善雄 奏泉寺利春 内田広之 岩下恵一 立岡道広 石田忠雄 近藤秀俊 鈴木輝幸 大石泰彦 須原 勇 斉藤 馨 石川秀高 平嶋弘司	モリシタ化学産業 (株)	宮下 孝 藤本啓之
東レチオコール (株)	窪 正一 佐藤 修二 数 稜 佐々木幸男 岡村芳雄 蔵本博義 柳沼由夫 増田道夫	八代YKK工業 (株)	福原孝司 山田 博
(株) ト ク ハ ン	山口良治	ヤマウチ (株)	梅野雅孝 石山悦隆
(株) 西井塗料産業	与義守信	横浜ゴム (株)	渡部高久 井部才輝
日東ポリマー工業 (株)	篠田正巳 松村 博 山崎信義 矢倉政男		羽原吉雄 鎌田正徳
日興化学工業 (株)	岸原 淳 川崎隆実		塩田 実 森 輝明
ニッセイ技研 (株)	紺木忠興		細田新也 五十嵐稔一
日東化成工業 (株)	山口龍之助		鶴野孝一 斉藤昭博
日東電気工業 (株)	加藤一美		岩田克博 仲宇佐隆一
日東電材 (株)	古谷健一 山本浩一 石田 博 岡田安正		高橋総一郎 飯島俊之
日本添加剤工業 (株)	田中昭南	ヨコハマゴム工業品北海道販売 (株)	中川仁公 大滝正己 草刈正幾 宮崎 敏
日本フランシール (株)	船越 力	ヨコハマゴム工業品東北販売 (株)	佐藤良正 梅津卓也
野口興産 (株)	野口裕二 広瀬貴一 舟木保雄 渋谷ミツ子	ヨコハマゴム工業品東京販売 (株)	秋沢充敏 松居幸男 前田敏行 河野 実
日立化成ポリマー (株)	山室義行 中田勝哲 竹本富夫 北川 進 山中 明 古新居敦 浜野幸市 立花豊松 池田 勇 大園浩和	ヨコハマゴム工業品中部販売 (株)	高森 寛 高木良知 中林秀樹 村上 修 鈴木伸治 大島幹生
福岡トーヨーサッシ工業 (株)	塩塚慶志	ヨコハマゴム工業品関西販売 (株)	大原光良 齊藤章徳 西村龍夫 藤原利夫 萩原 優 深尾正美 沖 昌弘 大塚政幸 武田善史 横山雅彦 山田修司 二反田英史
福岡YKK工業 (株)	笹原信行 深堀圭介	ヨコハマゴム工業品中国販売 (株)	井上哲二 河原和伸 吉田匡史 田辺賢二
フ ヨ ー (株)	山根高志 若山修一	ヨコハマゴム工業品九州販売 (株)	渡辺英治 松本 智 白藤 薫 井上嘉英
保土谷建材工業 (株)	小嶋三郎 山内 節 生田正道 角田和也	吉 田 工 業 (株)	宮袋武裕 我妻道男 千原 淳 在塚 均 竹村正巳 山下康広 小鍛冶秀明 鹿野裕市 中 雅之 三井田満男 泉谷昇一 広野利昭 横谷 功 石川真義 中山芳雄 小林幸男 栗木英明 伊藤 卓
(株) 前田理工	池田和広	(株) 吉 田 産 業	熊谷隆良
前橋トーヨーサッシ工業 (株)	佐々木 忠	(株) 吉 田 産 業 青 森	福津聖二 三上幸雄
(有) 三河英建	太田 誠	(株) 吉 田 産 業 久 慈	下石畑信一
水島ゴム工業品 (株)	萩原昭文	(株) 吉田産業建材センター	下斗米勝彦 長谷川政弘
		(株) 吉田産業五所川原	今井秀男 玉川 武
		(株) 吉田産業水沢	千田正志
		(株) 吉田産業盛岡	吉岡一男

シーリング管理士名簿

北海道地区

(19名)

会 社 名	氏 名
(株) 片岡コーキング	片岡京子
(株) カトウシーリング工業	佐藤信彦
(株) 北日本コーキング	土田 武
(株) 協栄シール	吉無田泰長 長島規夫
熊谷興業 (株)	下井 守

佐藤研究所	佐藤和久
第一ブロック建設 (株)	遠本秀雄
中 田 工 業 (株)	中田敬一
中林防水工業 (株)	石田誠二 根本 誠
フタバ工業 (株)	山口正行
北海コーキング (株)	平塚安弘
北海道タイホー (株)	鳴海忠義 長尾忠幸 斉藤 伸 深尾 哲

北 眺 防 水 工 業 (株)	菊地 薫
(有) ヤ マ ト 工 業	小山毅芳

瀝 青 建 材 (株)	今井武義 村井 眞
	村上富男

東北地区

(9名)

会 社 名	氏 名
(有) 泉 ク リ ー ナ ー	花村卓次
大 島 金 属 商 事 (株)	高橋卓孝
(株) 郡 山 医 療 器 製 作 所	安斉国紀
(有) 興 伸 総 業	工藤秀二
郡 山 シ ー リ ン グ (株)	梅津祐一
(有) シ ー リ ン グ タ ナ カ	高橋栄一
(株) 丸 本 工 業 所	本吉和康 千葉忠男
(有) 三 国 工 業	伊藤真太郎

東日本地区

(76名)

会 社 名	氏 名
ア ル フ ァ 産 業 (株)	山本 勇 奏 達也
	宮代 博 加藤由之助
石 黒 建 材 社	石黒勝己
(株) 石 田 シ ー ル 工 事	石田 実 鈴木隆男
	田中義一 鈴木芳英
木 元 工 業 (株)	神尾 健 初鹿忠夫
	田尻茂人
協和シーリング工事(株)	手塚 透
(株) 栗 崎 工 業	栗崎堅司
京 葉 シ ー ル (株)	木下義晴 木下 剛
光 栄 工 業 (株)	内田鶴鶴
(株) 工 業 技 術 研 究 所	鈴木裕二
興 進 工 業 (株)	五十嵐志郎 高宮昇二
	小山忠夫 大坪徳夫
山 栄 興 業 (株)	宇山広道 柏瀬謙一
	鶴田正行 上田稠身
(株) ジ ッ ク ス	名倉 茂 松田英男
	岩崎元廣
(株) シ ー ラ ン ト	安保正則
タイガー工業(株)	堀 亨
大 和 興 業 (株)	斗成 隆
高 萩 興 業 (株)	佐藤正則
中 央 建 材 工 業 (株)	渡辺昭悟
東 邦 防 水 総 業 (株)	広瀬忠夫 戸田 裕
	深津富正 青山淳二
(株) ト ミ ヨ シ 商 会	富岡勝人 富岡睦男
日 本 ビ ソ ー (株)	小松幹久 竹間由孝
平沢コーキング工業(株)	平沢敏男 勝視益明
北 斗 工 業 (株)	高橋和彦 大関 勉
マ サ ル 工 業 (株)	操上弘昌 鈴木賢一
	宮川文雄 大辻勇七郎
	雪入 毅 塚本 弘
	佐藤義政 中沢文隆
	木村芳孝 村山美二
	斉藤誠一 細谷英雄
	小峰 茂 坪山和幸
	中島一三 苅谷 純
	平野正治 林 德行
(株) マツダパラウォータ	福山政隆 松田和彦
	生出 正
(株) 山 形 防 水	竹内利三
理 建 工 業 (株)	木村正一 室井幸雄
	戸張達士 関 浩士
	金山信二

中部地区

(51名)

会 社 名	氏 名
愛 知 ト ヨ タ 興 業 (株)	間瀬伸司 後藤伸一
朝 日 建 物 (株)	朝倉英心
(有) 石 原 コ ー キ ン グ 興 業	紺谷俣志
石 渡 産 業 (株)	高村克己
石 動 コ ー キ ン グ (株)	仁村 孝 萱原 寛
(有) 市 川 防 水	市川文則
(有) 大 久 保 コ ー キ ン グ	水野久夫
大 村 商 事 (有)	大村盛雄
加 賀 防 水 工 業 (株)	諸橋茂一 昇塚繁行
(株) 栗 原	栗原 眞 山下晴夫
	原 友次 関 博和
	堀 忠夫 村 武和
(株) 三 栄	安藤時敬 沢田洋行
三 信 建 材 工 業 (株)	石田敦則
山 新 工 業 (株)	加藤忠司
(株) 静 岡 コ ー キ ン グ 工 業	堀川信昭 太田広道
(株) 志 水 化 工	清水茂喜
(株) シ リ コ ー ン エ ン ジ ニ ア	匂坂良造
(有) シ ン コ ー 工 業	新保喜美雄 田村 仁
	新保文規
(有) 新 静 シ ー リ ン グ	川口博史
(有) ツ カ コ シ 商 工	塚越 勲
津 田 硝 子 (株)	竹田正治
中 央 建 材 工 業 (株)	阿野田卓男 犬飼健一
	橋本孝由 杉田好隆
	野間 浩
(株) 東 海 工 事	勘解由信幸
(株) ナ カ ム ラ シ ー ル	中村 守
(株) 日 本 ビ ル サ ー ビ ス	坂口 貢
(有) 浜 松 シ ー リ ン グ 工 業	伊藤正智
北 陸 ビ ル 防 設 (株)	田崎 隆
(株) ビ ル メ ン	守山彰治 清水洋紀
	岡 穂 山 崋清孝
フ ジ 工 業 (株)	河原昇一
不 二 興 業 (株)	松本 勉
丸 協	見角 弘
(有) 和 興 建 材 工 業	大西康進 大石秀幸

関西地区

(68名)

会 社 名	氏 名
(有) 天 草 シ ー ル	岩崎弘敏 岩崎泰博
大 阪 ア ル フ ァ 産 業 (株)	内田勝久
大 阪 工 業 (株)	中田安信 長棟利彦
(株) 大 阪 シ ー ル	阪井敏夫
(株) 大 阪 防 水 工 業 所	水口峰彦 野上條司
	佐伯忠雄 塩谷昭文
大 阪 ユ ニ ロ ン (株)	金山満昭
大 芝 建 材 (株)	中山親治
(株) 勝 友 商 会	田宮貞夫
(株) 京 都 シ ー ル	竹田征司
共 立 産 業 (株)	木寺玄太
三 幸 物 産 (株)	横谷興彦
三 大 工 業 (株)	大西利昭

昌新	榮和	亀化	井工	(株)	亀井一身	柳田 潔
				(株)	黒木俊行	溝渕 勇
					重実俊憲	
セキシュウ	技研	(株)	田中秀穂			
(株) 大協	防水工	(株)	上田正義		上田三郎	
	建 材		安東延治		吉田 功	
			上西雅司		川井一哉	
			浅田政幸		小田義敦	
			山田耕司		西園恒夫	
(株) 東光商	会		志水利達		高月春彦	
			和田俊治		長江誠一	
(株) 東洋防	水		早平淳一		北野裕一	
			谷口忠文		横道哲幸	
(株) 特殊技	研		村田康保		川畑裕之	
(株) 中出商	会		西山義雄			
(株) 日本化	成工	(株)	中出鉦一			
	業		松下 実		三谷孝一	
			岡田良平		山村博司	
			岡田城治		山下雄治	
			岡田誠治		小森 勝	
			久保欣也		北田勝行	
			大平利久		赤埴桂司	
			福水昭公		山口孝志	
日 添 工 業	(株)		浅見和宏			
白 洋 建 材	(株)		井上信夫		小阪幸治	
(有) 豊栄シ	ー		笹崎幹雄			
(株) 美	作		小林三千勝		山越章良	
八 尾 コ ー キ ン グ			中元幸弘			
ユ ニ オ ン 商 事	(株)		杉原良一			
ユ ニ オ ン 保 全	(株)		後藤晋也			

中国地区

(23名)

会 社 名	氏 名
アイシン工業(株)	木村通伸
青盛建材(株)	月本満俊 秋山 吉
	斉藤秀峰 油木孝士
	江角善雄
(有) 鳥城防水工業	原 俊之
(株) 占部防水工業	内田 武
(株) サンゼオン	佐々木守 佐々木淳
	梅本祐二
シーリング工業(株)	小田野哲夫 林 利明
中国特殊防水産業(有)	海部信章
中国富士化工建設(株)	今井浩成
(株) ツキタニ工業	世羅敏則
広島アルファ産業(株)	狭間延史
豊永建材(株)	河野和壮
(株) マルエス工業	小野田真治 庄司洋一
丸福建材工業(株)	長島隆良
(株) ヤマザキ技販	山崎雅弘 松井良仁

四国地区

(20名)

会 社 名	氏 名
朝日産業(株)	小川隆三
岸防水工業(有)	坂井秀夫 小松憲二
(有) 高知防水センター	神崎保之
(有) 高分子工材	益田憲司 松川光雄
	山本武雄
(有) 斉藤防水工業	坂東公夫
四国ビルサービス(株)	中板勇二 梶原 響
大三工業(株)	高橋講二
徳島大三工業(株)	塩月辰男 鵜飼弘昭
	中西浩見
(株) 日本防水松山工業所	富永幸雄
(有) フクシマ工業	富井英利 福島康泰
古市断熱工業(株)	白坂吉友
マルエ工業(有)	市川利彦
(有) ミツワ建産	上野 薫

九州地区

(17名)

会 社 名	氏 名
(株) 佐藤防水	佐藤良一
昭和日本化成(株)	吉川繁満 山嶺知行
	嘉村 昇
(有) タイシン産業	檜原行雄
ティパ化工九州販売(株)	青野博文
(有) 野田工業所	諏訪憲雄
B J 工事(株)	下田敏彦
南日本化成(株)	柳橋国博 白坂和也
	東 正博
宮本産業(株)	宮本宣博 原山裕次
(株) ム ト ウ	武藤 貞 檜原行雄
	瀧本英治 朝原義隆

大好評!! "コンパクトな3.5ℓセット" ファイシ-ブ・No.200(㊦)

ポリウレタン系シーリング材

- 混練状態が一目でわかり、混練不良がなくなります。
- 在庫調整・在庫管理の手間が大幅に軽減。
- 仕上塗材を汚染しません。

JIS A5758 8020合格品

- 標準色(グレー、ダークブラウン、ホワイト、ブラック)のほか、各色注文に応じます。
- 容量・荷姿：7ℓペール缶セット
3.5ℓ×2 段ボール箱セット

優れた品質、優れた施工性、豊富な経験と実績!

変成シリコン系シーリング材(4ℓセット)

ファイシ-ブ・No.500(㊦)

JIS A 5758 9030 合格品

ポリサルファイド系シーリング材(4ℓセット)

ファイシ-ブ・No.300(㊦)

JIS A 5758 9030 合格品



日本添加剤工業株式会社

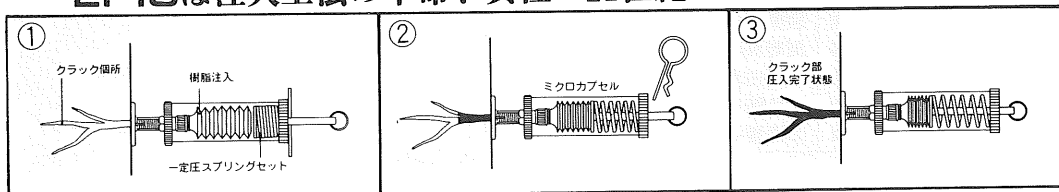
営業部 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(965)5731(代)
大阪支店 〒550 大阪市西区江戸堀1-5-13(日々会館ビル) 電話 06(443)6231(代)
名古屋支店 〒453 名古屋市中村区大閘通2-40(フタバビル) 電話 052(451)8632(代)
本社・工場 〒174 東京都板橋区前野町1-21-5 電話 03(960)8621(代)

意匠登録 第708001号 特許・実用新案・意匠・商標登録出願中

浮き・クラック……外壁の注入補修なら

低圧注入の パイオニア!! ミクロカプセル工法

〈Low Pressure Injection System(低圧樹脂注入工法):略称・LPIS〉
LPISは注入工法の革命! 貴社の21世紀へのスタートです!!



モルタル、タイルの
浮き注入には

マトロン® システム

— ミクロカプセル工法樹脂供給メーカー —

アイカ工業(株) サンスター技研(株)
アサヒボンド工業(株) セメダイン(株)
カネボウ・エヌエスシー(株) 東邦天然ガス(株)
恒和化学工業(株) 日本シーカ(株)

■総発売元

株式会社 ミクロカプセル

大阪府城東区中央2-12-14 柏木ビル 〒536
TEL 06-930-0396 FAX 06-931-0566

ロクミおつ/ミクロ

■製造元



有 限 公 司 東海産商



アーコシールシリーズ

使いやすさと信頼性の調和 タイルメントの充てん剤

充填材を使用する場合、施工場所により様々な条件が提示されます。この様々な条件をクリアーし、作業される方が安心してご使用いただけるように、タイルメントでは各種の充填材を取揃えております。

- S-100(シリコン系)
- S-200(変成シリコン系)
- S-303 LM(ウレタン系)
- S-600(ブチルゴム系)
- S-101(シリコン系)
- S-300(ウレタン系)
- S-500(アクリル系)
- S-700(油性系)



株式会社 **タイルメント**

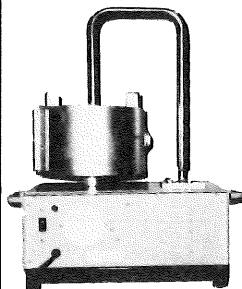
本社 / 〒453 名古屋市中村区常盤町1の58 TEL (052)412-5300(代) FAX (052)411-3516

■東京支店 ■大阪支店 ■名古屋支店 ■仙台営業所 ■福岡営業所 ■広島営業所 ■札幌出張所 ■横浜出張所 ■北陸出張所

2成分形シーリング材用混練器

自動反転式

A型ミキスタ



〈特徴〉

羽根の型が改良され、山型となり混合時に材料より10mm下になるため、不完全混合がほとんどなく、混合時の空気の混入が減少した。また自動反転装置付で操作が簡略化し、メーカーの丸缶がそのまま使える/バンド式である。
(標準型175φ: 3φ缶、他はアタッチメントによりどの缶も使用可能です。)

A型ミキスタ 自動反転式

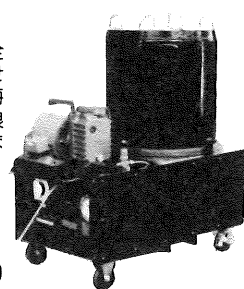
¥115,000

250型

真空脱泡ミキスタ

〈特徴〉

シーリング材の混合時の空気抜が完全に出来、専用のフタ式タンクをかぶせるだけで、真空状態に出来る。30秒間の反転装置が付いている為、混合不良がない。またメーカーの丸缶がそのまま使える/バンド式である。



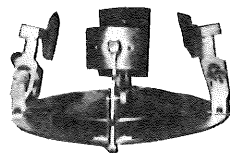
250型

真空脱泡ミキスタ

¥370,000

自由自在に
フィットする

フリーフープ



これ一つで直径174φ~232φの缶に対応出来るため、経済的かつ能率的である。オプションパーツなので、当社のA型・B型・250型のミキスタに取付け可能。

フープ単体……………¥38,000

シーリング業界の発展とともに歩む

ミキスタ工業株式会社

本社 東京都中央区日本橋蛸殻町1-33-7
TEL.(03)669-9471(代) FAX.(03)667-9337



シーリング 編集後記

国策の一環でもある内需拡大策の影響か、昭和62年は、シーリング材の総出荷統計も10%の伸び率を示しております。特に弾性シーリング材1成分形は16%の伸び率を示し業界内での活発化が伺える状況です。各地で「イベント」事業が催され、大型プロジェクトも動き出し、長いトンネルから少し明りが見えて来た状態と判断致しております。そこで、当工業会も陣容を

一新し、「禪を締め直し」て、新たに、工業会活動をより一層充実させ、活性化させて行く事となりました。広報委員会も機関誌を通じ、読者の一助となれば幸いと思い、前委員長の『役に立つ広報誌』の意志を引継いで、前委員長には尚副委員長として留まって戴き、御助力を仰ぐ事となりました。「シーリング材ハンドブック」も各方面で御好評を戴き、増刷の連続で、シーリング材の存在価値、重要性等、需要家各位の意義探究も盛んで、誠に慶ばしい事と自負致しております。この度、広報委員長の

重責を命ぜられ、微力ながら努めさせて戴く事に成りました。学、官、材、販、工、並びに需要家各位の益々の、御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

昭和63年4月

広報委員長	小林 茂之
広報副委員長	山内 雅夫
広報委員	斉藤聡一郎
広報委員	船越 カ



日本シーリング工業会の概要

性格と組織

本会はわが国における建築用、土木用シーリング工事の健全な発展と振興を計ることを目的として、昭和38年2月に設立されました。会員はわが国のシーリング材メーカーが加盟し、賛助会員は原材料メーカーおよび取扱業者が加入しており、全国に支部を有する全国的組織であります。

事業

- シーリング管理士の養成
- 日本シーリング工事業団体連合会と連携、材料および工事に対する信頼の確保
- 技術資料の収集と情報の交換
- JIS、JASSへの協力
- 市場調査、需要開発に関する調査研究

発行図書

- 機関誌「シーリング」(年1回)
- シーリングニュース (年3回)
- 建築用シーリング材とその正しい使い方
- シーリング材ハンドブック
- シーリング管理士用テキスト

シーリング
SEALING

第25号 (第20巻・第25号)

発行/日本シーリング工業会

東京都千代田区外神田2-2-17 (共同ビル万世)

TEL 03 (255) 2841~2 FAX 03 (255) 2183

編集/日本シーリング工業会広報委員会

制作協力・広告/新 樹 社 東京都中央区銀座8-15-4

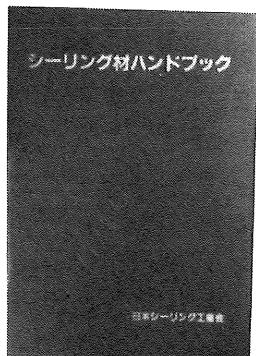
☎03 (542) 9011(代)

昭和63年4月20日印刷
昭和63年4月25日発行

非 売 品

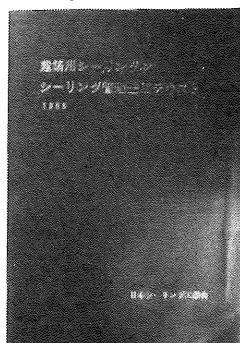
< 禁 無 断 転 載 >

新装・シーリング材 ハンドブック



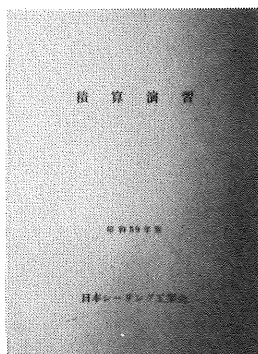
従来のシーリングハンドブックを全面的に内容改訂、最新情報を随所に盛り込んだシーリング材の案内書が完成しました。シーリング材とその選び方に重点を置き、誌面もA5判に拡大、解り易く見易い構成になっています。お申込みはお早目に！
頒布価格 900円

新・建築用シーリング材 シーリング管理士用テキスト 1986



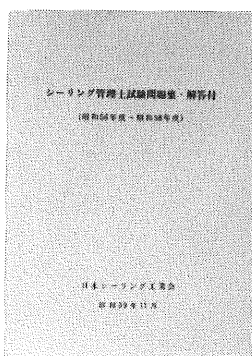
内容も大幅に改訂。教科書サイズとなり携帯にも便利。シーリング材の適材適所の使用、適切な目地設計、正確な施工など種々の知識と技術の向上を旨とした「シーリング管理士」養成講習会の教材であり、シーリング関係者にとって貴重な参考書です。
頒布価格 4,000円

積算演習



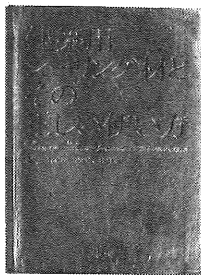
図面から正確な目地寸法、延べ長さを拾い出し、材料費、工賃を加えた材工共の単価の算出は施工会社、シーリングメーカーおよび関係者各位にとって重要な業務です。この道のベテランが図面により一からわかり易く順序だてて解説しています。
頒布価格 1,000円

シーリング管理士試験 問題集・解答付(56~60年度)



問題集として最近5年間(56~60年度)のシーリング管理士試験問題を年度別に集約した本書は管理士・技術管理士を志す人のみならずシーリング業務に携わる方々にとって参考となるものです。
頒布価格 1,500円

建築用シーリング材と その正しい使い方

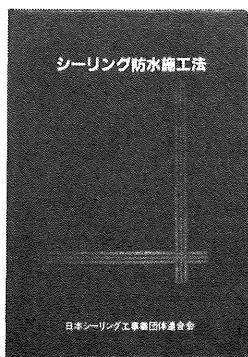


わが国建築用シーリング材の最高権威である・故狩野春一工學博士の監修による、シーリ

ング関係者必読の座右の書。執筆者は故・波多野一郎千葉大学教授小池迪夫東京工業大学教授、加藤正守千葉大学助教授をはじめ、わが国シーリング材研究の第一人者および業界関係者多数。設計から材料、施工まで幅広い内容となっています。

頒布価格 4,800円
(会員頒布価格 4,300円)

シーリング防水施工法



シーリング工事の基本から実践・応用までを最新技術資料を盛り込み解り易く解説した実務参考書。内容は▷建築物の基礎知識▷シーリング防水の基礎知識▷良いシーリング防水工事のためのディテールシート▷故障と補修一の構成。

日本シーリング工事団体連合会発行
頒布価格 1,500円

未知

へ

の

挑

戦

〈安全衛生協力会〉

光栄会

〈防水資材、割資材、
工具、安全器具販売〉

株式会社
光栄ショールーム

TEL 03(928)1342

〈総合防水工事〉

光栄工業株式会社

TEL 03(923)2271(代)

〈防水材、シーリング材、
関連資材販売〉

光栄商事株式会社

TEL 03(928)5811(代)

〈パッキン材、
パッキン他加工・成形〉

光栄加工株式会社

TEL 03(920)2671(代)

〈関連企業親睦団体〉

グローリー会



光栄グループ

取締役会長 内 田 鴎 鶴



信越シリコーン

多彩に実績を築いて20余年。

よりキメ細かく、信頼にお応えする建築・土木用シリコーン

●1成分形 一般用 オキシムタイプ	シーラント45
●1成分形 防カビ用 オキシムタイプ	シーラント4588
●1成分形 プラスチック用 アルコールタイプ	シーラント72
●1成分形 構造用 超高モジュラス	シーラント90
●1成分形 一般用 酢酸タイプ	KE42
●1成分形 高透明 酢酸タイプ	KE420
●1成分形 防カビ用 酢酸タイプ	KE422
●2成分形 建築・土木用 アミノキシタイプ	シーラント70
●2成分形 水平目地用 アミノキシタイプ	シーラント701
●2成分形 耐火目地用 アミノキシタイプ	シーラント74
●3成分形 油性補修用 アミノキシタイプ	シーラント79
●1成分形 コーティング用 水性タイプ	Mコート56
●1成分形 コーティング用 溶液タイプ	Sコート57
●1成分形 ライニング用 オキシムタイプ	KE4573
●2成分形 難燃・充填シール用(フォーム)	KE52A・B
●2成分形 難燃・充填シール用(ゴム)	KE1219A・B

信越化学工業株式会社

03-256-3651

シリコーン事業本部 東京シーラント部

〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7(フジトシビル)

大阪支店 大阪市北区小松原町2-4(大阪富国生命ビル)

〒530 (06) 315-3071

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)

〒450 (052) 581-6511

福岡支店 福岡市中央区天神1-12-20(日之出東京海上ビル)

〒810 (092) 781-2782

札幌営業所(011)221-6471

仙台営業所(022)264-2777

新潟営業所(025)247-3321

北陸営業所(0776)26-1551

長野営業所(0262)28-9104

北関東営業所(0273)63-2731

広島営業所(082)248-3931

高松営業所(0878)22-3613

sunstar

動くビル

剛から柔へ——現代の建築構造が剛構造から柔構造（動くビル）へと変わったいま、シーリング材は、建物の柔軟性や設計の自由性を支える重要な部材として、設計段階から慎重に検討されています。

サンスター技研は、シーリング材のリーディングメーカーとして、高度化・多様化する建築業界のニーズに、たゆまぬ研究開発と確かな実績でお応えしています。

●日本を代表する数々の著名建築物で使用実績を誇るサンスター技研のシーリング材。



●青森県観光物産館



●大阪ヒルトンホテル



●六本木アーク森ビル

●耐侯力と対応力に自信あり
サンスターのシーリング材



建築用弾性シーリング材

ベタシール®
ペンギンシール

サンスター技研株式会社

本 社：大阪府高槻市明田町7番1号 TEL. 0726(81)0351
東京支店：東京都港区三田1丁目3番35号（ヤナハビル） TEL. 03 (453) 9301
名古屋支店：名古屋市中千種区豊橋2丁目4番7号 TEL. 052(722)6815
大阪支店：大阪府高槻市明田町7番1号 TEL. 0726(84)0600